
赤穂市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
報告書

令和5年3月

目次

調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 配布数及び有効回答数・回答率	1
(4) 留意点	1
回答者の属性	2
(1) 圏域、性別、年齢	2
(2) 認定該当状況	2
(3) 回答の記入者	2
1. ご家族や生活状況について	3
(1) 家族構成	3
(2) 暮らし・住まいの状況	4
2. からだを動かすことについて	11
(1) 運動・転倒の状況	11
(2) 外出の状況	18
3. 食べることについて	26
(1) 口腔	26
(2) 栄養	34
4. 毎日の生活について	40
(1) 物忘れ	40
(2) IADL の状況	45
(3) 社会との関わり	50
(4) 趣味・生きがい	58
5. 地域での活動について	60
(1) 地域活動への参加状況	60
(2) 地域づくりへの参加意向	62
6. たすけあいについて	64
(1) 周囲との相互の関係	64
(2) 家族や友人・知人以外の相談相手	70
(3) 友人・知人との関係性	71

7. 健康について.....	74
(1) 健康状態.....	74
(2) 飲酒・喫煙.....	80
(3) 病気の状況.....	82
8. 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	84
9. 相談先や希望する暮らしについて.....	87
(1) 介護を受けたい場所.....	87
(2) 地域包括支援センター.....	88
(3) 日常生活における支障.....	90
10. 総括.....	95
(1) 地域における見守りが必要と考えられる層.....	95
(2) 日常生活における活動能力の維持.....	95
(3) 地域活動への参加促進.....	96
(4) 相談支援.....	97
(5) 心身の健康の維持.....	97
(6) 将来の暮らし.....	98

調査概要

(1) 調査目的

本調査では、令和6年度から令和8年度までを計画期間とする「第9期赤穂市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」の策定にあたり、高齢者のみなさまの生活のご様子や、今後の生活についてのご希望などを把握し、地域の状況に適した施策を検討するために実施しました。

(2) 調査の実施について

以下の調査を実施しました。

調査名	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
対象者	赤穂市内にお住まいの高齢者 2,500 人（65 歳以上の方で介護認定を受けておられない方と要支援 1、2 の方の中から無作為に抽出した方）
実施期間	令和5年1月16日（月）～令和5年2月6日（月）
実施方法	郵送配布、郵送回収

※対象者：令和4年12月1日現在

(3) 配布数及び有効回答数・回答率

	全体
配布数	2,500 件
有効回答数	1,824 件
有効回答率	72.9%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が 100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中に MA (Multiple Answer)、3LA (3 Limited Answer) と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。
4. 各種リスク判定の「非該当」には判定不能の場合も含まれます。

回答者の属性

(1) 圏域、性別、年齢

単位：%

		母数 (n)	圏域				
			赤穂・城西	塩屋・西部	尾崎・御崎	坂越・高雄	有年
全体		1,824	19.7	19.2	19.8	20.9	20.4
性別	男性	1,038	18.8	18.7	20.8	20.2	21.5
	女性	786	20.9	19.8	18.4	21.9	19.0
年齢	前期高齢者	763	20.6	18.2	21.0	20.4	19.8
	後期高齢者	1,061	19.0	19.9	18.9	21.3	20.8
年齢	65～69歳	313	22.0	18.2	19.8	20.8	19.2
	70～74歳	450	19.6	18.2	21.8	20.2	20.2
	75～79歳	446	19.3	19.3	18.2	22.4	20.9
	80～84歳	346	18.5	24.6	19.4	16.2	21.4
	85歳以上	269	19.3	14.9	19.7	26.0	20.1
性・年齢	男性 前期高齢者	497	19.5	16.3	22.7	20.5	20.9
	後期高齢者	541	18.1	20.9	19.0	20.0	22.0
	女性 前期高齢者	266	22.6	21.8	17.7	20.3	17.7
	後期高齢者	520	20.0	18.8	18.8	22.7	19.6

(2) 認定該当状況

単位：%

		母数 (n)	認定該当状況		
			一般高齢者	総合事業対象者	要支援1・2
全体		1,824	94.3	0.2	5.5
性・年齢	男性 前期高齢者	497	99.2	-	0.8
	後期高齢者	541	95.2	-	4.8
	女性 前期高齢者	266	96.6	0.4	3.0
	後期高齢者	520	87.5	0.6	11.9
圏域	赤穂・城西	359	94.2	-	5.8
	塩屋・西部	350	93.7	0.3	6.0
	尾崎・御崎	361	93.9	-	6.1
	坂越・高雄	382	94.2	0.8	5.0
	有年	372	95.4	-	4.6

(3) 回答の記入者

単位：%

		母数 (n)	回答の記入者			
			が あ て 名 の ご 本 人	ご 家 族 が 記 入	そ の 他	無 回 答
全体		1,824	82.5	8.2	0.1	9.3
性・年齢	男性 前期高齢者	497	86.3	5.0	0.2	8.5
	後期高齢者	541	75.4	13.1	-	11.5
	女性 前期高齢者	266	92.5	1.9	-	5.6
	後期高齢者	520	81.0	9.2	-	9.8
圏域	赤穂・城西	359	87.5	5.0	-	7.5
	塩屋・西部	350	78.9	10.6	-	10.6
	尾崎・御崎	361	84.5	8.6	-	6.9
	坂越・高雄	382	82.5	6.3	-	11.3
	有年	372	79.0	10.5	0.3	10.2
当該認定状況	一般高齢者	1,720	83.4	7.7	0.1	8.8
	総合事業対象者	4	75.0	-	-	25.0
	要支援1・2	100	66.0	16.0	-	18.0

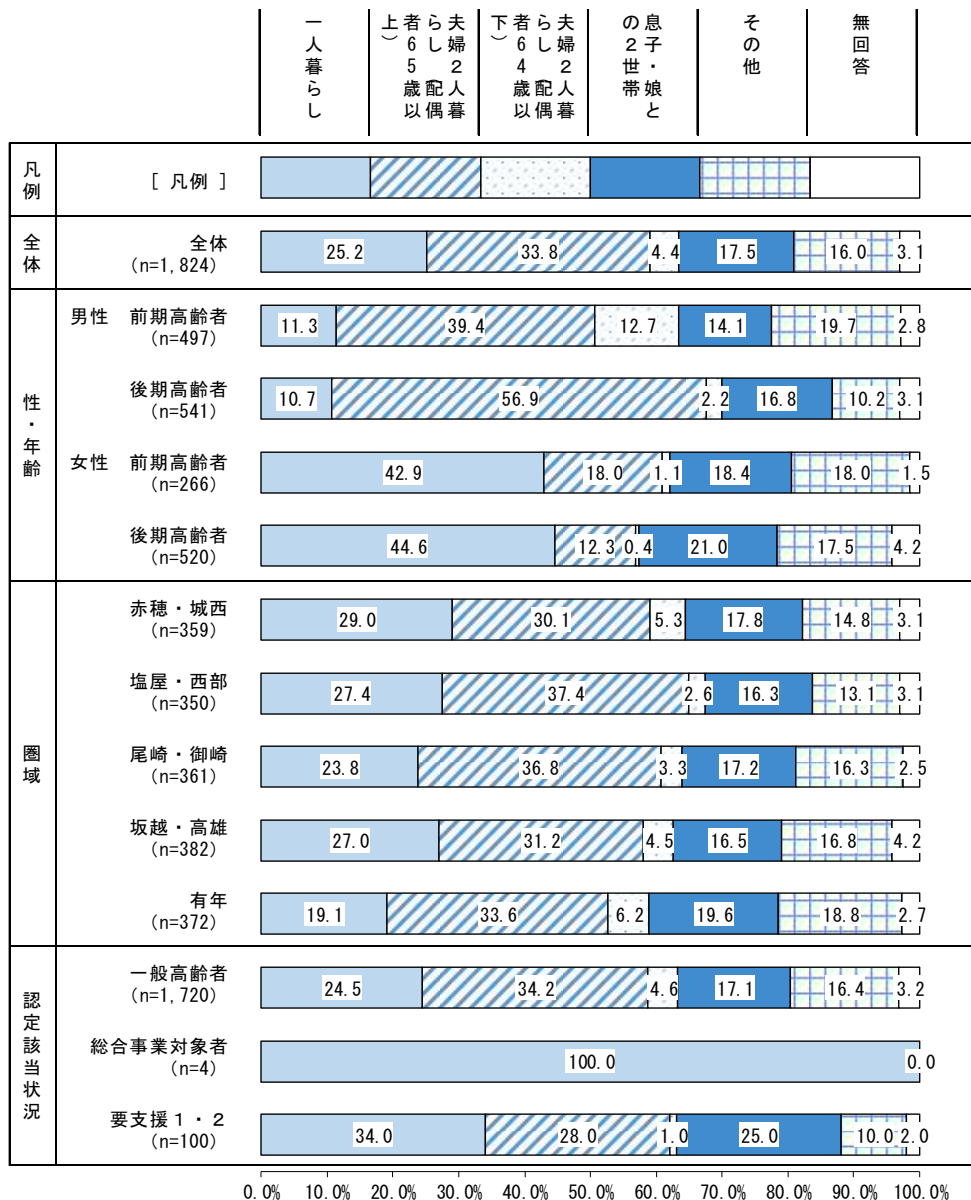
1. ご家族や生活状況について

(1) 家族構成

●問1-1 家族構成をお教えてください。(1つだけ)

【全体】
○ 家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 33.8%で最も多く、次いで「一人暮らし」が 25.2%、「息子・娘との2世帯」が 17.5%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「一人暮らし」が多くなっています。
【圏域】
○ 塩屋・西部圏域では他の圏域に比べて「一人暮らし」「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が多くなっています。
【認定該当状況】
○ 要支援1・2では、「一人暮らし」が 34.0%、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 28.0%となっています。

【家族構成】



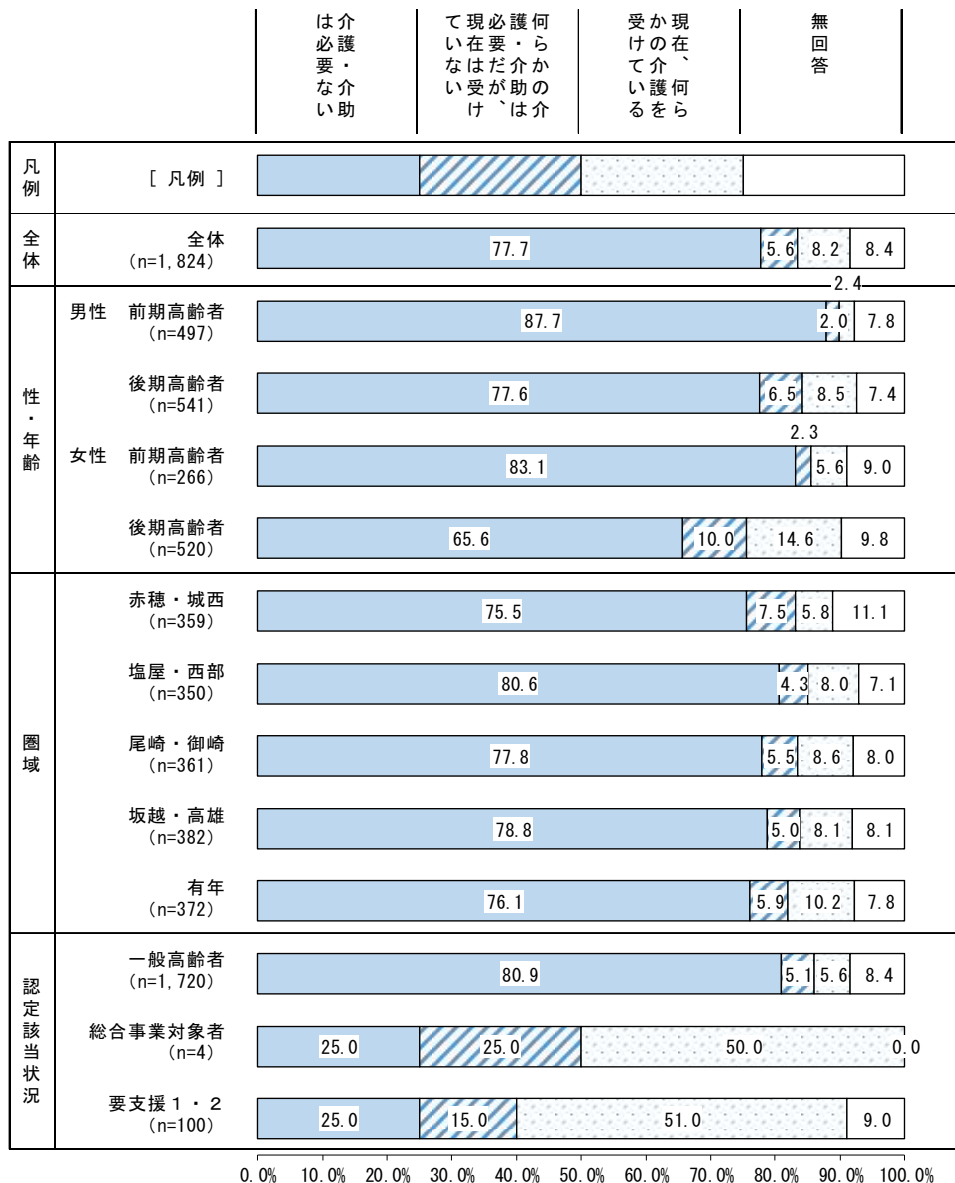
(2) 暮らし・住まいの状況

① 介護・介助の必要性

●問1-2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ)

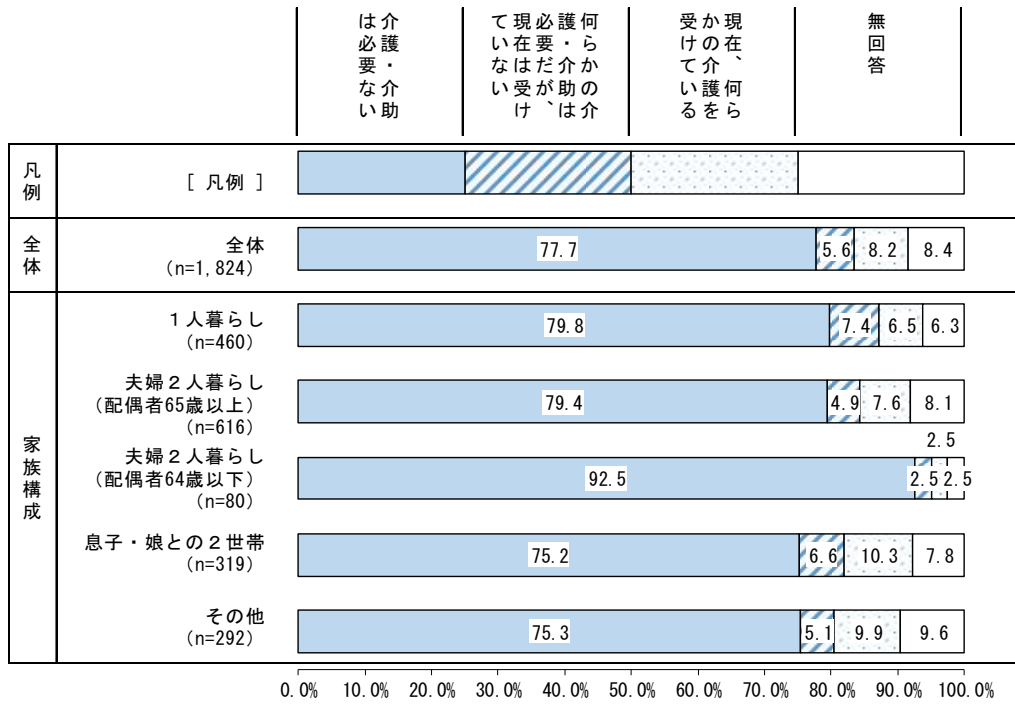
【全体】	○ 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が77.7%で最も多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている」が8.2%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.6%となっています。「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」を合わせた“介護・介助が必要”は13.8%となっています。
【性・年齢】	○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて“介護・介助が必要”が多くなっています。
【認定該当状況】	○ “介護・介助が必要”は、一般高齢者では10.7%であるのに対し、総合事業対象者では75.0%、要支援1・2では66.0%となっています。

【介護・介助の必要性】



【家族構成】

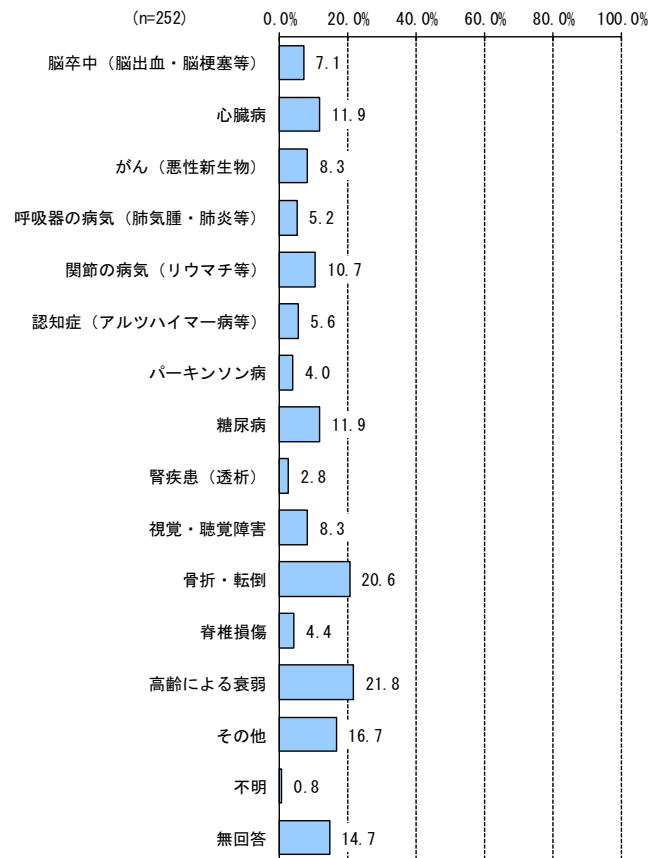
○ “介護・介助が必要”は、一人暮らしでは13.9%、夫婦のみ世帯（配偶者65歳以上）では12.5%となっています。息子・娘との2世帯では16.9%となっています。



- 問1-2-1 [介護・介助が必要な方のみ] 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。
(いくつでも)

【全体】
○ 介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が21.8%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が20.6%、「その他」が16.7%となっています。

【介護・介助が必要になった主な原因(MA)】



【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「骨折・転倒」が多く、特に女性 後期高齢者では29.7%となっています。
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「認知症（アルツハイマー病等）」「パーキンソン病」が多くなっています。一方で、後期高齢者では前期高齢者に比べて「高齢による衰弱」が多くなっています。
- 男性 前期高齢者では「心臓病」が22.2%で最も多く、次いで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が18.2%となっており、他の区分に比べても多くなっています。
- 男性 後期高齢者では「高齢による衰弱」に次いで「糖尿病」が16.0%となっており、他の区分に比べても多くなっています。

【圏域】

- 塩屋・西部圏域では「骨折・転倒」が30.2%、「認知症（アルツハイマー等）」が14.0%と他の圏域に比べて多くなっています。

単位：%

性・年齢	母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)								
		血脳卒中 脳梗塞等	心臓病	がん 悪性新生	等 呼吸器腫 の病 肺炎	ウ 関節の病 チ等 気	ハ 認知症 アル マ ー病 等	パ ー キ ン ソ ン 病	糖 尿 病	
全体	252	7.1	11.9	8.3	5.2	10.7	5.6	4.0	11.9	
性・年齢	男性 前期高齢者	22	18.2	22.7	13.6	4.5	4.5	9.1	13.6	4.5
	後期高齢者	81	7.4	14.8	13.6	8.6	8.6	3.7	1.2	16.0
	女性 前期高齢者	21	4.8	-	-	-	9.5	9.5	14.3	9.5
	後期高齢者	128	5.5	10.2	5.5	3.9	13.3	5.5	2.3	10.9
圏域	赤穂・城西	48	2.1	6.3	10.4	-	14.6	-	2.1	12.5
	塩屋・西部	43	-	9.3	7.0	2.3	7.0	14.0	4.7	7.0
	尾崎・御崎	51	9.8	13.7	7.8	7.8	5.9	3.9	2.0	7.8
	坂越・高雄	50	14.0	14.0	8.0	6.0	16.0	8.0	10.0	16.0
	有年	60	8.3	15.0	8.3	8.3	10.0	3.3	1.7	15.0
当認 状定 況該	一般高齢者	183	7.1	12.0	9.8	4.9	8.7	6.6	3.8	12.6
総合事業対象者	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	66.7	
要支援1・2	66	6.1	10.6	3.0	4.5	15.2	1.5	1.5	7.6	

単位：%

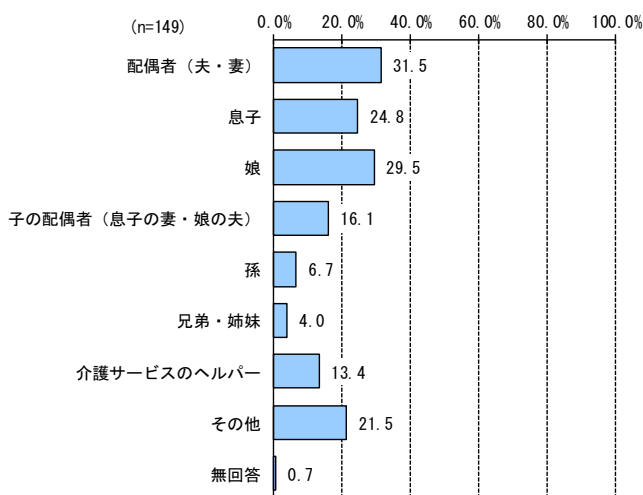
性・年齢	母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)								
		腎疾患 透析	視覚・聴覚 障害	骨折・ 転倒	脊 椎 損 傷	高 齢 に よ る 衰 弱	そ の 他	不 明	無 回 答	
全体	252	2.8	8.3	20.6	4.4	21.8	16.7	0.8	14.7	
性・年齢	男性 前期高齢者	22	-	4.5	9.1	-	13.6	9.1	-	9.1
	後期高齢者	81	4.9	8.6	9.9	1.2	21.0	13.6	-	13.6
	女性 前期高齢者	21	4.8	-	19.0	4.8	9.5	28.6	4.8	19.0
	後期高齢者	128	1.6	10.2	29.7	7.0	25.8	18.0	0.8	15.6
圏域	赤穂・城西	48	2.1	12.5	16.7	8.3	22.9	14.6	-	16.7
	塩屋・西部	43	-	4.7	30.2	4.7	16.3	16.3	-	23.3
	尾崎・御崎	51	3.9	11.8	15.7	2.0	27.5	11.8	2.0	9.8
	坂越・高雄	50	4.0	2.0	20.0	4.0	24.0	22.0	-	12.0
	有年	60	3.3	10.0	21.7	3.3	18.3	18.3	1.7	13.3
当認 状定 況該	一般高齢者	183	1.1	8.2	18.6	2.2	20.2	15.3	0.5	18.0
総合事業対象者	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	-	-	
要支援1・2	66	6.1	7.6	25.8	9.1	25.8	18.2	1.5	6.1	

② 主な介護者

- 問1-2-2 [介護を受けている方のみ] 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつかでも)

【全体】	○ 主な介護者について、「配偶者（夫・妻）」が31.5%で最も多く、次いで「娘」が29.5%、「息子」が24.8%となっています。
【性・年齢】	○ 前期・後期高齢者ともに男性では「配偶者（夫・妻）」が6割を超えているのに対し、女性では前期高齢者で26.7%、後期高齢者で6.6%となっています。女性 前期高齢者では「介護サービスのヘルパー」「その他」、女性 後期高齢者では「息子」「娘」が多くなっています。
【認定該当状況】	○ 要支援1・2では、「娘」が43.1%となっています。
【家族構成】	○ 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）では、「配偶者（夫・妻）」が61.7%となっています。

【主な介護者(MA)】



単位：%

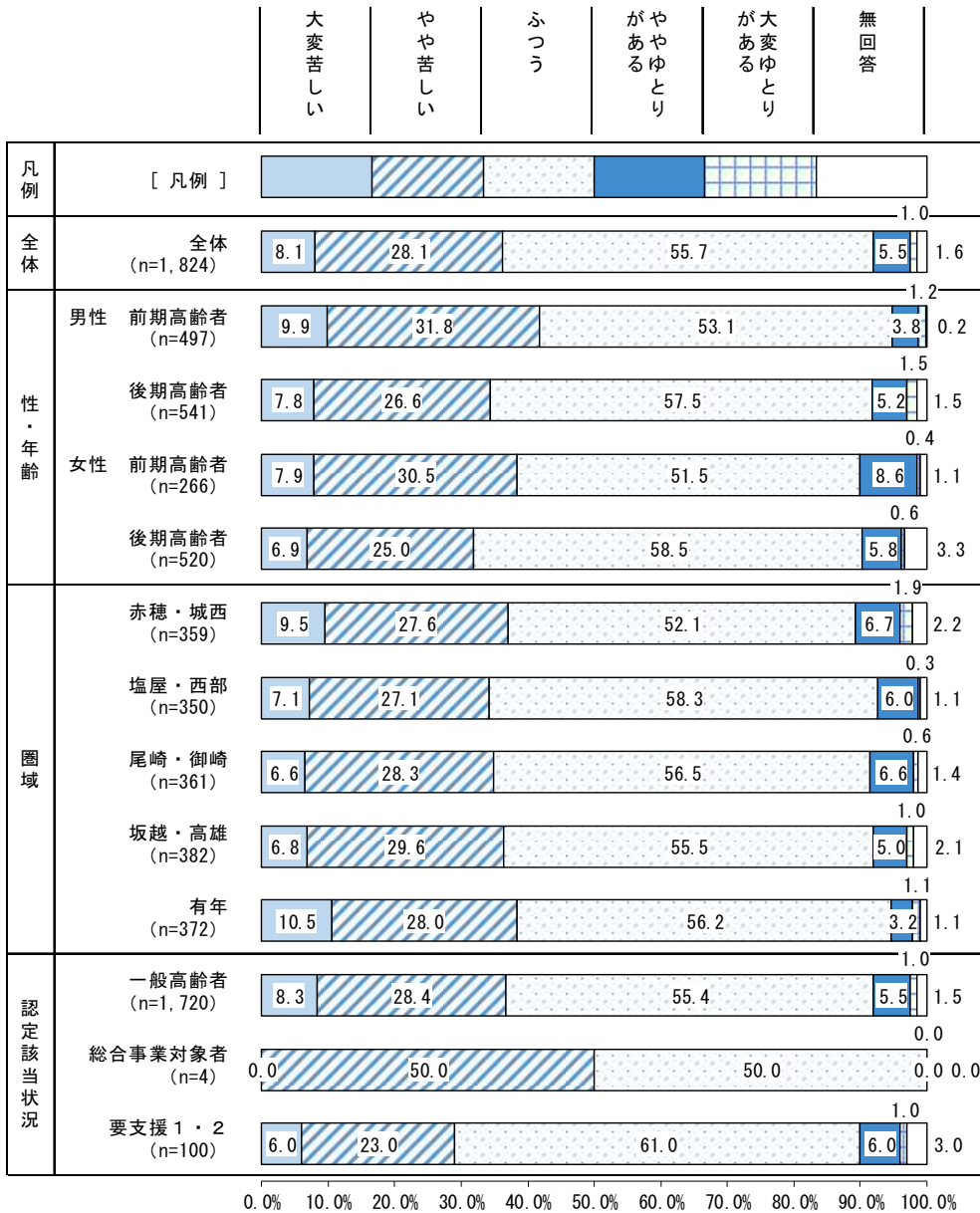
		母数 (n)	主な介護者(MA)								無回答
			妻 配 偶 者 夫 ・	息 子	娘	夫 子 の 妻 配 偶 者 の 息	孫	兄 弟 ・ 姉 妹	介 護 サ ー ビ ス の ヘル パー	そ の 他	
	全体	149	31.5	24.8	29.5	16.1	6.7	4.0	13.4	21.5	0.7
性・年齢	男性 前期高齢者	12	66.7	-	8.3	-	-	-	-	33.3	-
	男性 後期高齢者	46	65.2	13.0	19.6	10.9	2.2	2.2	10.9	13.0	-
	女性 前期高齢者	15	26.7	13.3	13.3	6.7	-	6.7	20.0	20.0	6.7
	女性 後期高齢者	76	6.6	38.2	42.1	23.7	11.8	5.3	15.8	25.0	-
圏域	赤穂・城西	21	19.0	33.3	47.6	19.0	-	9.5	9.5	19.0	-
	塩屋・西部	28	42.9	32.1	32.1	14.3	3.6	-	17.9	14.3	3.6
	尾崎・御崎	31	35.5	19.4	29.0	22.6	16.1	-	12.9	12.9	-
	坂越・高雄 有年	31 38	16.1 39.5	25.8 18.4	22.6 23.7	16.1 10.5	9.7 2.6	- 10.5	19.4 7.9	38.7 21.1	-
当認定状況	一般高齢者	96	36.5	25.0	22.9	14.6	4.2	4.2	4.2	22.9	1.0
	総合事業対象者	2	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	要支援1・2	51	23.5	25.5	43.1	19.6	11.8	3.9	31.4	15.7	-
家族構成	1人暮らし	30	3.3	30.0	40.0	26.7	13.3	6.7	30.0	33.3	3.3
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	47	61.7	12.8	25.5	10.6	-	4.3	17.0	12.8	-
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	息子・娘との2世帯 その他	33 29	27.3 10.3	33.3 31.0	39.4 20.7	24.2 6.9	9.1 10.3	- 6.9	6.1 3.4	18.2 27.6	-

③ 経済状況

●問1-3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 経済状況について、「ふつう」が55.7%で最も多く、次いで「やや苦しい」が28.1%、「大変苦しい」が8.1%となっています。「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい”は36.2%となっています。

【経済状況】

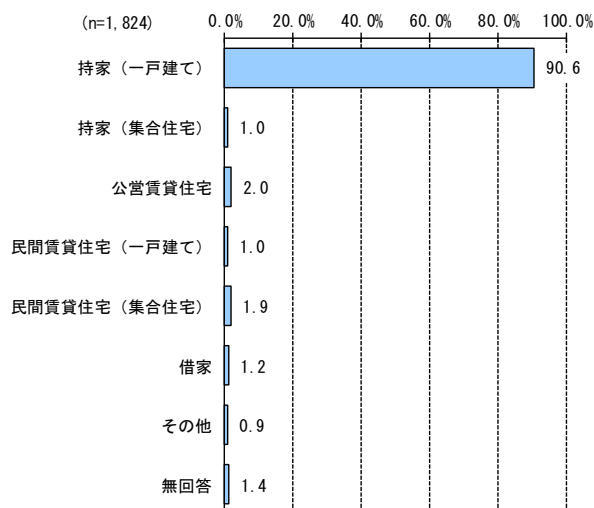


④ 住まいの状況

●問1-4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 住まいについて、「持家（一戸建て）」が 90.6%で最も多く、次いで「公営賃貸住宅」が 2.0%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 1.9%となっています。

【住まい】



単位：%

	母数 (n)	住まい								
		持家 （一戸建て）	持家 （集合住宅）	公営 賃貸住宅	民間 賃貸住宅 （一戸建て）	民間 賃貸住宅 （集合住宅）	借家	その他	無回答	
全体	1,824	90.6	1.0	2.0	1.0	1.9	1.2	0.9	1.4	
性・年齢	男性 前期高齢者	497	91.8	1.4	2.0	1.2	2.2	1.0	0.2	0.2
	男性 後期高齢者	541	93.3	0.9	0.9	-	1.3	1.3	0.9	1.3
	女性 前期高齢者	266	84.6	1.1	3.4	2.6	3.4	1.5	1.9	1.5
	女性 後期高齢者	520	89.8	0.8	2.5	1.0	1.3	1.2	1.0	2.5
圏域	赤穂・城西	359	83.8	2.5	4.2	1.9	3.6	0.8	0.6	2.5
	塩屋・西部	350	87.4	0.9	4.9	1.1	1.7	2.3	0.9	0.9
	尾崎・御崎	361	93.1	-	-	0.6	3.3	1.1	0.8	1.1
	坂越・高雄	382	90.8	1.6	1.3	0.8	0.8	1.0	1.8	1.8
	有年	372	97.6	0.3	-	0.5	-	0.8	0.3	0.5
当認 状況 該	一般高齢者	1,720	90.8	1.1	1.9	1.0	2.0	1.1	0.9	1.2
	総合事業対象者	4	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	100	87.0	-	5.0	-	-	3.0	1.0	4.0

2. からだを動かすことについて

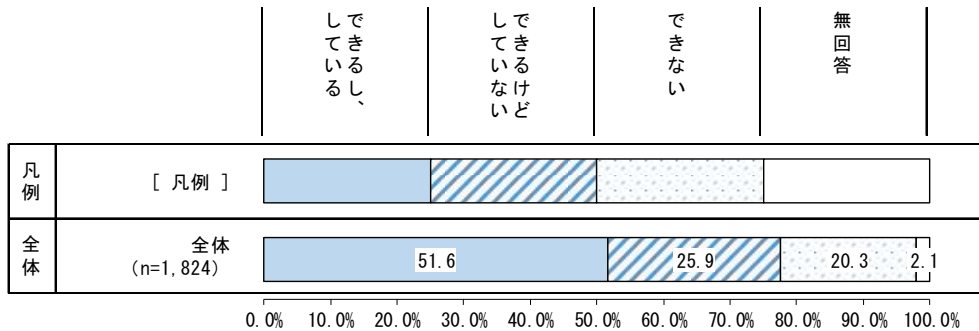
(1) 運動・転倒の状況

- 問2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ)

【全体】

- 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できるし、している」が51.6%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が25.9%、「できない」が20.3%となっています。

【階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか】

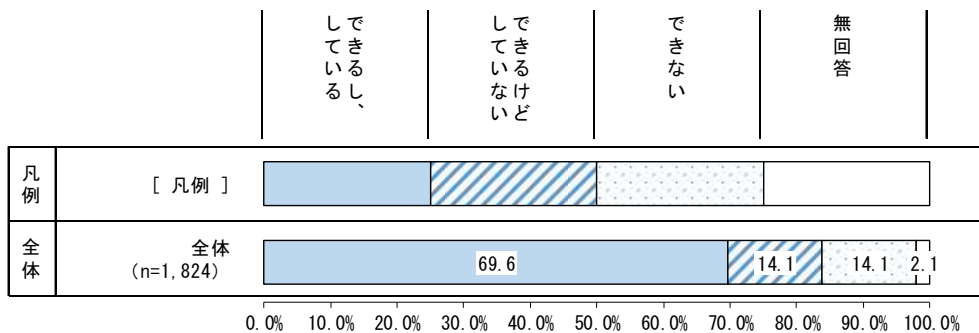


- 問2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ)

【全体】

- 椅子に座った状態からの立ち上がりについて、「できるし、している」が69.6%で最も多く、次いで「できるけどしていない」「できない」が14.1%となっています。

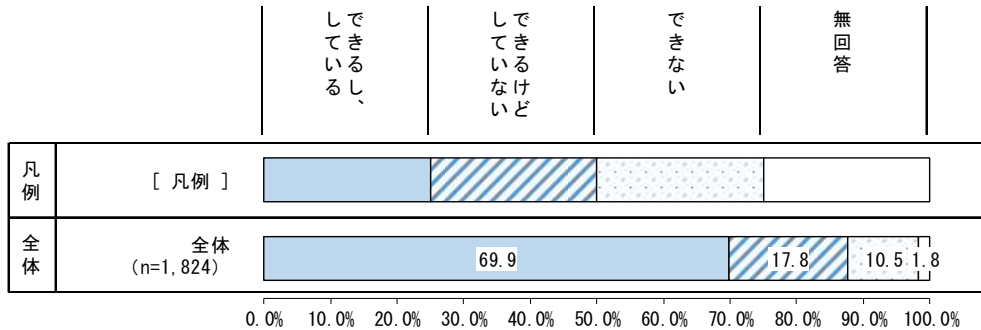
【椅子に座った状態からの立ち上がり】



●問2-3 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 15分位続けての歩行について、「できるし、している」が69.9%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が17.8%、「できない」が10.5%となっています。

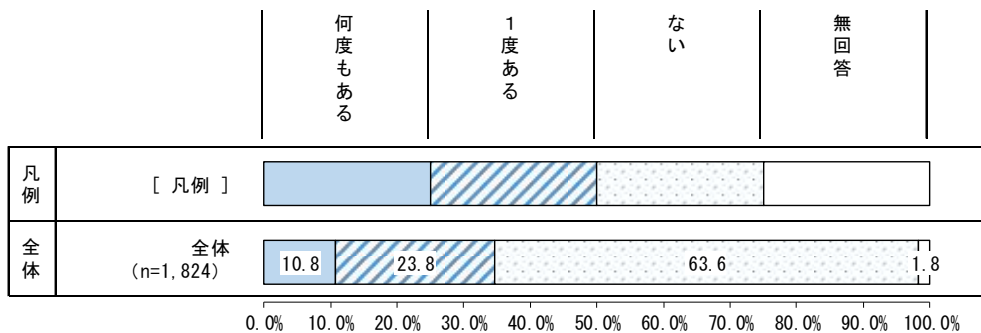
【15分位続けての歩行】



●問2-4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 転倒経験について、「ない」が63.6%で最も多く、次いで「1度ある」が23.8%、「何度もある」が10.8%となっています。

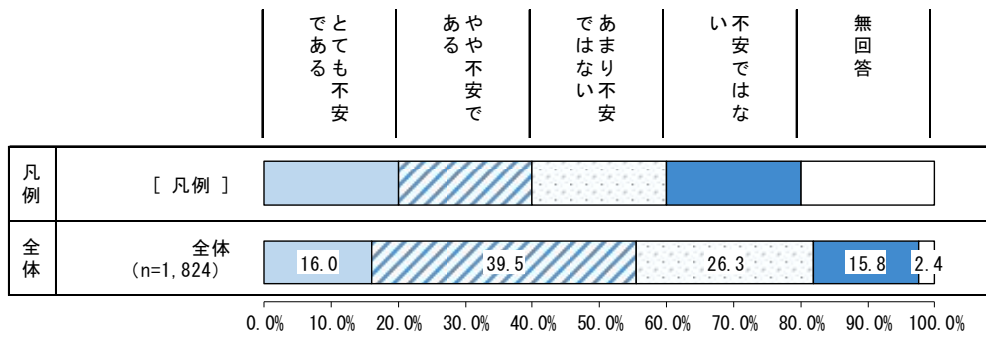
【転倒経験】



●問2-5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 転倒に対する不安について、「やや不安である」が39.5%で最も多く、次いで「あまり不安ではない」が26.3%、「とても不安である」が16.0%となっています。「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安である”は55.5%となっています。

【転倒に対する不安】



◆運動器の機能低下リスクの判定

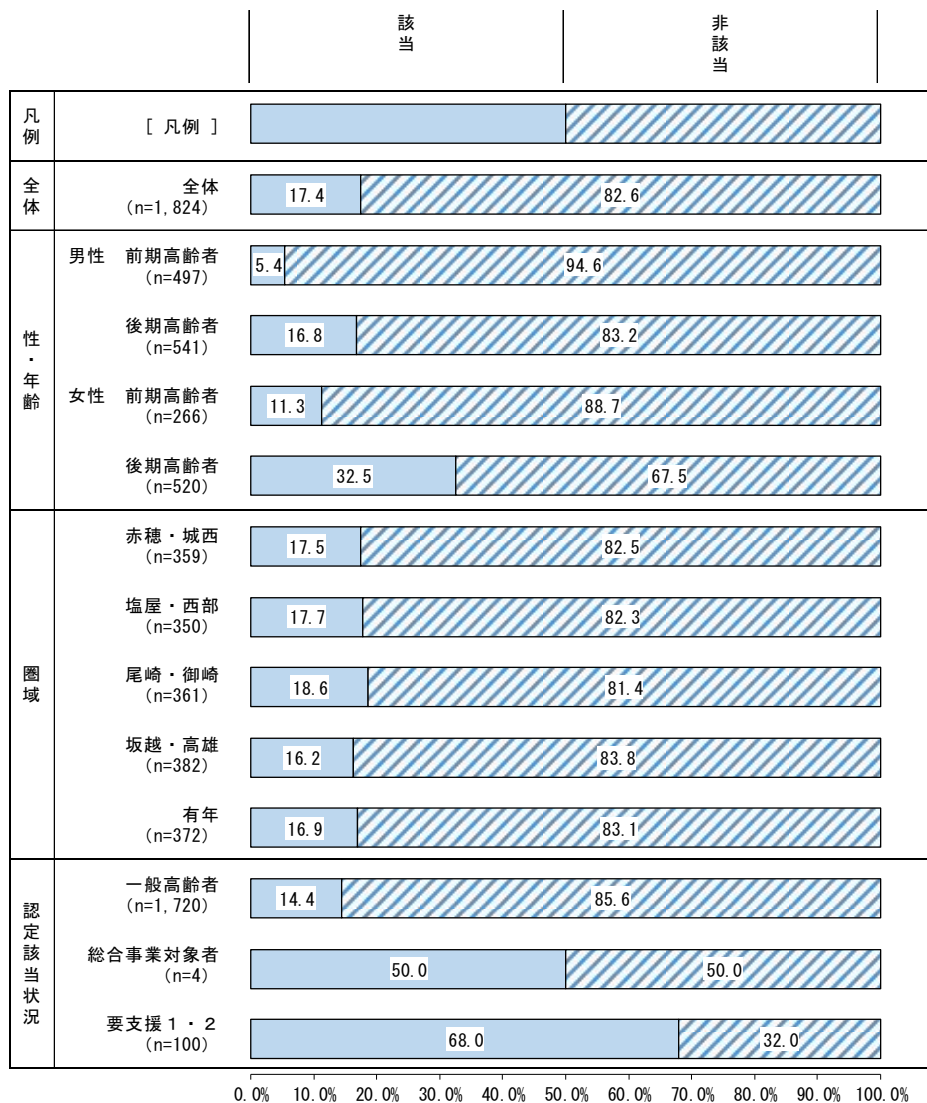
●リスク判定方法

5項目のうち3項目以上に該当する場合、「運動器の機能が低下している」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
2.1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
2.2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
2.3	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
2.4	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
2.5	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

<p>【全体】 ○ 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が17.4%、「非該当」が82.6%となっています。</p> <p>【性・年齢】 ○ 女性 後期高齢者では「該当」が32.5%と他の区分に比べて多くなっています。</p> <p>【認定該当状況】 ○ 一般高齢者では、「該当」が14.4%となっています。</p>

【運動器の機能低下リスク】

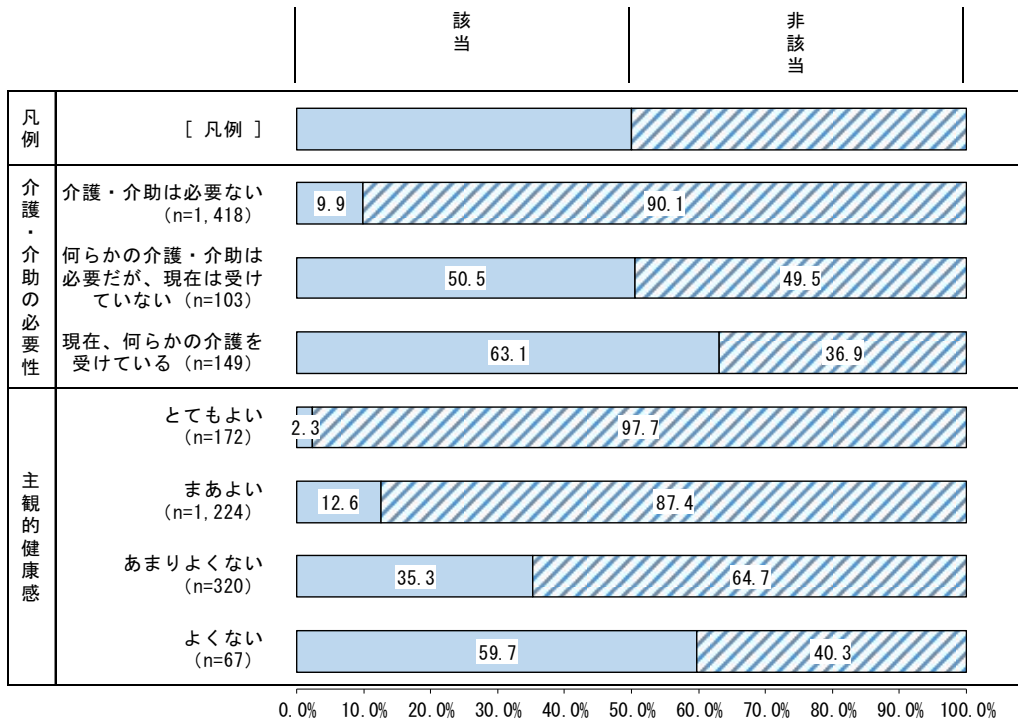


【介護・介助の必要性】

○ 「該当」は、介護・介助は必要ない人では9.9%であるのに対し、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない人では50.5%、現在、何らかの介護を受けている人では63.1%となっています。

【主観的健康感】

○ 健康感がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。



◆転倒リスクの判定

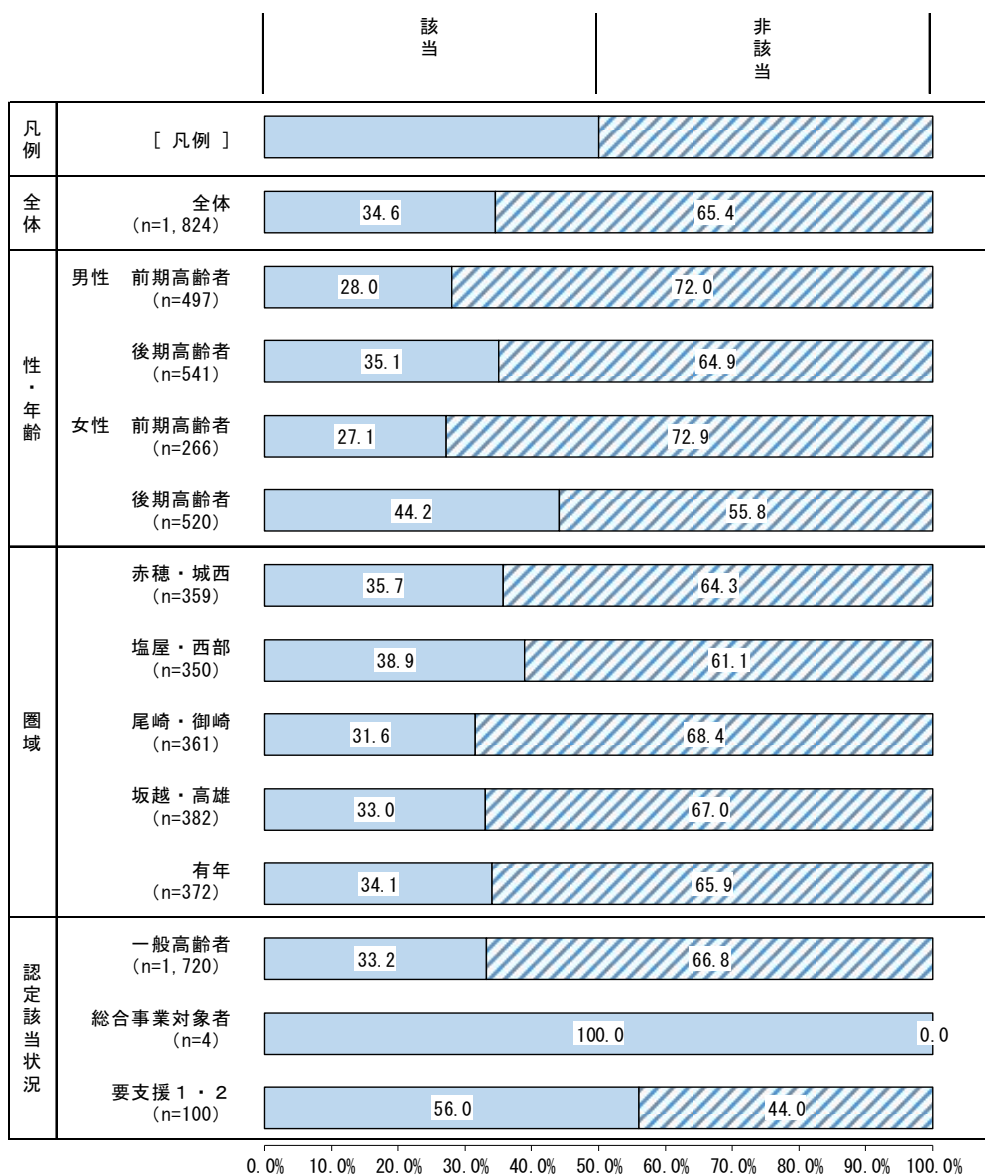
●リスク判定方法

下記に該当する場合、「転倒リスクがある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
2.4	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

<p>【全体】 ○ 転倒リスクについて、「該当」が34.6%、「非該当」が65.4%となっています。</p> <p>【性・年齢】 ○ 女性 後期高齢者では「該当」が44.2%と他の区分に比べて多くなっています。</p> <p>【認定該当状況】 ○ 一般高齢者では、「該当」が33.2%となっています。</p>

【転倒リスク】

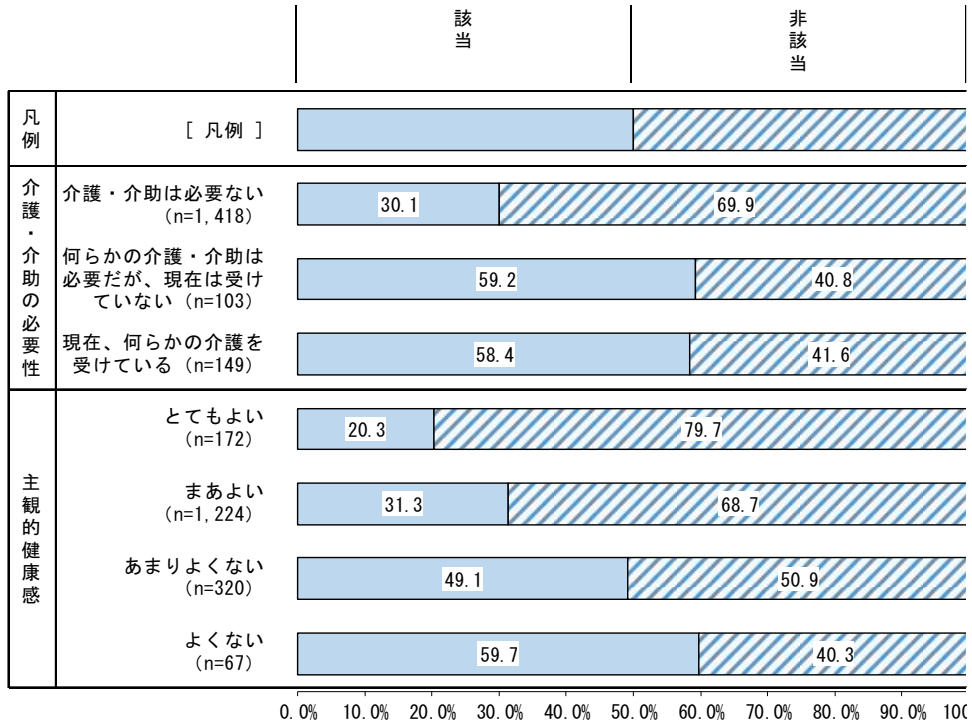


【介護・介助の必要性】

○ 「該当」は、介護・介助は必要ない人では 30.1%であるのに対し、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない人では 59.2%、現在、何らかの介護を受けている人では 58.4%となっています。

【主観的健康感】

○ 健康感がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。



(2) 外出の状況

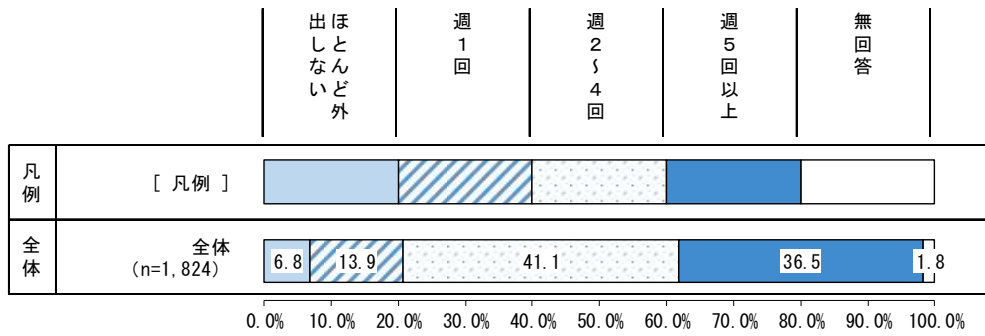
① 外出の頻度

●問2-6 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ)

【全体】

○ 外出頻度について、「週2～4回」が41.1%で最も多く、次いで「週5回以上」が36.5%、「週1回」が13.9%となっています。

【外出頻度】



◆閉じこもりのリスクの判定

●リスク判定方法

下記に該当する場合、「閉じこもり傾向がある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
2.6	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【全体】

○ 閉じこもりのリスクについて、「該当」が20.7%、「非該当」が79.3%となっています。

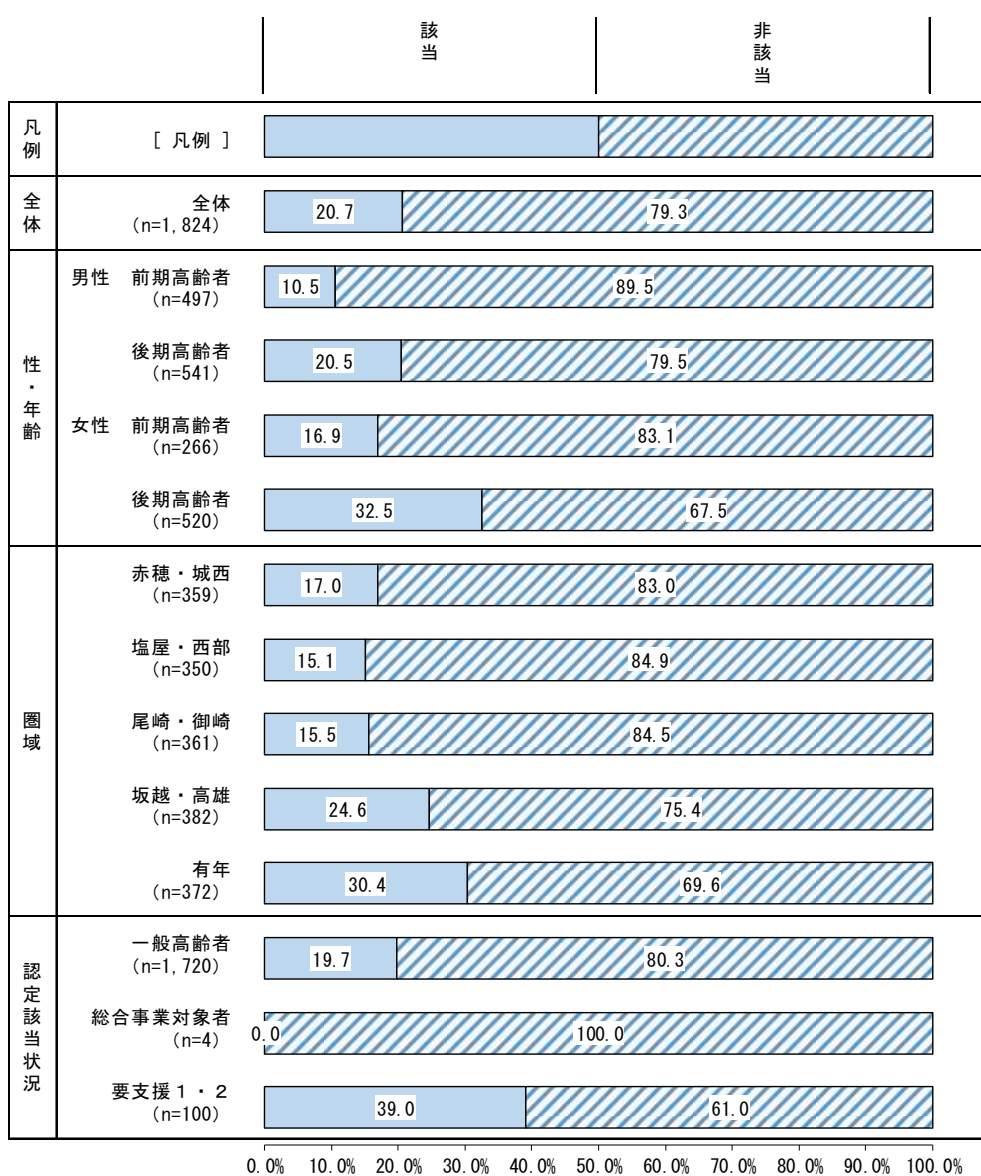
【性・年齢】

○ 女性 後期高齢者では「該当」が32.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 一般高齢者では、「該当」が19.7%となっています。

【閉じこもりのリスク】



【家族構成】

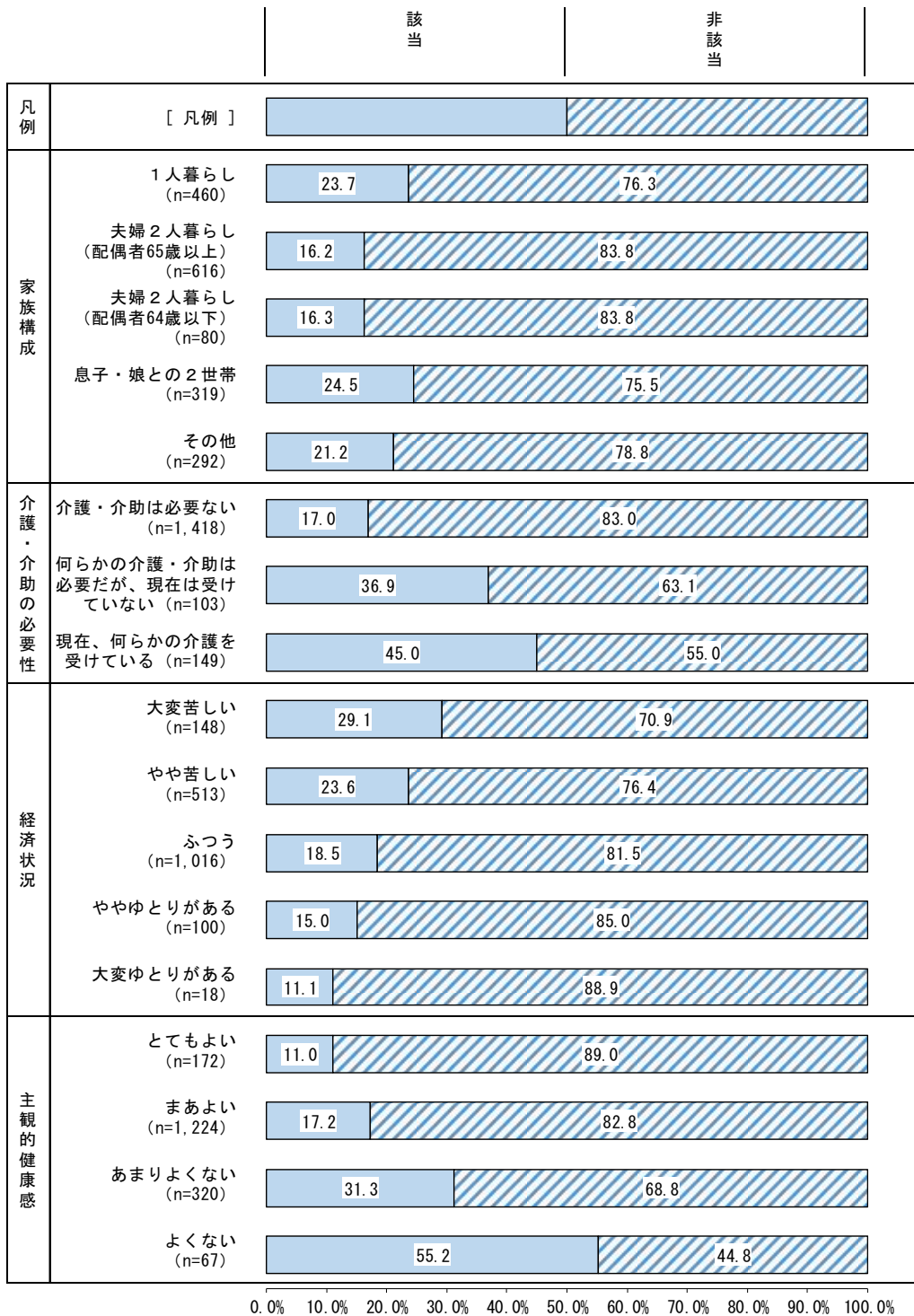
○ 「該当」は、1人暮らしでは23.7%、息子・娘との2世帯では24.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【介護・介助の必要性】

○ 「該当」は、介護・介助は必要ない人では17.0%であるのに対し、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない人では36.9%、現在、何らかの介護を受けている人では45.0%となっています。

【主観的健康感】

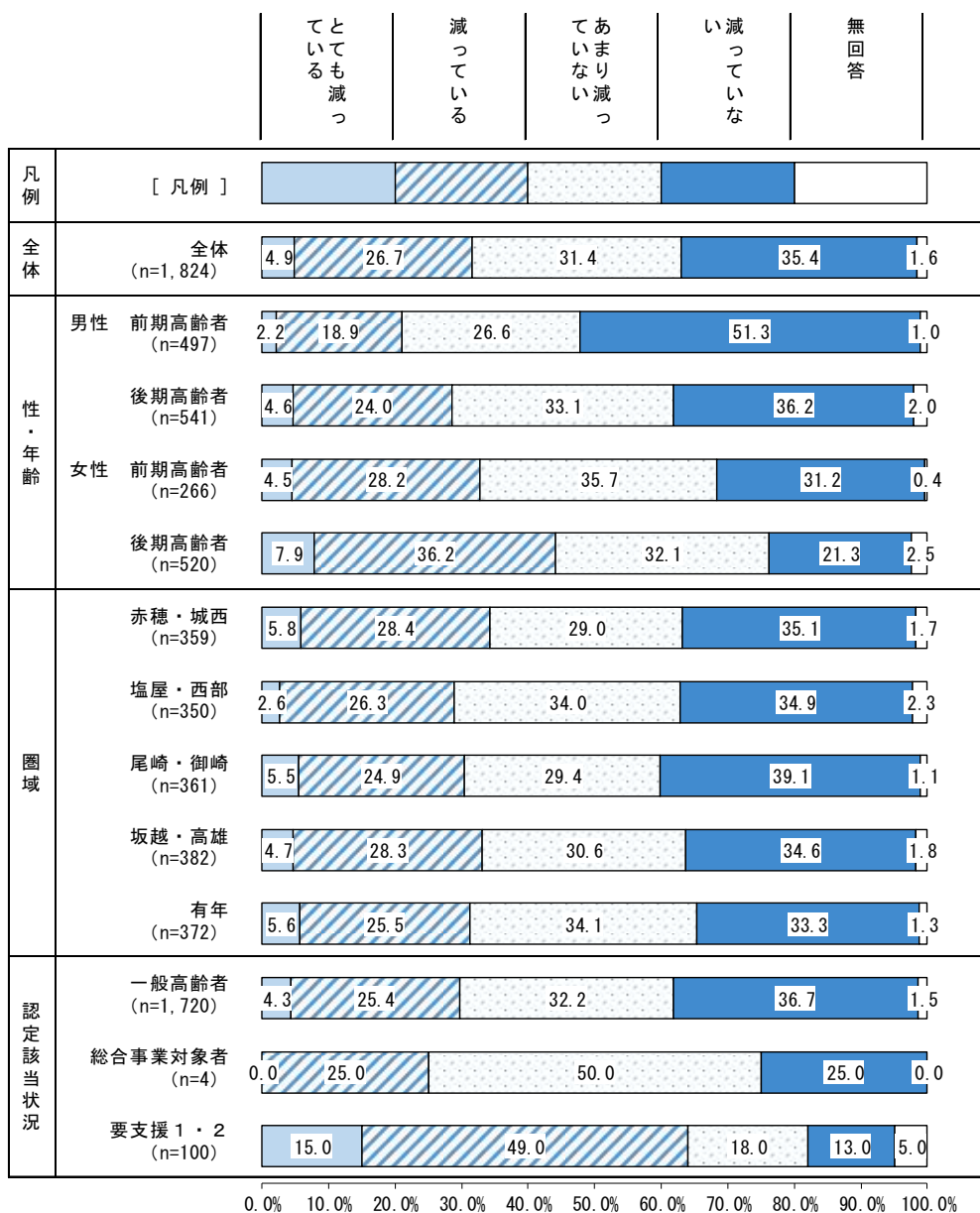
○ 健康感がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。



●問2-7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ)

- 【全体】**
 ○ 昨年と比べて外出の回数について、「減っていない」が35.4%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が31.4%、「減っている」が26.7%となっています。「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”は31.6%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて“減っている”が多く、特に女性 後期高齢者では44.1%となっています。
- 【圏域】**
 ○ “減っている”は赤穂・城西圏域が34.2%、坂越・高雄圏域が33.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ “減っている”は、一般高齢者では29.7%、総合事業対象者では25.0%であるのに対し、要支援1・2では64.0%となっています。

【昨年と比べて外出の回数】

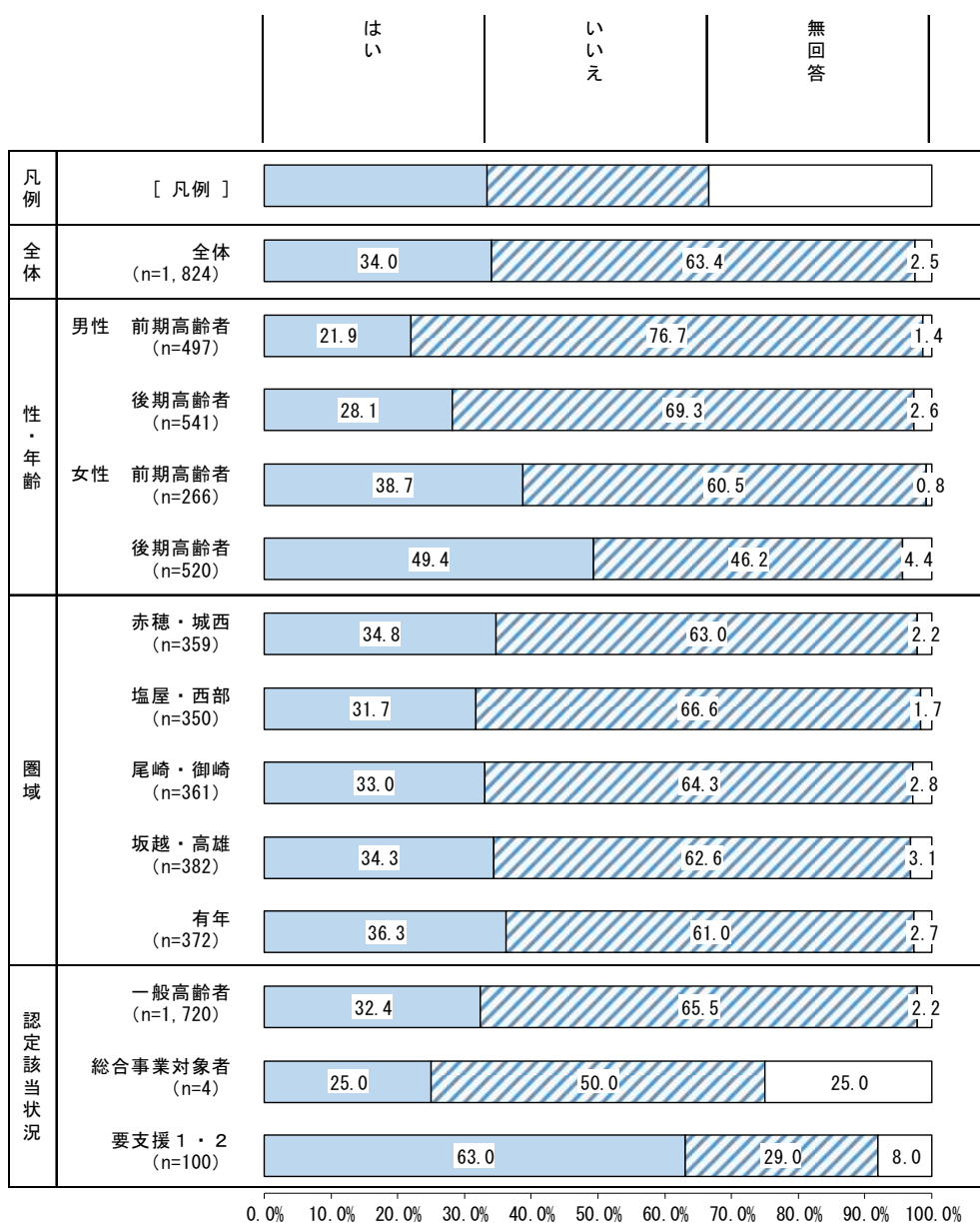


② 外出を控えているか

●問2-8 外出を控えていますか。(1つだけ)

【全体】
○ 外出を控えているかについて、「はい」が34.0%、「いいえ」が63.4%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多く、特に女性 後期高齢者では49.4%となっています。
【認定該当状況】
○ 「はい」は、一般高齢者では32.4%、総合事業対象者では25.0%であるのに対し、要支援1・2では63.0%となっています。

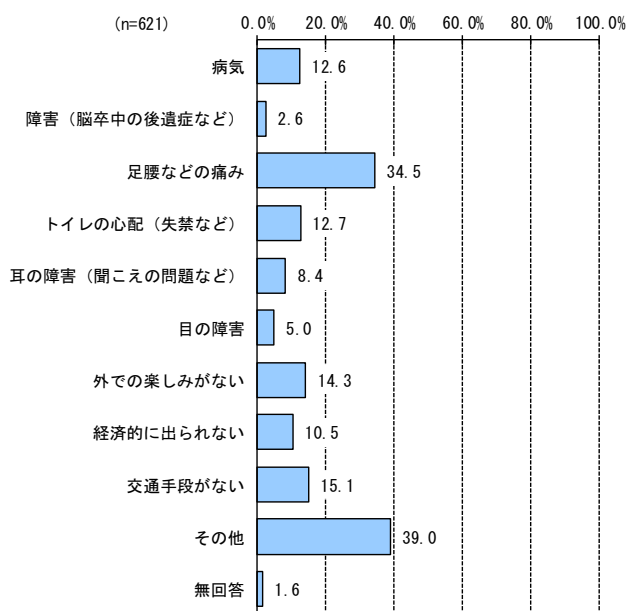
【外出を控えているか】



●問2-8-1 [外出を控えている方のみ] 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつかつでも)

- 【全体】**
- 外出を控えている理由について、「その他」が 39.0%で最も多く、次いで「足腰などの痛み」が 34.5%、「交通手段がない」が 15.1%となっています。
 - 「その他」の内訳として、“コロナウイルスの感染対策”が約7割となっています。
- 【性・年齢】**
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「足腰などの痛み」が多く、特に女性 後期高齢者では 46.3%となっています。さらに、女性 後期高齢者では「交通手段がない」が 23.7%と他の区分に比べて多くなっています。
 - 男性 後期高齢者では「外での楽しみがない」、女性 前期高齢者では「経済的に出られない」が他の区分に比べて多くなっています。
- 【圏域】**
- 尾崎・御崎圏域、坂越・高雄圏域、有年圏域では他の圏域に比べて「交通手段がない」が多くなっています。

【外出を控えている理由(MA)】



単位：%

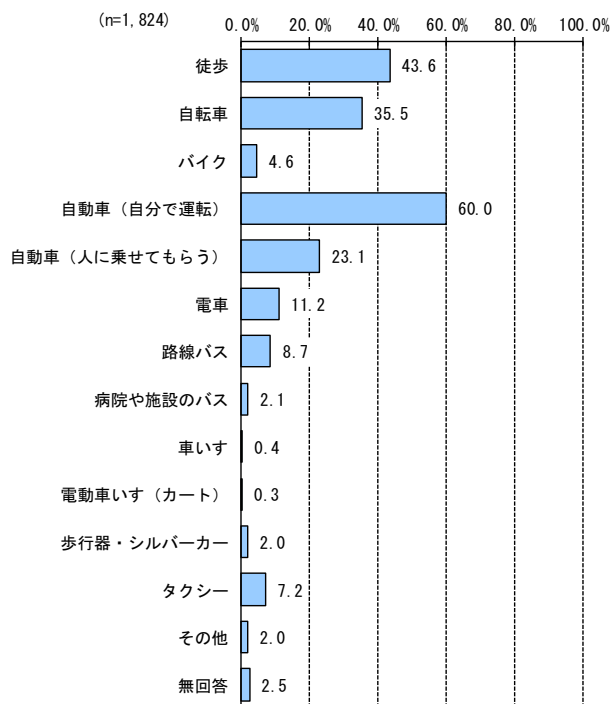
	母数 (n)	外出を控えている理由(MA)											
		病気	後障害 遺症 脳卒 中の	足腰 など の 痛み	トイレ の 心配 (失 禁 など)	え耳 の 問 題 な ど (聞 こ え)	目 の 障 害	な外 での 楽 し み が	な経 済 的 に 出 ら れ	交 通 手 段 が な い	そ の 他	無 回 答	
全体	621	12.6	2.6	34.5	12.7	8.4	5.0	14.3	10.5	15.1	39.0	1.6	
性・年齢	男性 前期高齢者	109	13.8	4.6	14.7	10.1	1.8	4.6	14.7	10.1	0.9	58.7	0.9
	男性 後期高齢者	152	17.8	3.9	35.5	14.5	14.5	5.3	19.1	7.2	15.1	32.2	1.3
	女性 前期高齢者	103	10.7	-	24.3	3.9	1.0	2.9	12.6	20.4	8.7	58.3	1.0
	女性 後期高齢者	257	9.7	1.9	46.3	16.3	10.5	5.8	12.1	8.6	23.7	26.8	2.3
圏域	赤穂・城西	125	11.2	0.8	36.0	8.8	9.6	3.2	12.0	12.0	9.6	44.0	1.6
	塩屋・西部	111	9.9	0.9	36.9	13.5	8.1	8.1	17.1	10.8	10.8	37.8	0.9
	尾崎・御崎	119	12.6	4.2	32.8	14.3	12.6	5.9	16.0	5.9	16.8	41.2	2.5
	坂越・高雄	131	15.3	2.3	28.2	9.9	4.6	4.6	11.5	10.7	19.8	43.5	2.3
	有年	135	13.3	4.4	38.5	17.0	7.4	3.7	15.6	12.6	17.8	28.9	0.7
当認 状定 況該	一般高齢者	557	11.8	2.2	31.4	11.7	8.1	3.9	14.9	11.0	13.6	40.4	1.6
	総合事業対象者	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	63	17.5	6.3	60.3	22.2	11.1	14.3	9.5	6.3	28.6	27.0	1.6

③ 外出の際の移動手段

●問2-9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

【全体】
○ 外出する際の移動手段について、「自動車（自分で運転）」が 60.0%で最も多く、次いで「徒歩」が 43.6%、「自転車」が 35.5%となっています。

【外出する際の移動手段(MA)】



【性・年齢】

- 男性では「自動車（自分で運転）」が前期高齢者で 87.5%、後期高齢者で 69.5%であるのに対し、女性では前期高齢者で 65.8%、後期高齢者では 20.8%と差が大きくなっています。
- 女性 後期高齢者では「自動車（人に乗せてもらう）」が 42.7%で最も多く、さらに、「路線バス」「病院や施設のバス」「タクシー」等が他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 赤穂・城西圏域、塩屋・西部圏域、尾崎・御崎圏域では「徒歩」が約5割、「自転車」が約4割であるのに対し、坂越・高雄圏域ではそれぞれ 35.6%、26.2%、有年圏域では 37.6%、21.8%と少なくなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2では、「自動車（人に乗せてもらう）」が 55.0%で最も多く、次いで「タクシー」が 26.0%、「徒歩」が 24.0%となっています。

単位：%

	母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)							
		徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で 運転)	せ自動 車 に 乗 ら う (次に乗)	電車	路線バス	
全体	1,824	43.6	35.5	4.6	60.0	23.1	11.2	8.7	
性・年齢	男性 前期高齢者	497	49.5	35.4	6.2	87.5	9.9	12.9	3.8
	後期高齢者	541	43.4	37.5	4.1	69.5	15.9	7.0	5.7
	女性 前期高齢者	266	39.1	32.3	4.1	65.8	24.1	14.7	6.4
	後期高齢者	520	40.4	35.2	3.8	20.8	42.7	12.3	17.5
圏域	赤穂・城西	359	47.9	45.7	3.9	53.8	24.0	13.1	5.6
	塩屋・西部	350	48.3	39.7	4.6	59.1	23.1	9.4	7.1
	尾崎・御崎	361	49.3	45.4	6.1	57.6	23.8	10.2	8.9
	坂越・高雄	382	35.6	26.2	6.0	62.8	23.0	13.6	12.8
	有年	372	37.6	21.8	2.4	66.1	21.5	9.7	8.6
当認 状定 況該	一般高齢者	1,720	44.7	36.9	4.8	62.6	21.2	11.6	8.3
	総合事業対象者	4	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0
	要支援1・2	100	24.0	14.0	1.0	17.0	55.0	5.0	13.0

単位：%

	母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)							
		ス病院 や 施設 のバ	車 い す	電 動 車 い す (ト)	歩 行 器 ・ シル	タク シー	そ の 他	無 回 答	
全体	1,824	2.1	0.4	0.3	2.0	7.2	2.0	2.5	
性・年齢	男性 前期高齢者	497	0.2	-	-	-	1.2	0.6	1.8
	後期高齢者	541	1.7	0.2	0.6	0.6	5.5	1.8	2.0
	女性 前期高齢者	266	0.8	0.4	-	1.1	6.4	0.8	1.9
	後期高齢者	520	5.0	1.0	0.4	5.8	15.2	4.2	4.0
圏域	赤穂・城西	359	0.6	0.6	0.6	2.5	6.7	1.4	2.5
	塩屋・西部	350	1.4	0.9	-	1.1	8.0	1.4	2.0
	尾崎・御崎	361	0.6	0.3	0.6	3.9	8.6	1.7	1.9
	坂越・高雄	382	2.1	-	-	1.3	9.2	2.6	2.9
	有年	372	5.6	0.3	0.3	1.1	3.8	3.0	3.2
当認 状定 況該	一般高齢者	1,720	1.5	0.3	0.1	1.3	6.2	1.9	2.4
	総合事業対象者	4	25.0	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	100	11.0	1.0	4.0	13.0	26.0	5.0	5.0

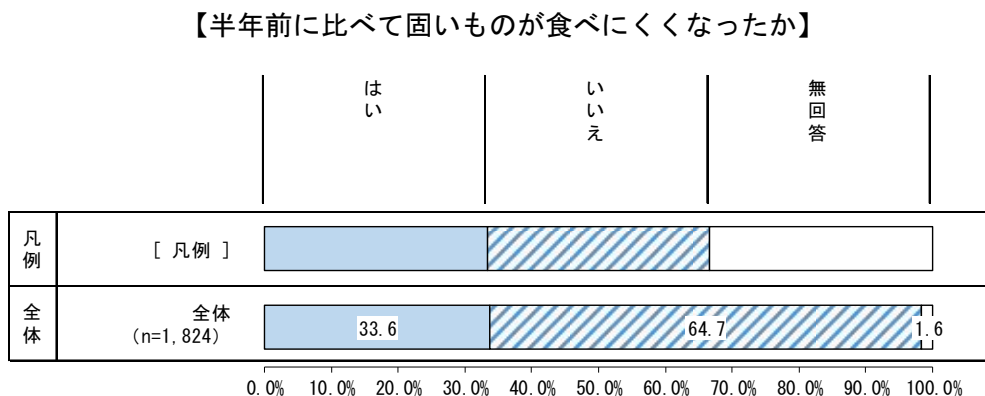
3. 食べることについて

(1) 口腔

① 口内の健康状態

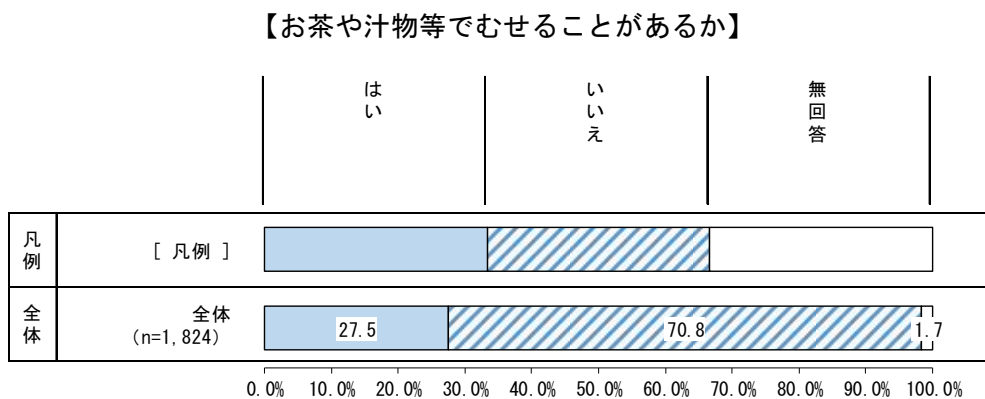
●問3-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ)

【全体】
○ 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が 33.6%、「いいえ」が 64.7%となっています。



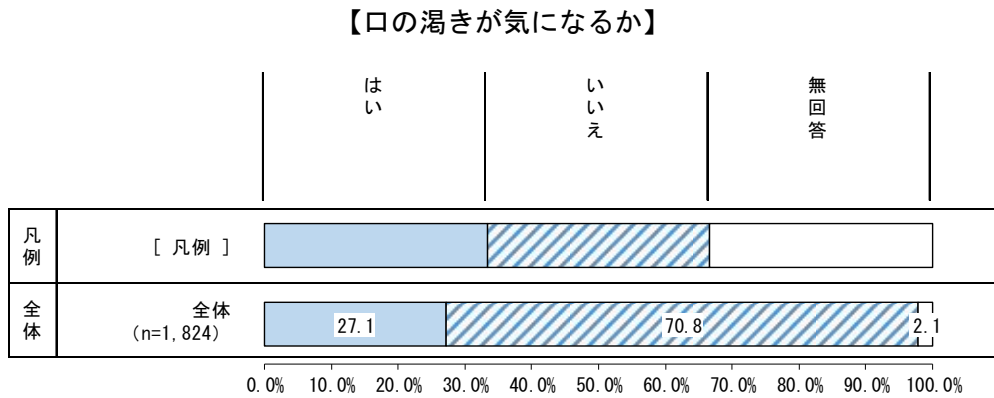
●問3-3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ)

【全体】
○ お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が 27.5%、「いいえ」が 70.8%となっています。



●問3-4 口の渇きが気になりますか。(1つだけ)

【全体】
○ 口の渇きが気になるかについて、「はい」が27.1%、「いいえ」が70.8%となっています。



◆口腔機能の低下リスクの判定

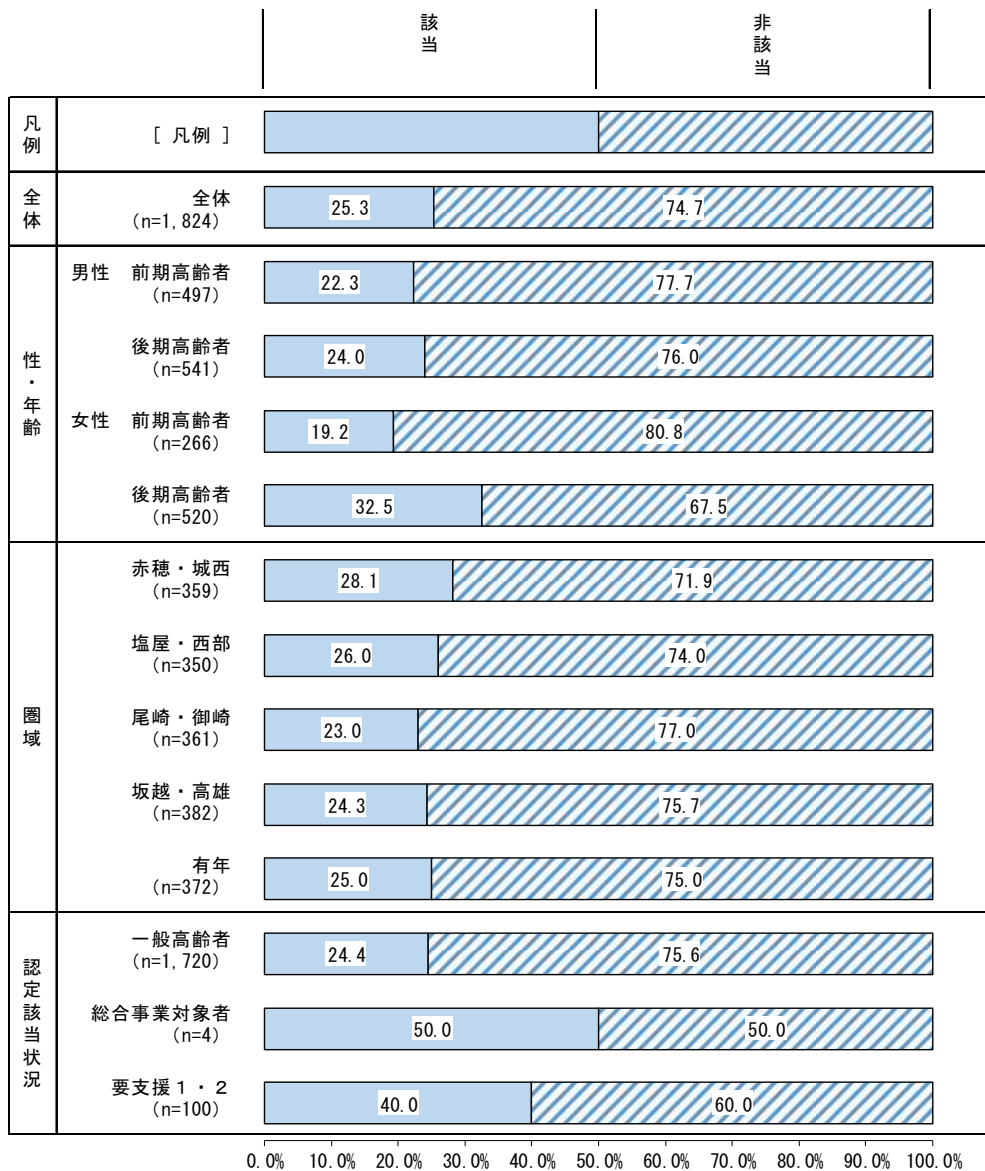
●リスク判定方法

3項目のうち2項目以上に該当する場合、「口腔機能が低下している」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
3-2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
3-3	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
3-4	口の渇きが気になりますか。	1. はい

<p>【全体】 ○ 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が25.3%、「非該当」が74.7%となっています。</p> <p>【性・年齢】 ○ 「該当」は女性 後期高齢者が32.5%と他の区分に比べて多くなっています。</p> <p>【認定該当状況】 ○ 一般高齢者では、「該当」が24.4%となっています。</p>

【口腔機能の低下リスク】

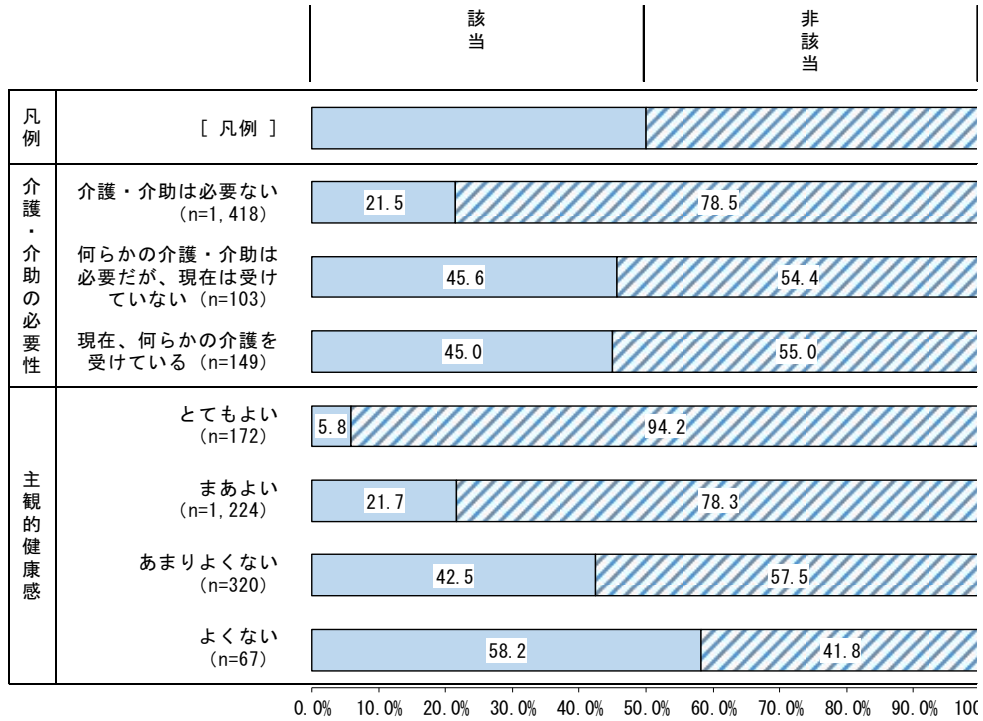


【介護・介助の必要性】

○ 「該当」は、介護・介助は必要ない人では 21.5%であるのに対し、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない人では 45.6%、現在、何らかの介護を受けている人では 45.0%となっています。

【主観的健康感】

○ 健康感がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

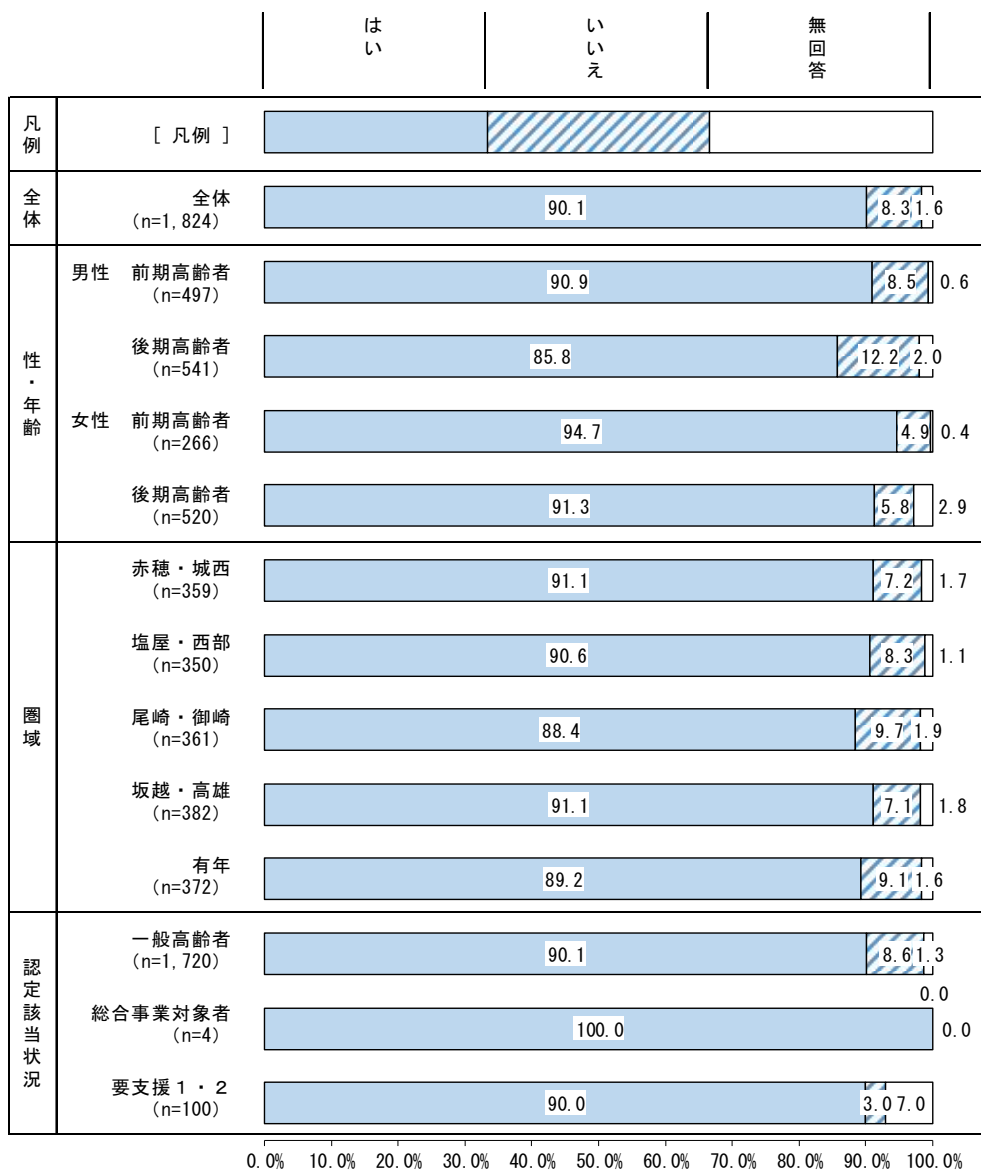


② 歯の状況

●問3-5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つだけ）

【全体】
○ 歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が90.1%、「いいえ」が8.3%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いいえ」が多くなっています。

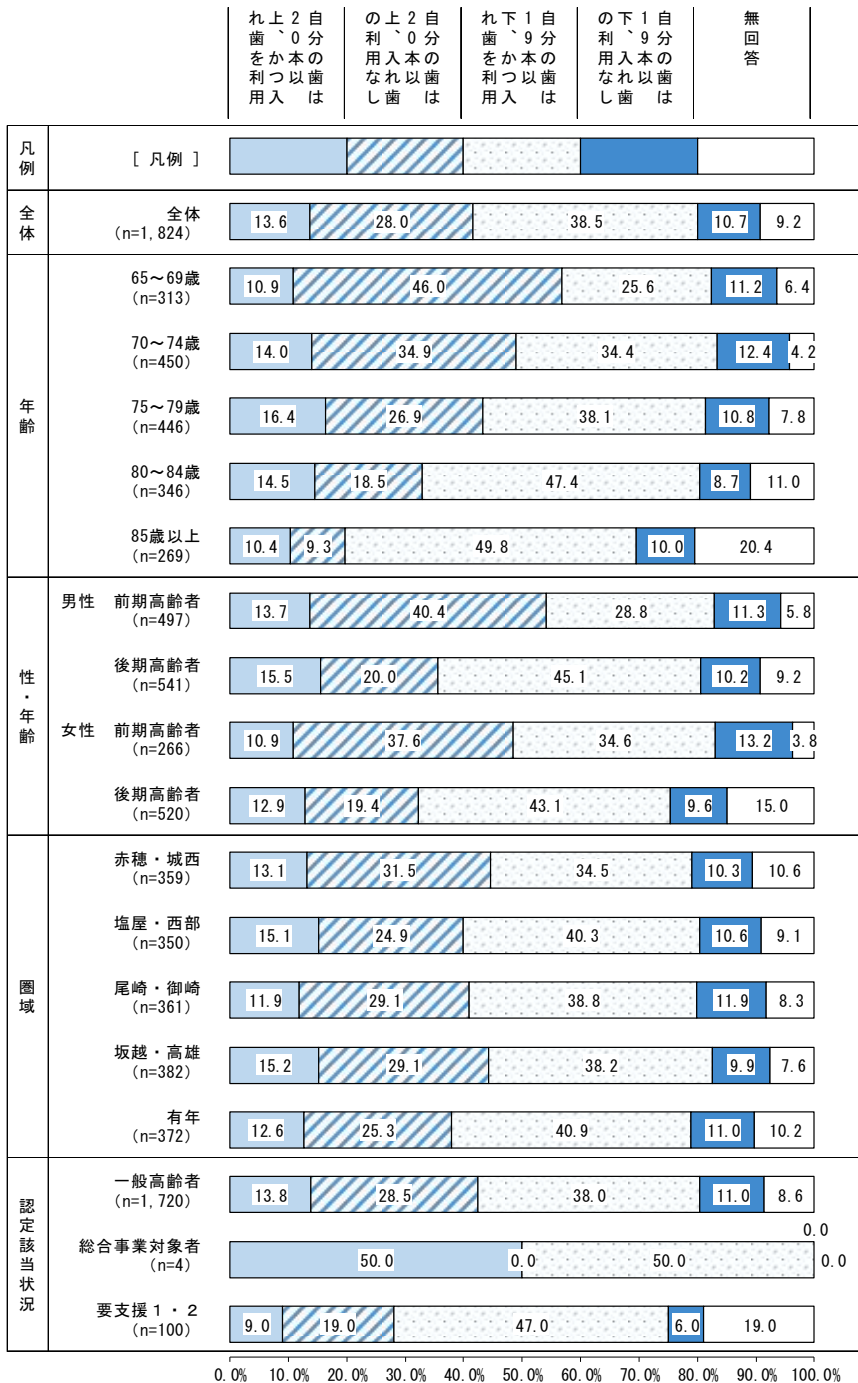
【歯磨きを毎日しているか】



●問3-6 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(1つだけ)

- 【全体】**
 ○ 歯の本数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 38.5%で最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 28.0%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 13.6%となっています。「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた“自分の歯は 20 本以上”は 41.6%となっています。
- 【年齢】**
 ○ 年齢が上がるほど“自分の歯は 20 本以上”が少なくなる傾向がみられ、80～84 歳では 33.0%、85 歳以上では 19.7%となっています。

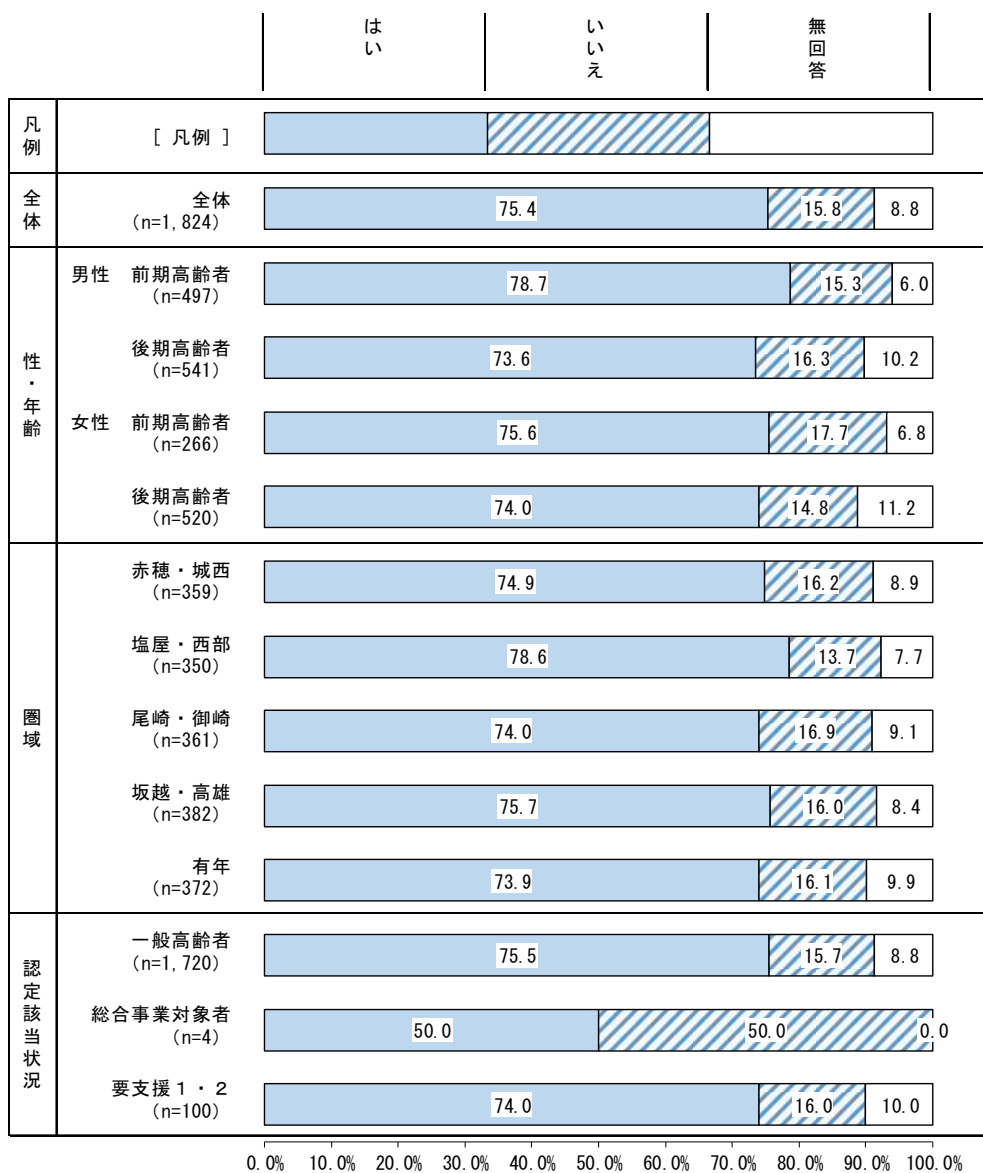
【歯の数と入れ歯の利用状況】



●問3-6-1 噛み合わせは良いですか。(1つだけ)

【全体】
○ 噛み合わせは良いかについて、「はい」が75.4%、「いいえ」が15.8%となっています。

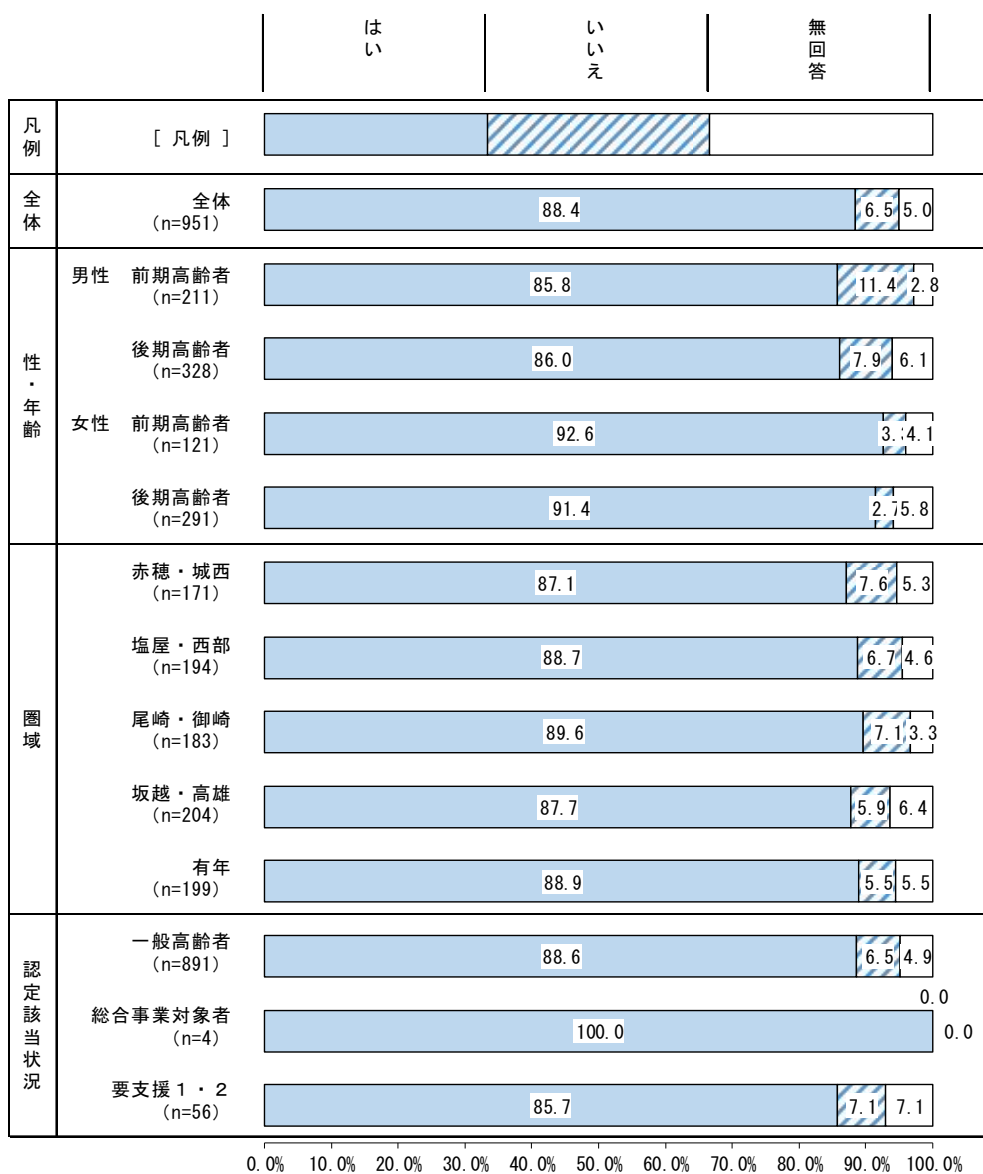
【噛み合わせは良いか】



●問3-6-2 [入れ歯を利用している方のみ] 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が 88.4%、「いいえ」が 6.5%となっています。
【性・年齢】
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いいえ」が多くなっています。

【毎日入れ歯の手入れをしているか】



(2) 栄養

① 体重の状況

◆栄養改善のリスクの判定

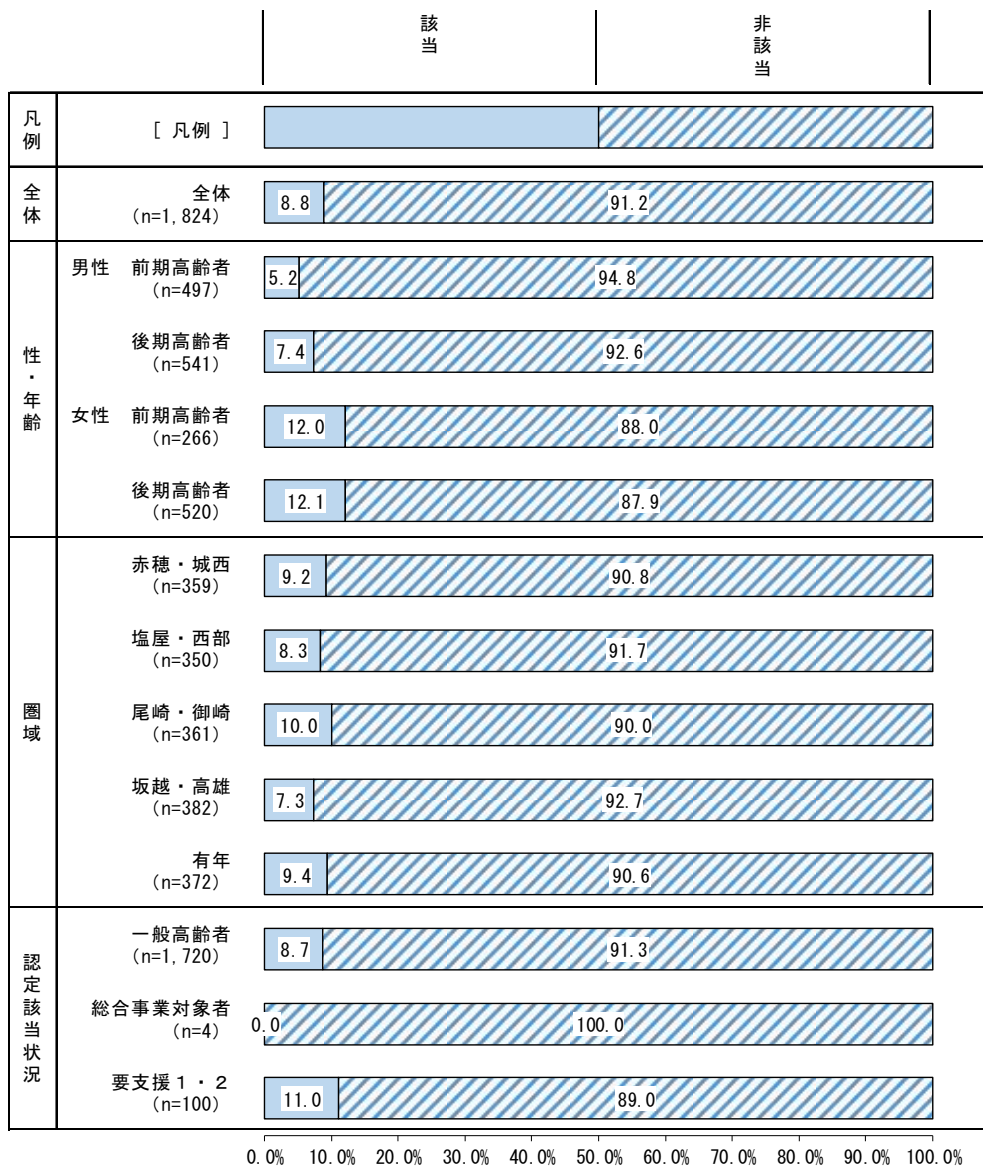
●リスク判定方法

下記に該当する場合、「栄養改善が必要な可能性がある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する場合
3-1	BMI：体重 (kg) ÷ {身長 (m) ×身長 (m)}	18.5 以下

<p>【全体】</p> <p>○ 栄養改善のリスクについて、「該当」が 8.8%、「非該当」が 91.2%となっています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。</p> <p>【認定該当状況】</p> <p>○ 一般高齢者では、「該当」が 8.7%となっています。</p>

【栄養改善のリスク】

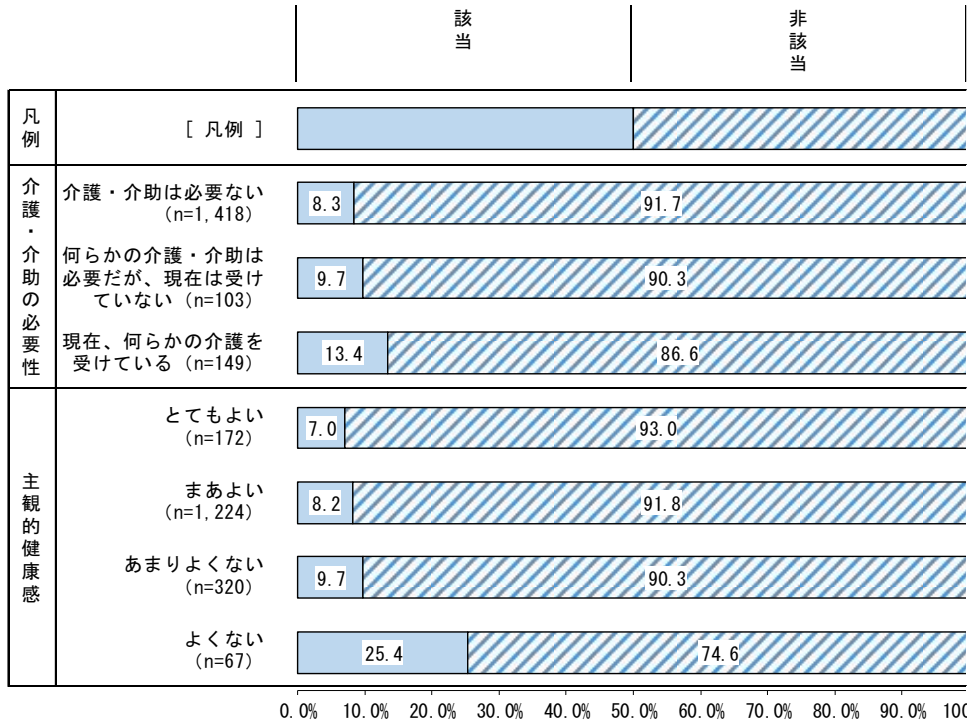


【介護・介助の必要性】

○ 「該当」は、介護・介助は必要ない人では8.3%、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない人では9.7%であるのに対し、現在、何らかの介護を受けている人では13.4%となっています。

【主観的健康感】

○ よくない人では、「該当」が25.4%と他の区分に比べて多くなっています。

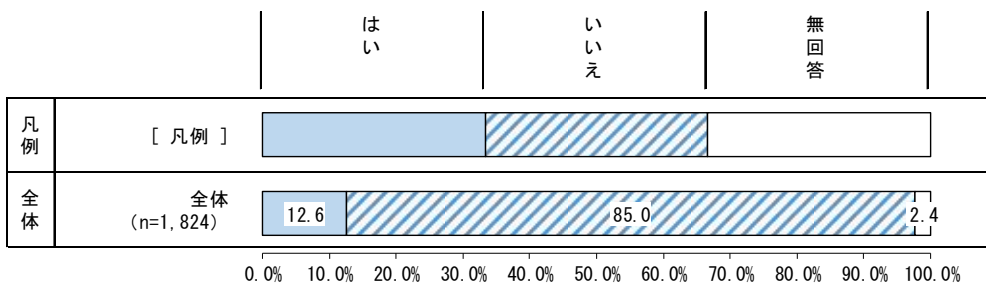


●問3-7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つだけ)

【全体】

○ 6か月間で2～3kgの体重減少があったかについて、「はい」が12.6%、「いいえ」が85.0%となっています。

【6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか】



◆低栄養のリスクの判定

●リスク判定方法

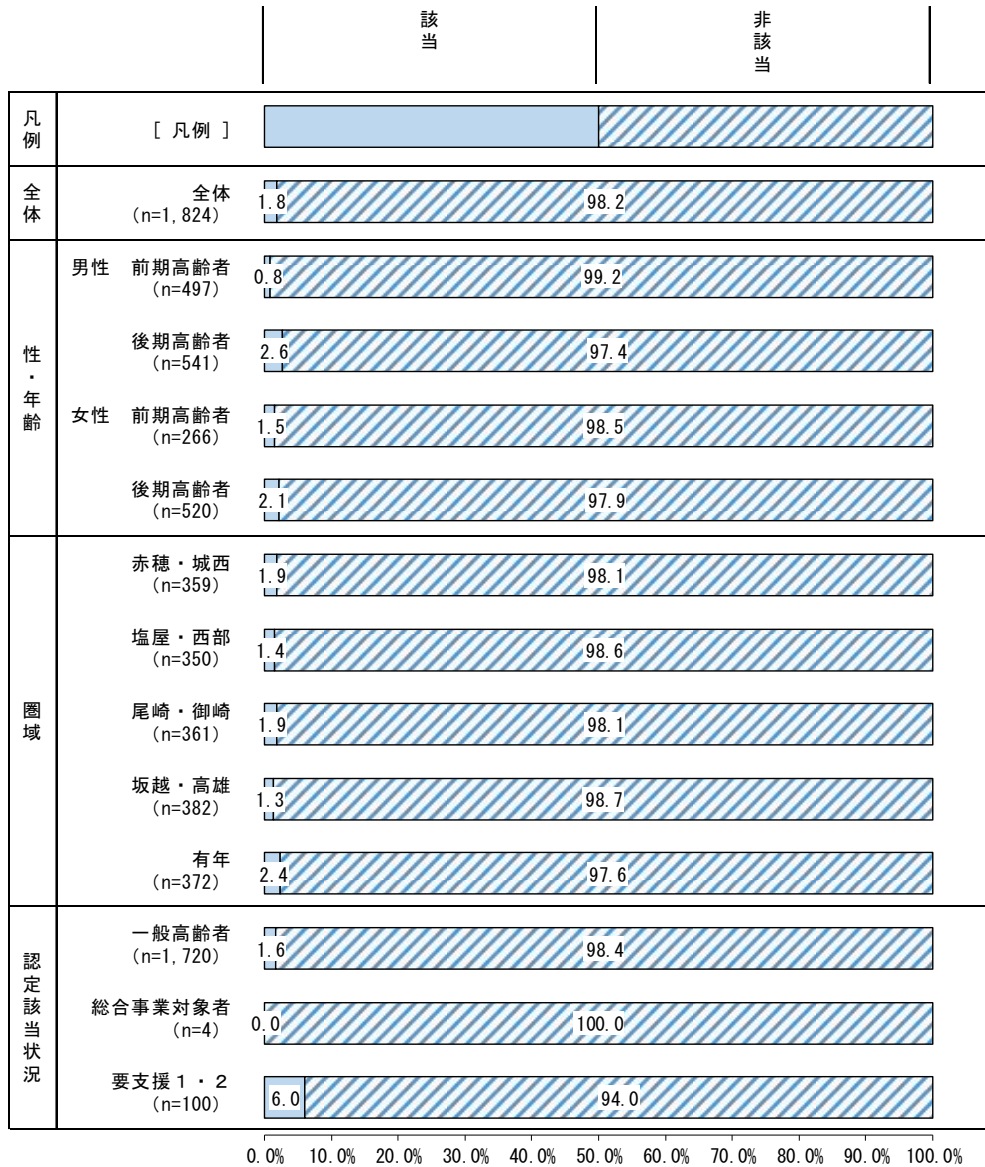
2項目ともに該当する場合、「低栄養状態にある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
3-1	BMI：体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)}	18.5 以下
3-7	6 か月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか。	1. はい

【全体】

○ 低栄養のリスクについて、「該当」が 1.8%、「非該当」が 98.2%となっています。

【低栄養のリスク】

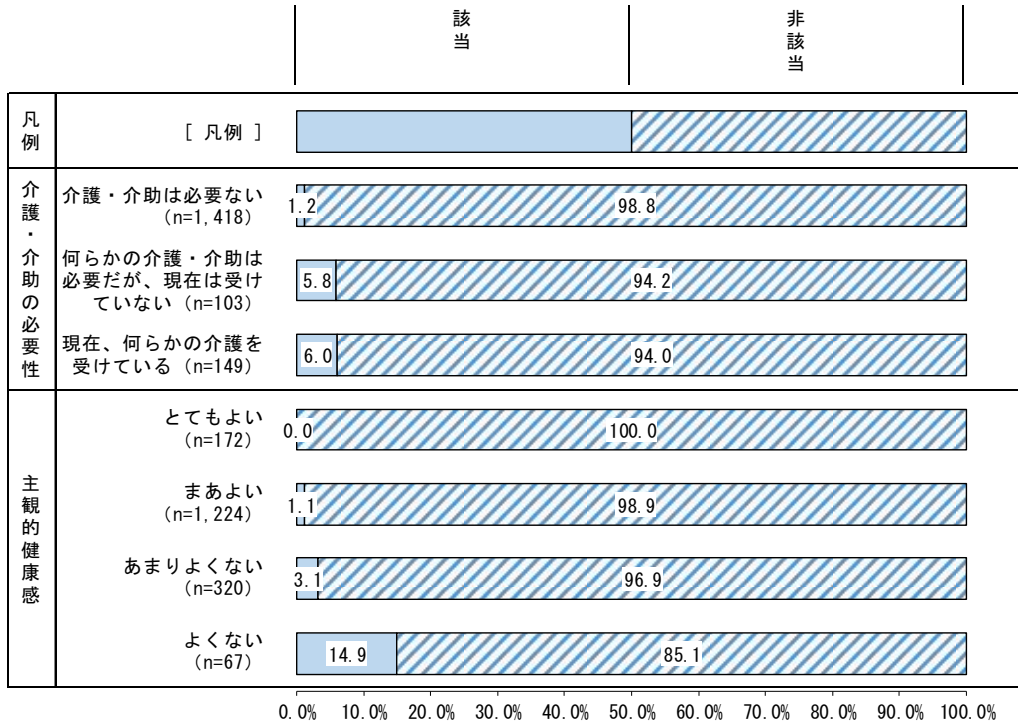


【介護・介助の必要性】

○ 「該当」は、介護・介助は必要ない人では 1.2%であるのに対し、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない人では 5.8%、現在、何らかの介護を受けている人では 6.0% となっています。

【主観的健康感】

○ よくない人では、「該当」が 14.9%と他の区分に比べて多くなっています。

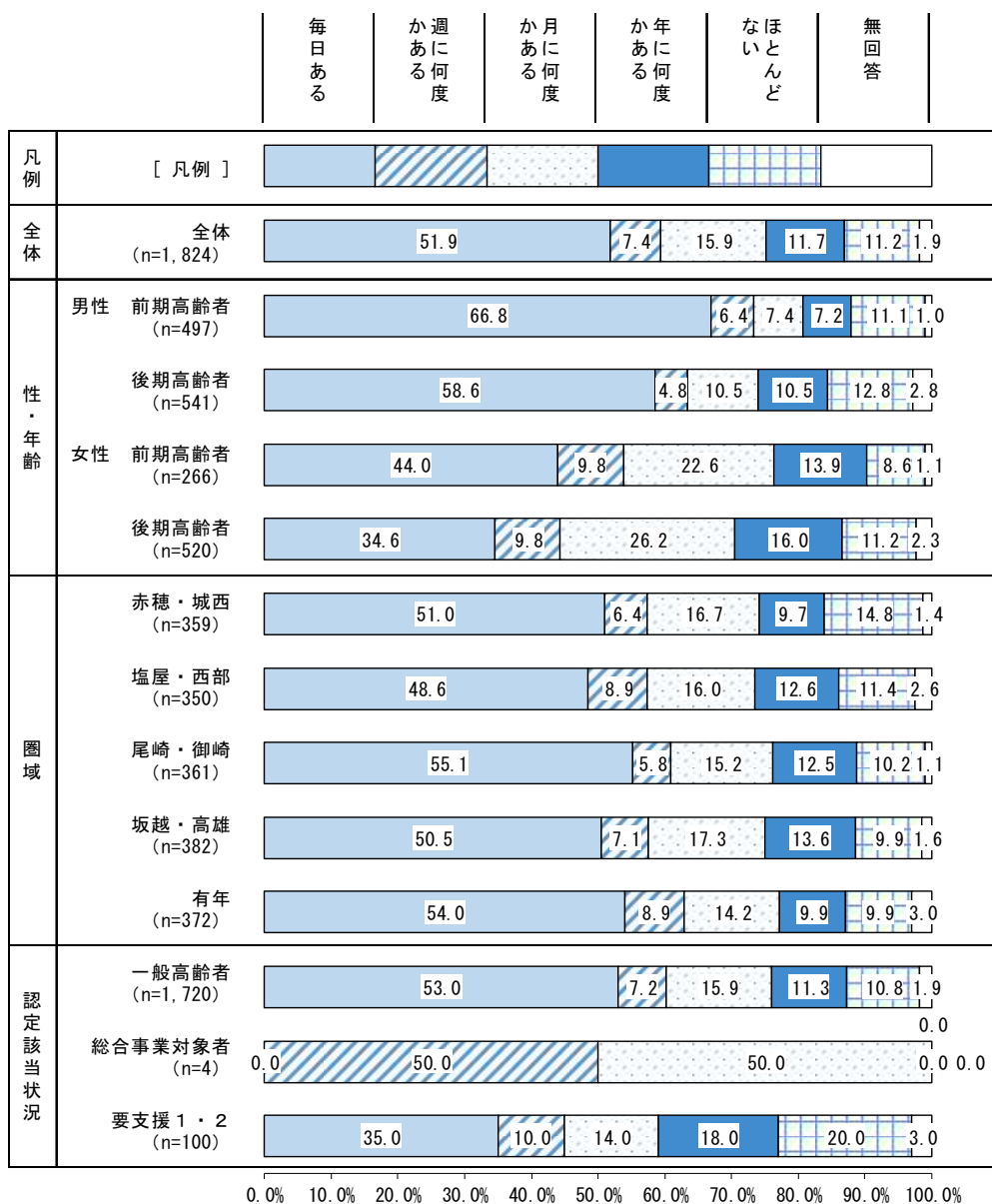


② 孤食の状況

●問3-8 どなたかと食事をともにする機会はありますか。(1つだけ)

【全体】
○ 共食の有無について、「毎日ある」が51.9%で最も多く、次いで「月に何度かある」が15.9%、「年に何度かある」が11.7%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「毎日ある」が少なく、特に女性 後期高齢者では34.6%となっています。

【共食の有無】



【家族構成】

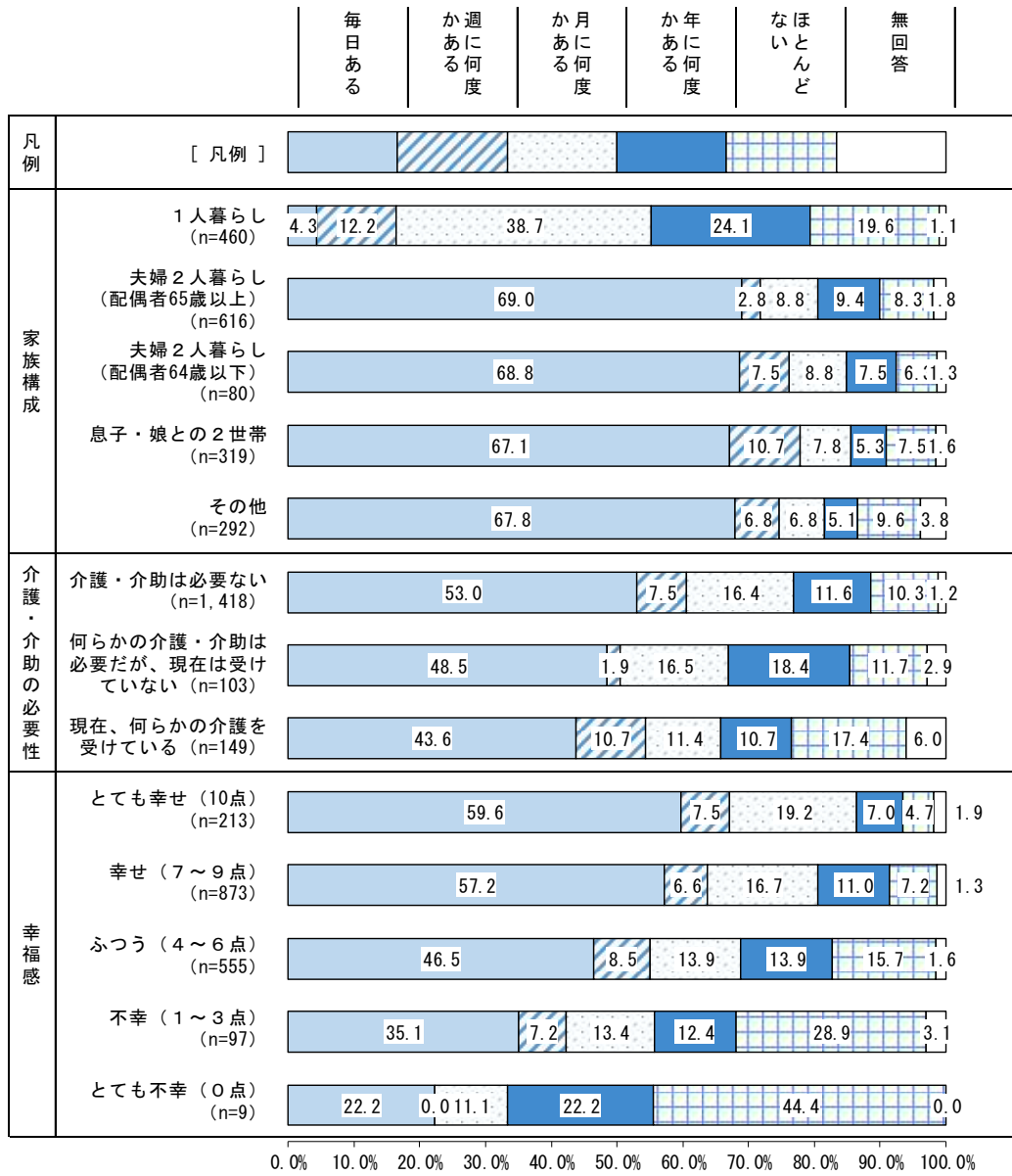
○ 1人暮らしでは、「毎日ある」が4.3%と他の区分に比べて少なく、「ほとんどない」が19.6%と多くなっています。

【介護・介助の必要性】

○ 「ほとんどない」は、介護・介助は必要ない人では10.3%、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない人では11.7%であるのに対し、現在、何らかの介護を受けている人では17.4%となっています。

【幸福感】

○ 幸福感が低いほど「毎日ある」が少なく、「ほとんどない」が多くなる傾向がみられます。



4. 毎日の生活について

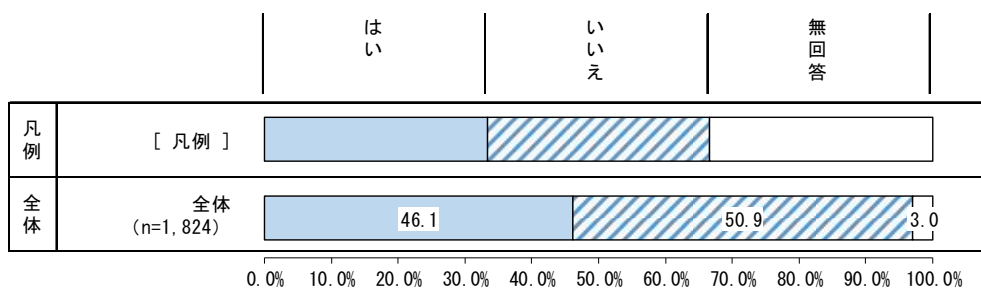
(1) 物忘れ

●問4-1 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ)

【全体】

○ 物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が 46.1%、「いいえ」が 50.9%となっています。

【物忘れが多いと感じるか】



◆認知機能の低下リスクの判定

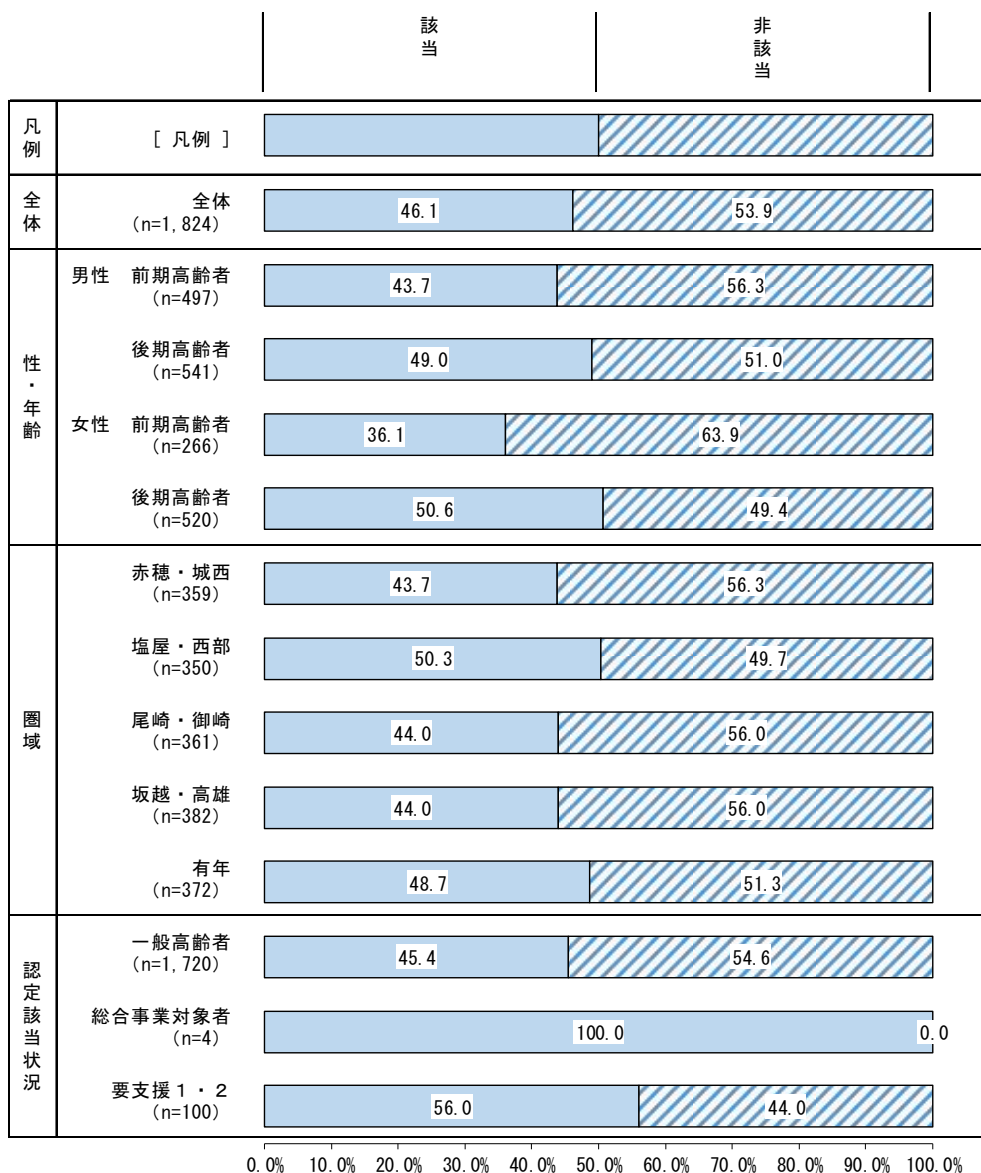
●リスク判定方法

下記に該当する場合、「認知機能が低下している」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
4-1	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

<p>【全体】</p> <p>○ 認知機能の低下リスクについて、「該当」が46.1%、「非該当」が53.9%となっています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。</p> <p>【認定該当状況】</p> <p>○ 一般高齢者では、「該当」が45.4%となっています。</p>
--

【認知機能の低下リスク】

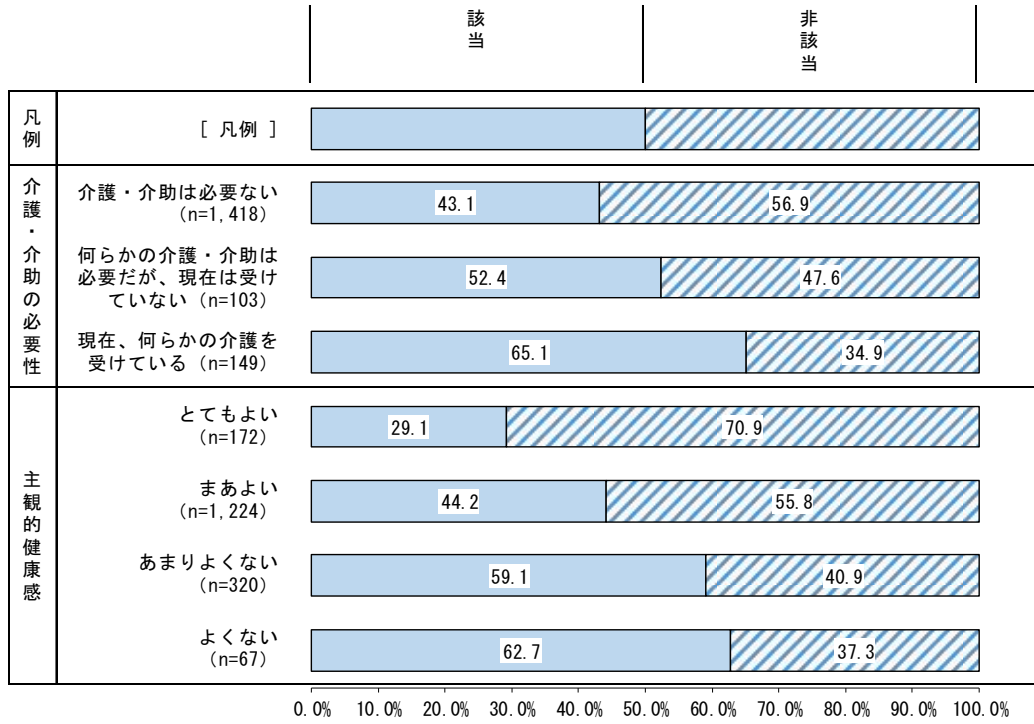


【介護・介助の必要性】

○ 「該当」は、介護・介助は必要ない人では 43.1%、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない人では 52.4%、現在、何らかの介護を受けている人では 65.1%となっています。

【主観的健康感】

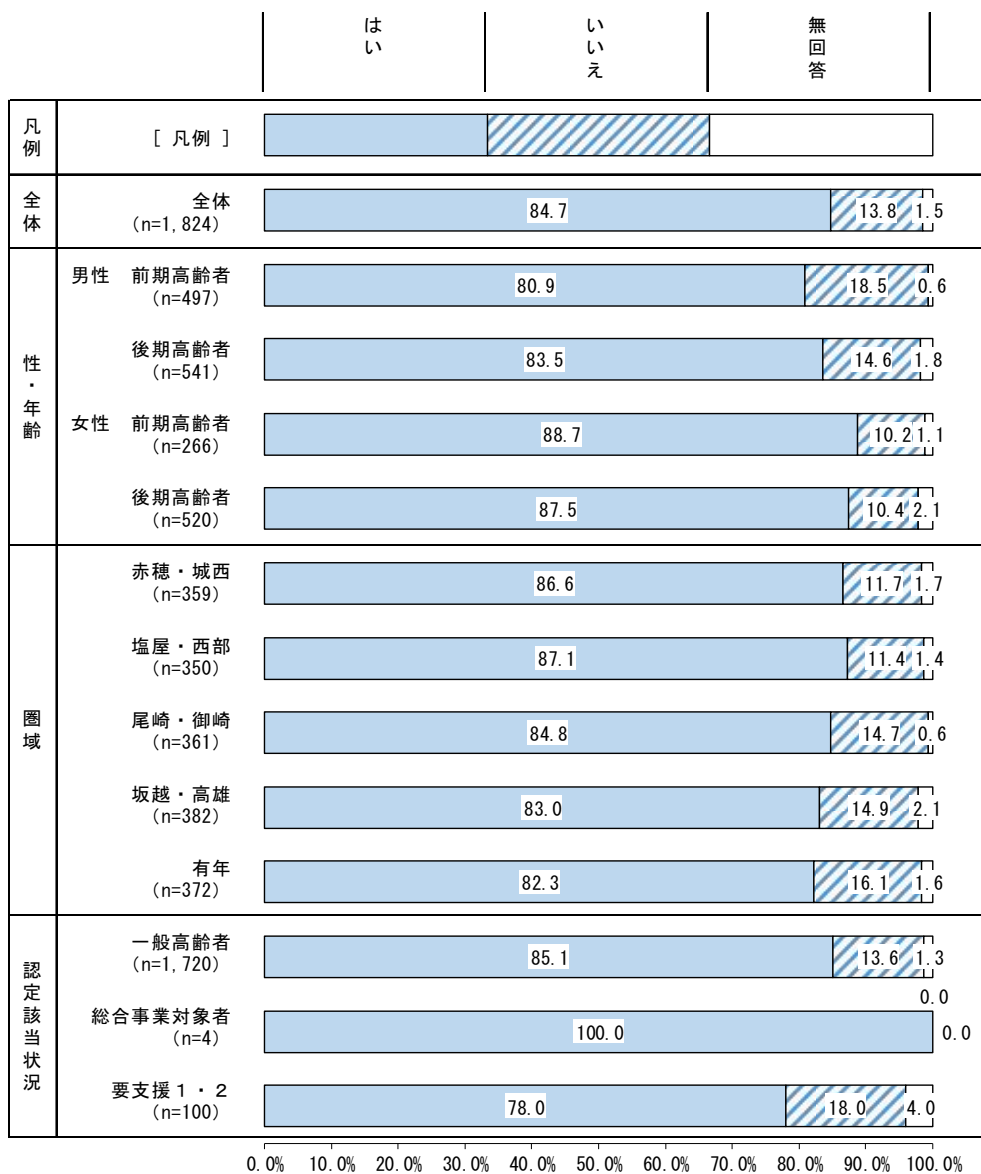
○ 健康感がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。



●問4-2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 自分で電話番号を調べて電話をかけることをしているかについて、「はい」が 84.7%、「いいえ」が 13.8%となっています。

【自分で電話番号を調べて電話をかけることをしているか】

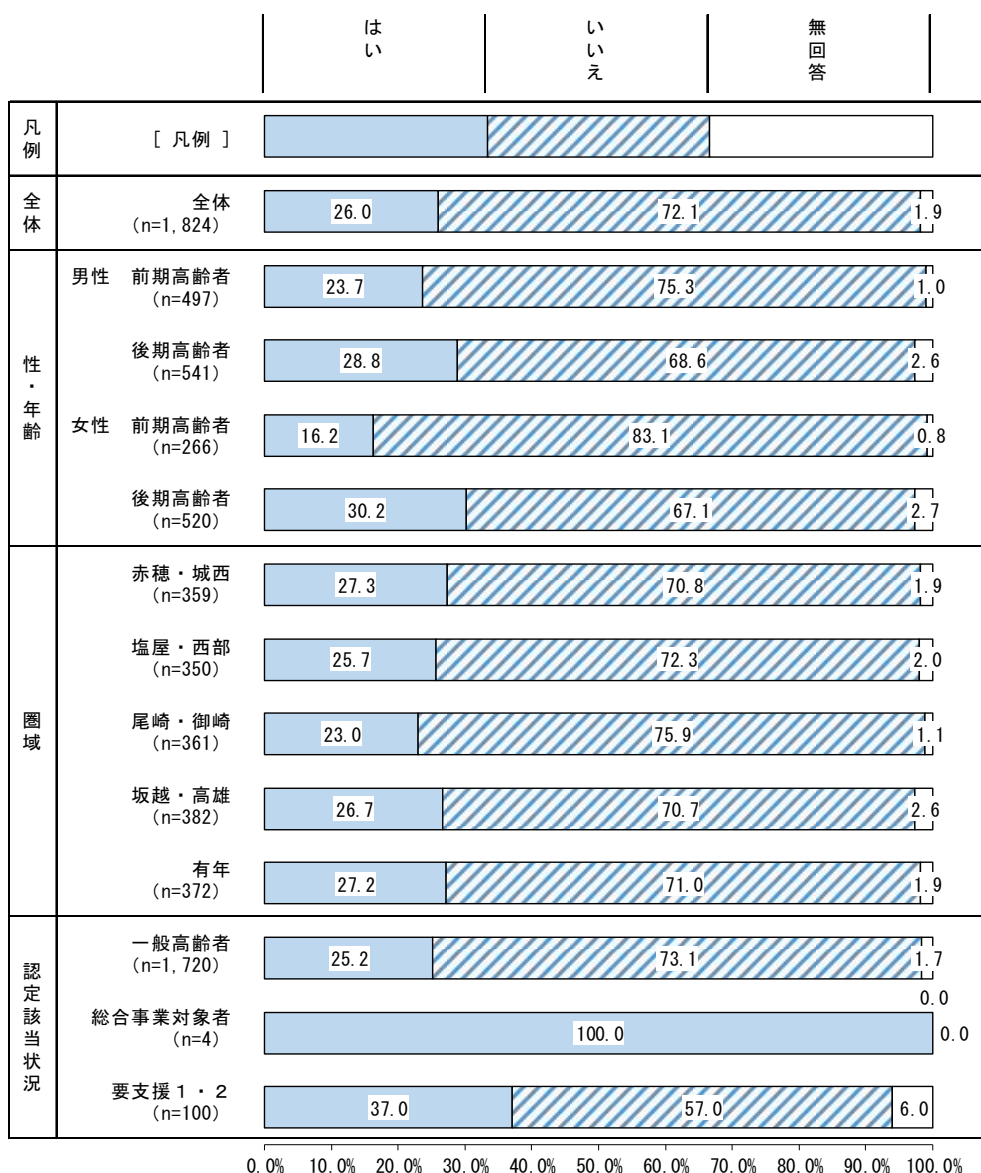


●問4-3 今日が何月何日か、わからない時がありますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 今日が何月何日かわからない時があるかについて、「はい」が26.0%、「いいえ」が72.1%となっています。

【性・年齢】
 ○ 女性では前期高齢者で「はい」が16.2%であるのに対し、後期高齢者では30.2%と多くなっています。

【今日が何月何日かわからない時があるか】

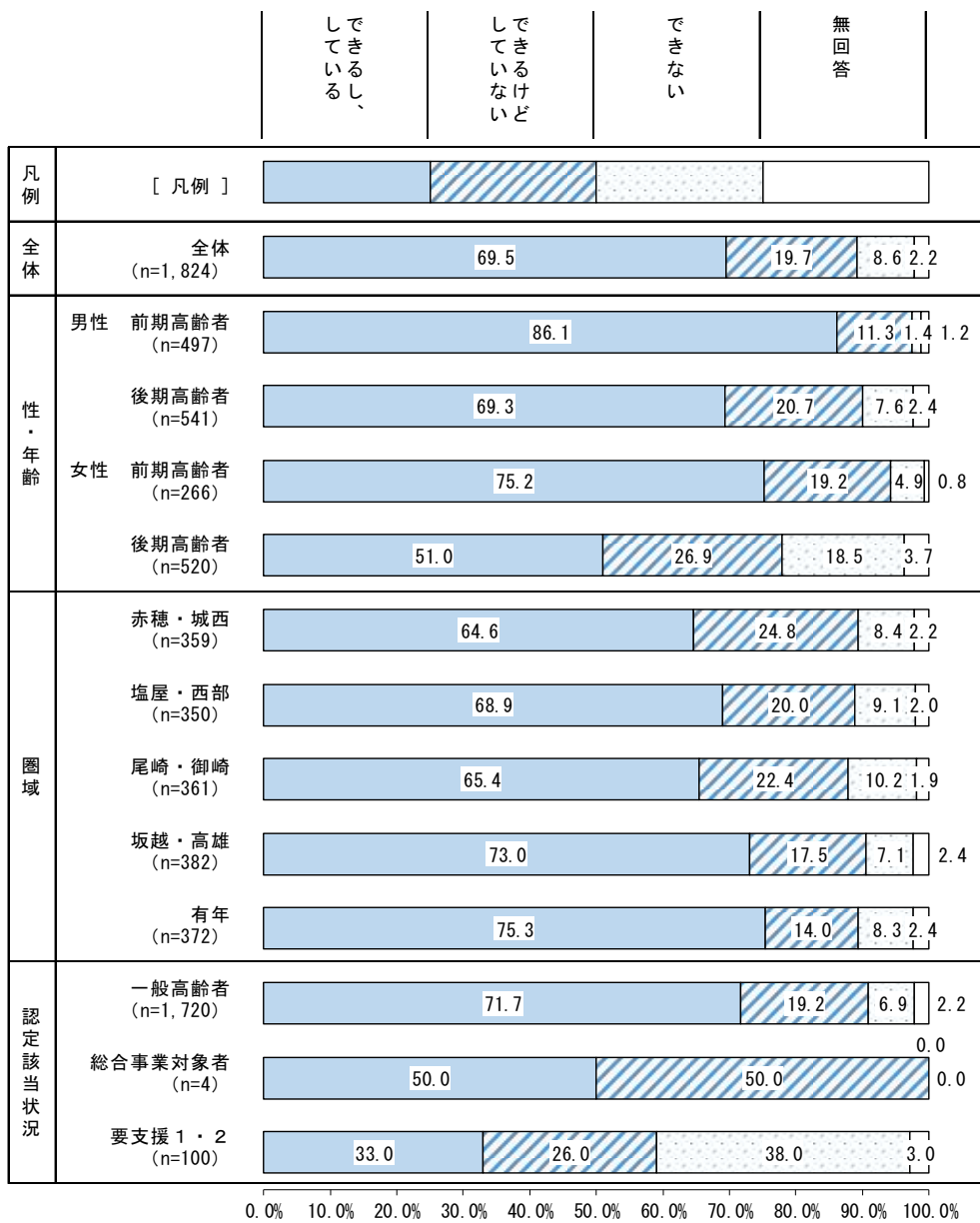


(2) IADLの状況

●問4-4 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（1つだけ）

- 【全体】**
 ○ バスや電車を使った1人での外出について、「できるし、している」が69.5%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が19.7%、「できない」が8.6%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「できない」が多く、特に女性 後期高齢者では18.5%となっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 「できない」は、一般高齢者で6.9%、総合事業対象者で0.0%であるのに対し、要支援1・2では38.0%と多くなっています。

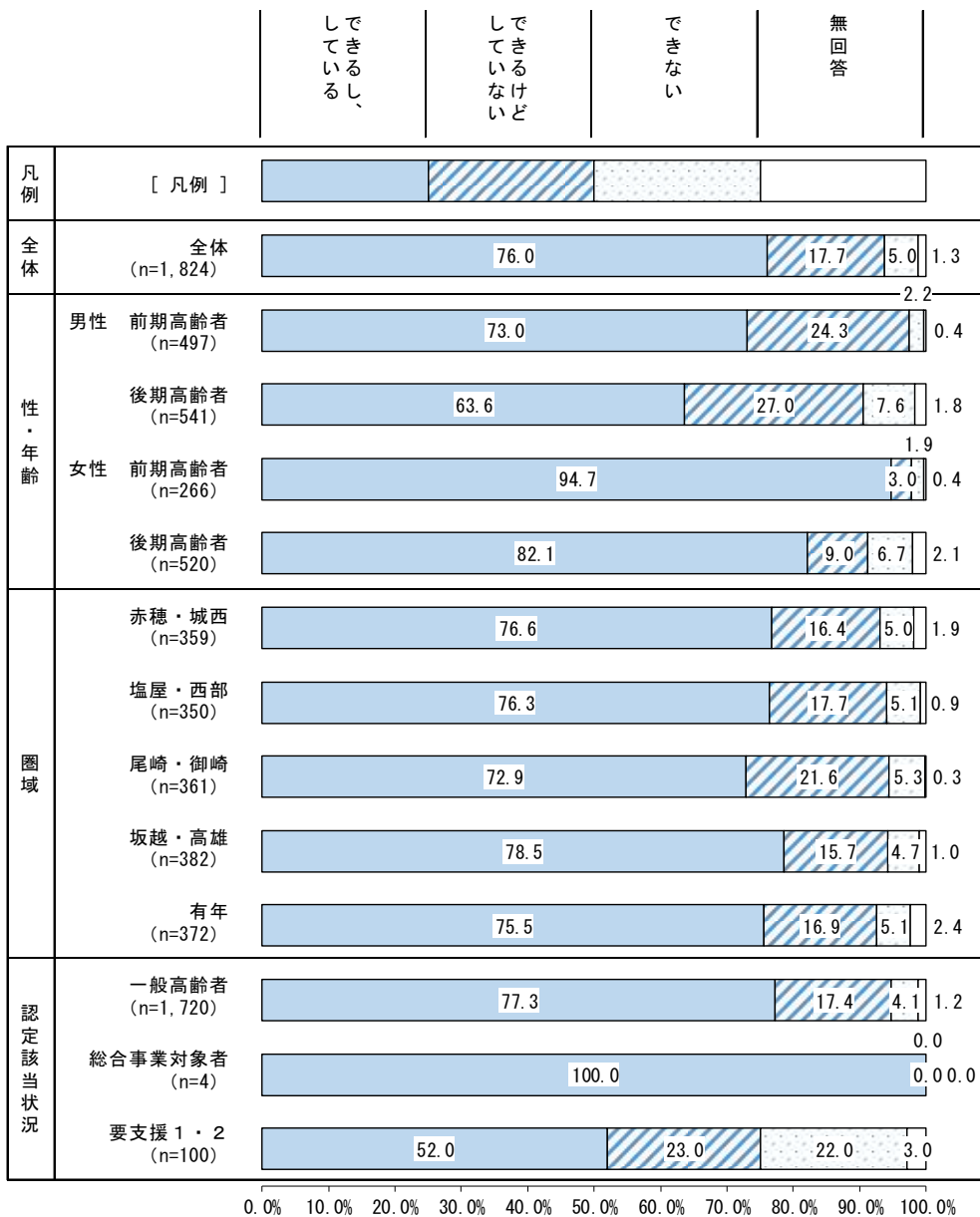
【バスや電車を使った1人での外出】



●問4-5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ)

- 【全体】**
 ○ 食品・日用品の買物について、「できるし、している」が76.0%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が17.7%、「できない」が5.0%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「できない」が多くなっています。
 ○ 女性では「できるけどしていない」が、前期高齢者では3.0%であるのに対し、後期高齢者では9.0%となっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 「できない」は、一般高齢者で4.1%、総合事業対象者で0.0%であるのに対し、要支援1・2では22.0%となっています。

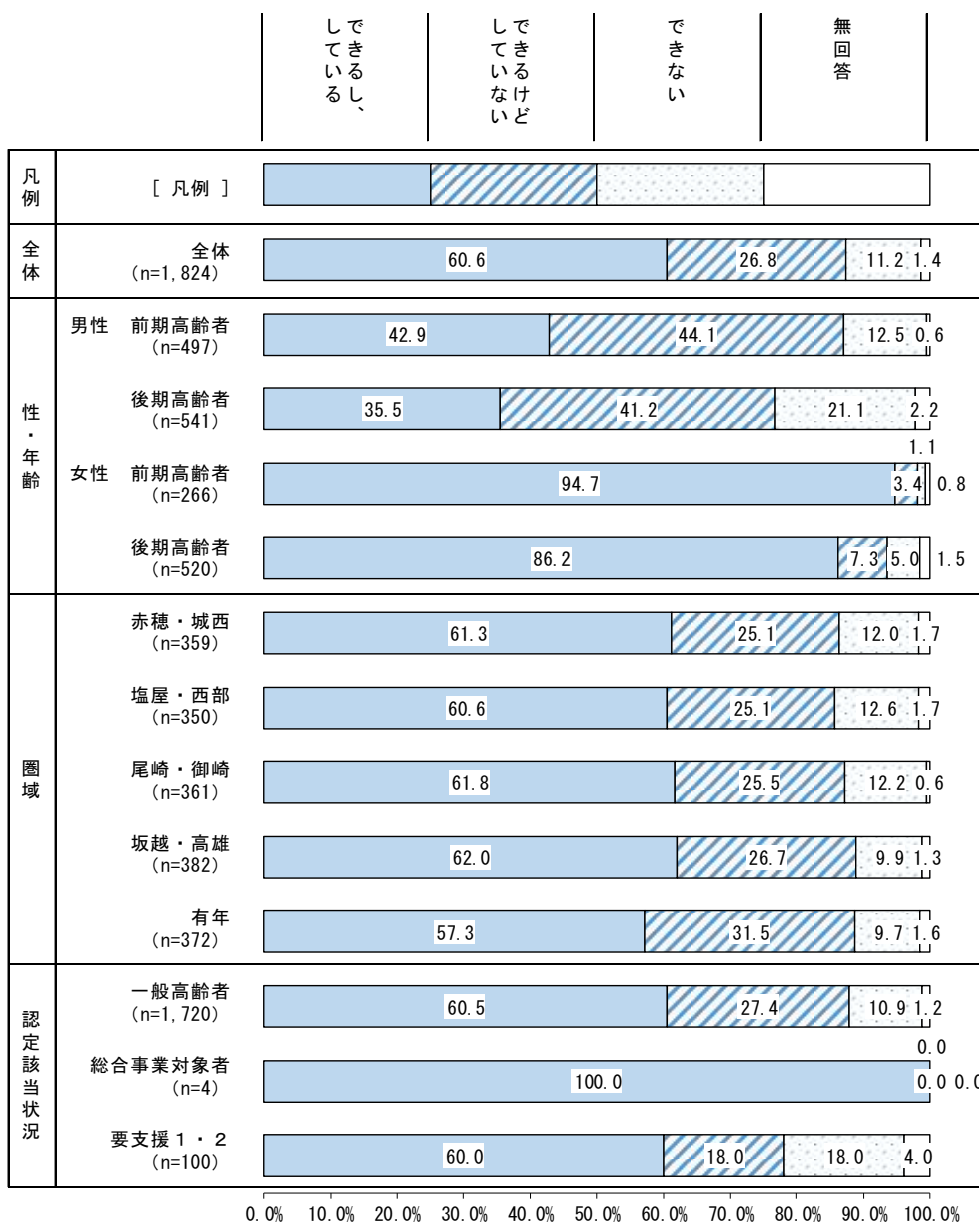
【食品・日用品の買物】



●問4-6 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ)

- 【全体】**
 ○ 食事の用意について、「できるし、している」が60.6%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が26.8%、「できない」が11.2%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「できない」が多くなっています。
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「できるけどしていない」「できない」が多くなっています。

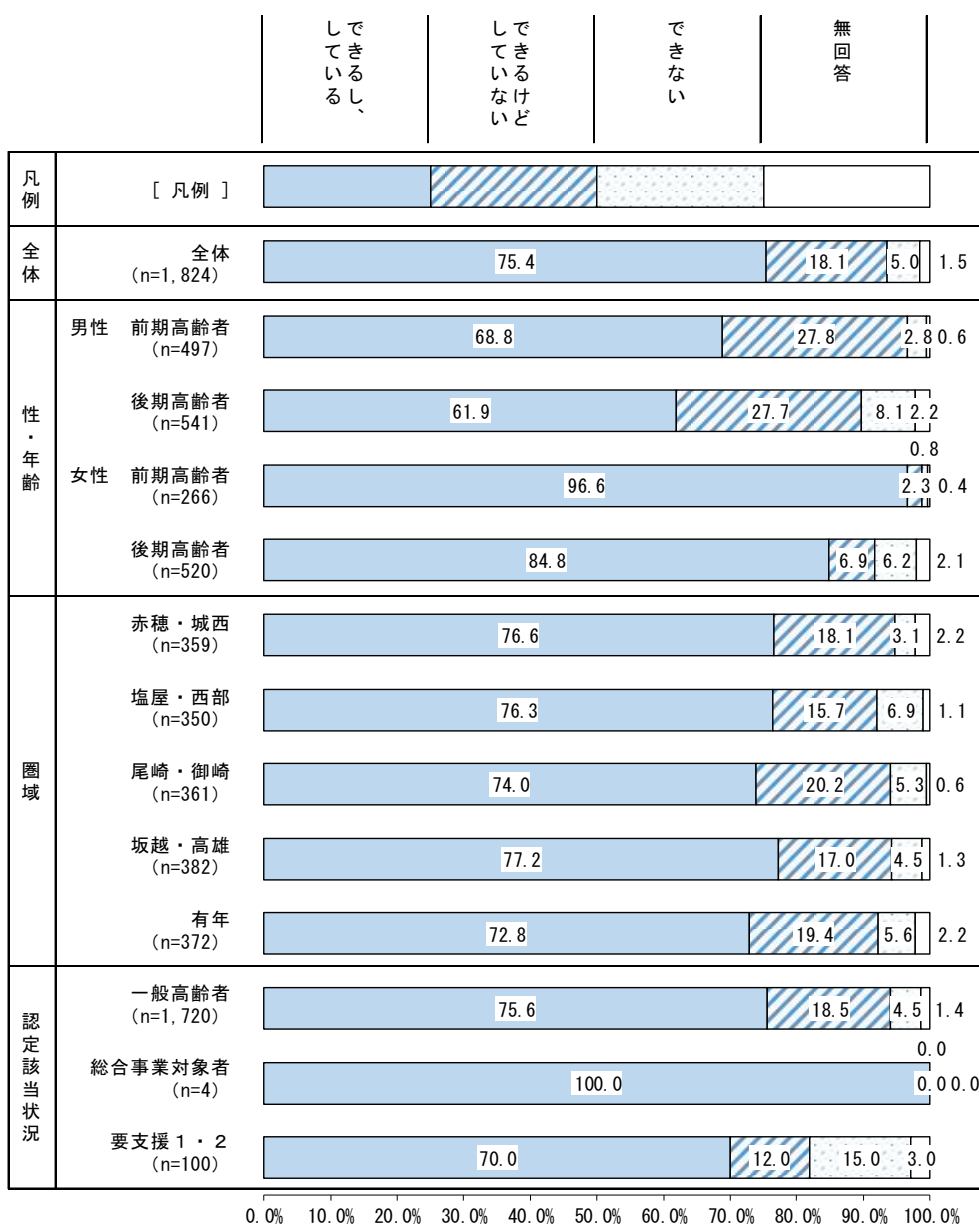
【食事の用意】



●問4-7 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ)

- 【全体】**
 ○ 請求書の支払いについて、「できるし、している」が75.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が18.1%、「できない」が5.0%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「できない」が多くなっています。
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「できるけどしていない」が多くなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 「できない」は、一般高齢者で4.5%、総合事業対象者で0.0%であるのに対し、要支援1・2では15.0%となっています。

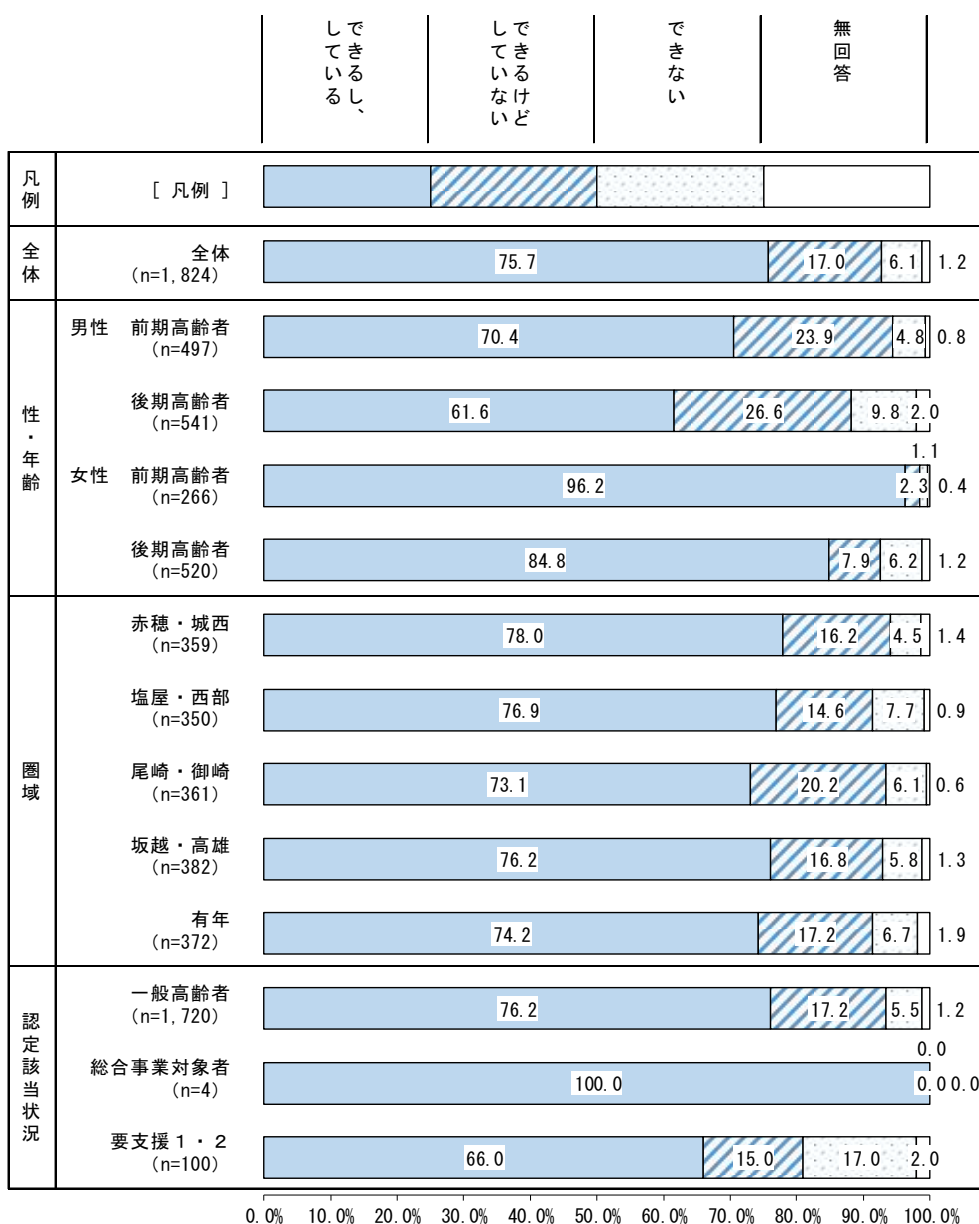
【請求書の支払い】



●問4-8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ)

- 【全体】**
 ○ 預貯金の出し入れについて、「できるし、している」が75.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が17.0%、「できない」が6.1%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「できない」が多くなっています。
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「できるけどしていない」が多くなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 「できない」は、一般高齢者で5.5%、総合事業対象者で0.0%であるのに対し、要支援1・2では17.0%となっています。

【預貯金の出し入れ】

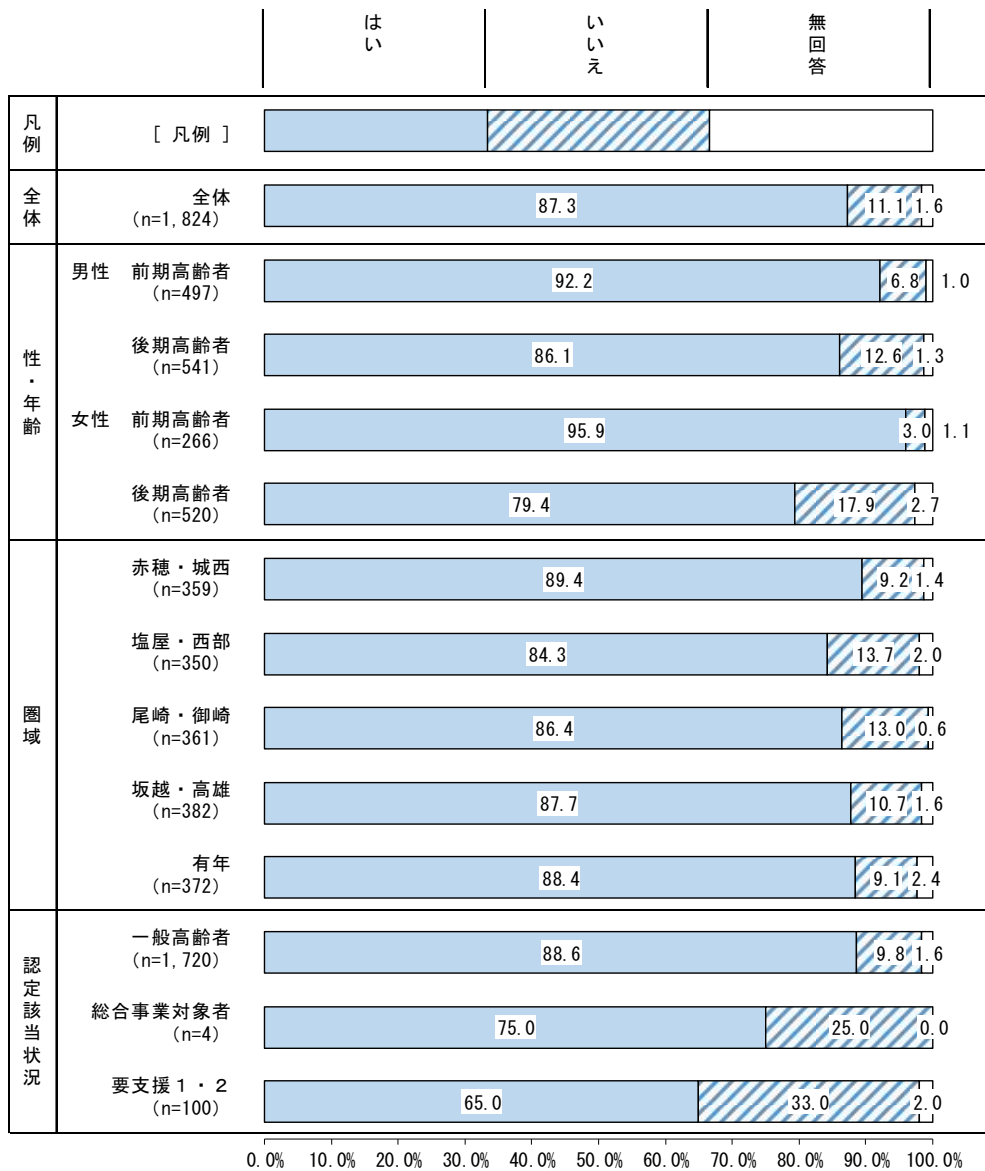


(3) 社会との関わり

●問4-9 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（1つだけ）

【全体】
○ 年金などの書類が書けるかについて、「はい」が87.3%、「いいえ」が11.1%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「いいえ」が多くなっています。
【認定該当状況】
○ 要支援1・2では、「いいえ」が33.0%となっています。

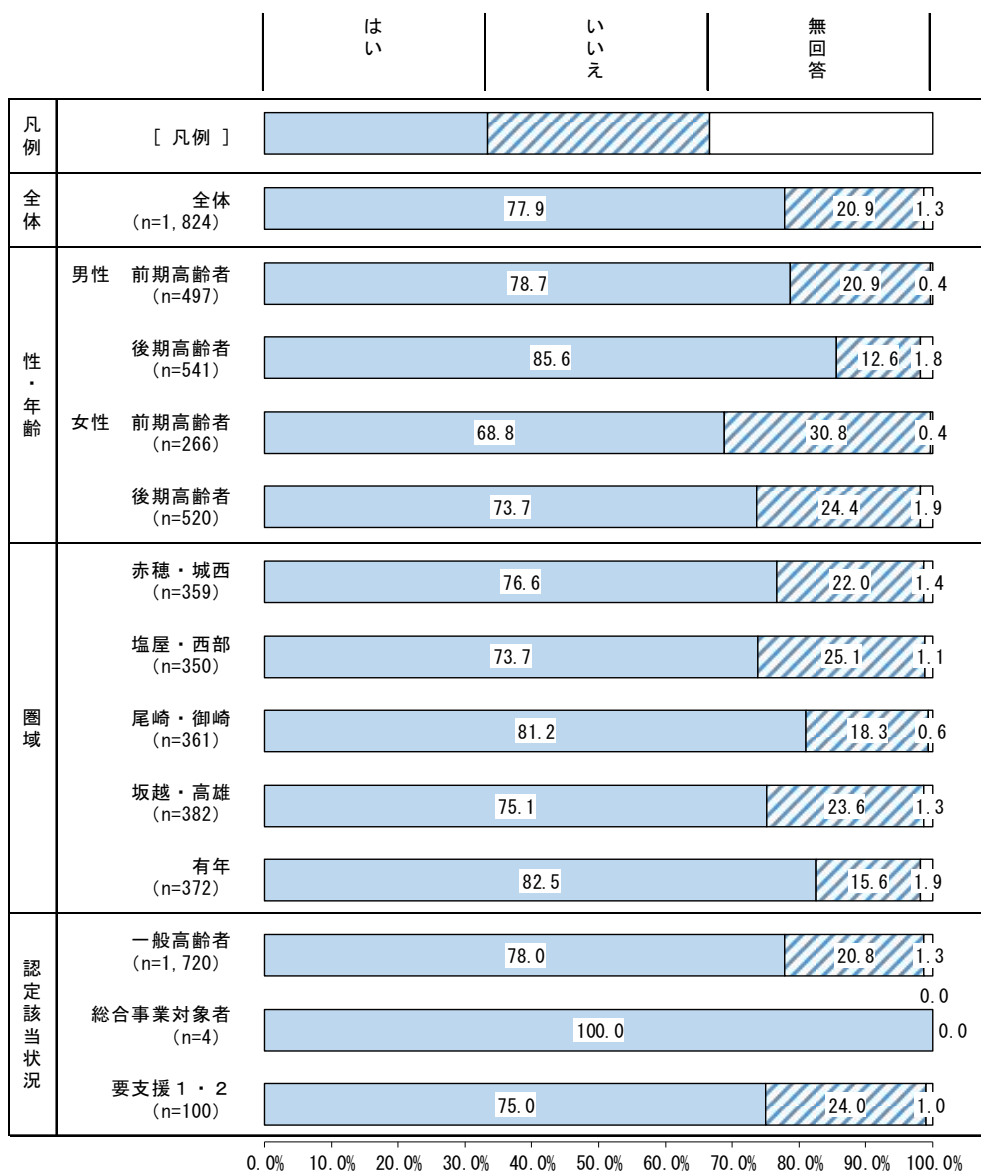
【年金などの書類が書けるか】



●問4-10 新聞を読んでいますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 新聞を読んでいるかについて、「はい」が77.9%、「いいえ」が20.9%となっています。
【性・年齢】
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「はい」が多くなっています。

【新聞を読んでいるか】

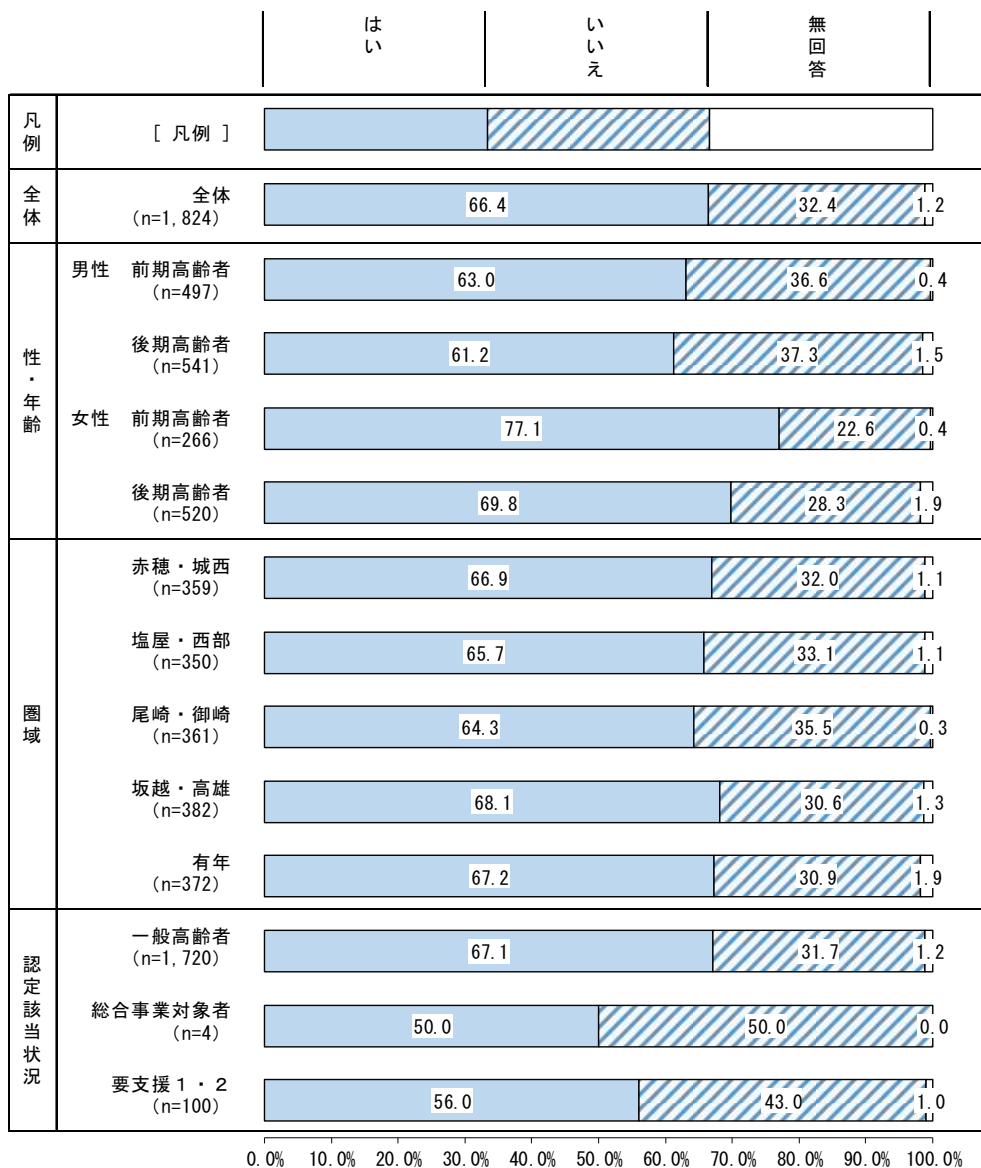


●問4-11 本や雑誌を読んでいますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が 66.4%、「いいえ」が 32.4%となっています。

【性・年齢】
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。

【本や雑誌を読んでいるか】

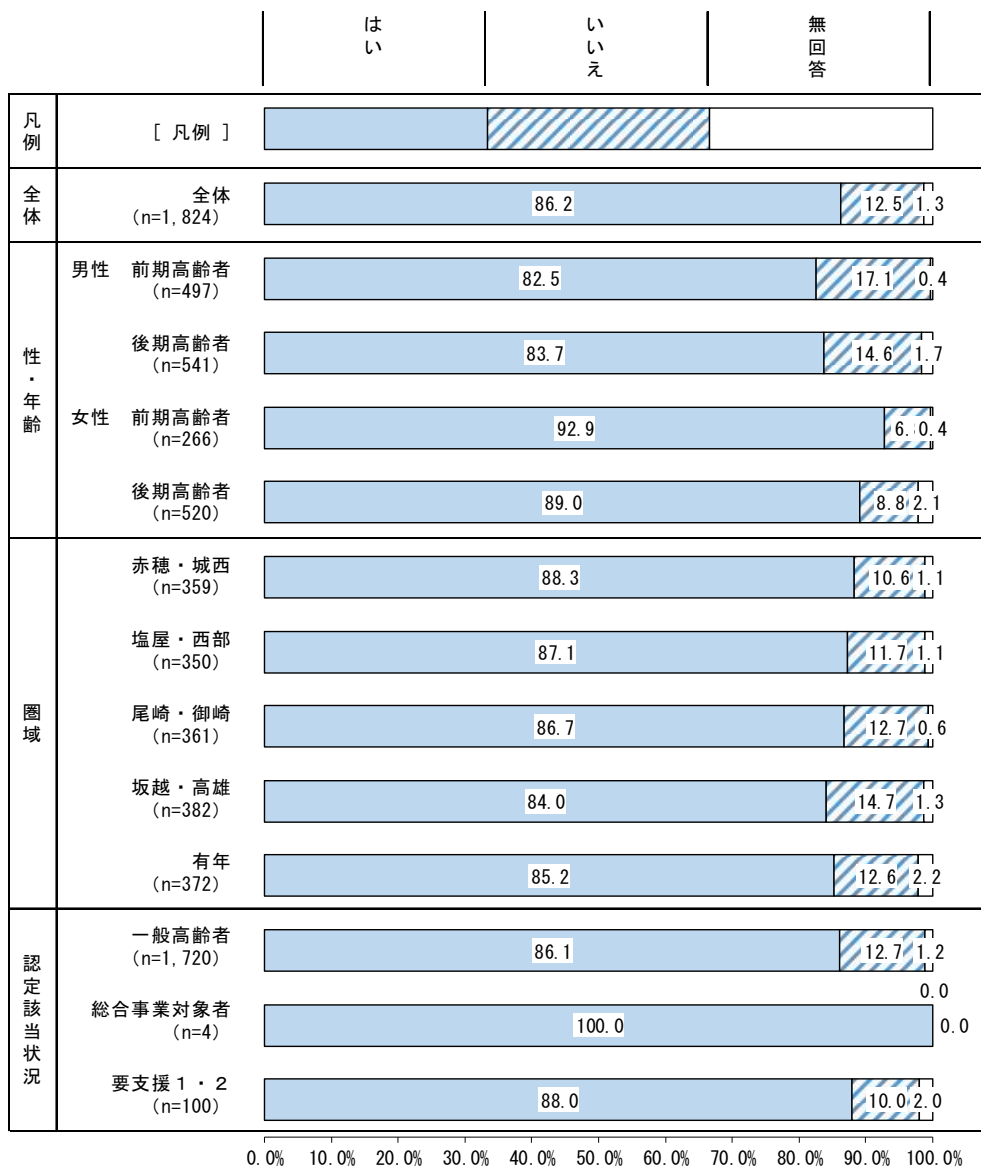


●問4-12 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が86.2%、「いいえ」が12.5%となっています。

【性・年齢】
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。

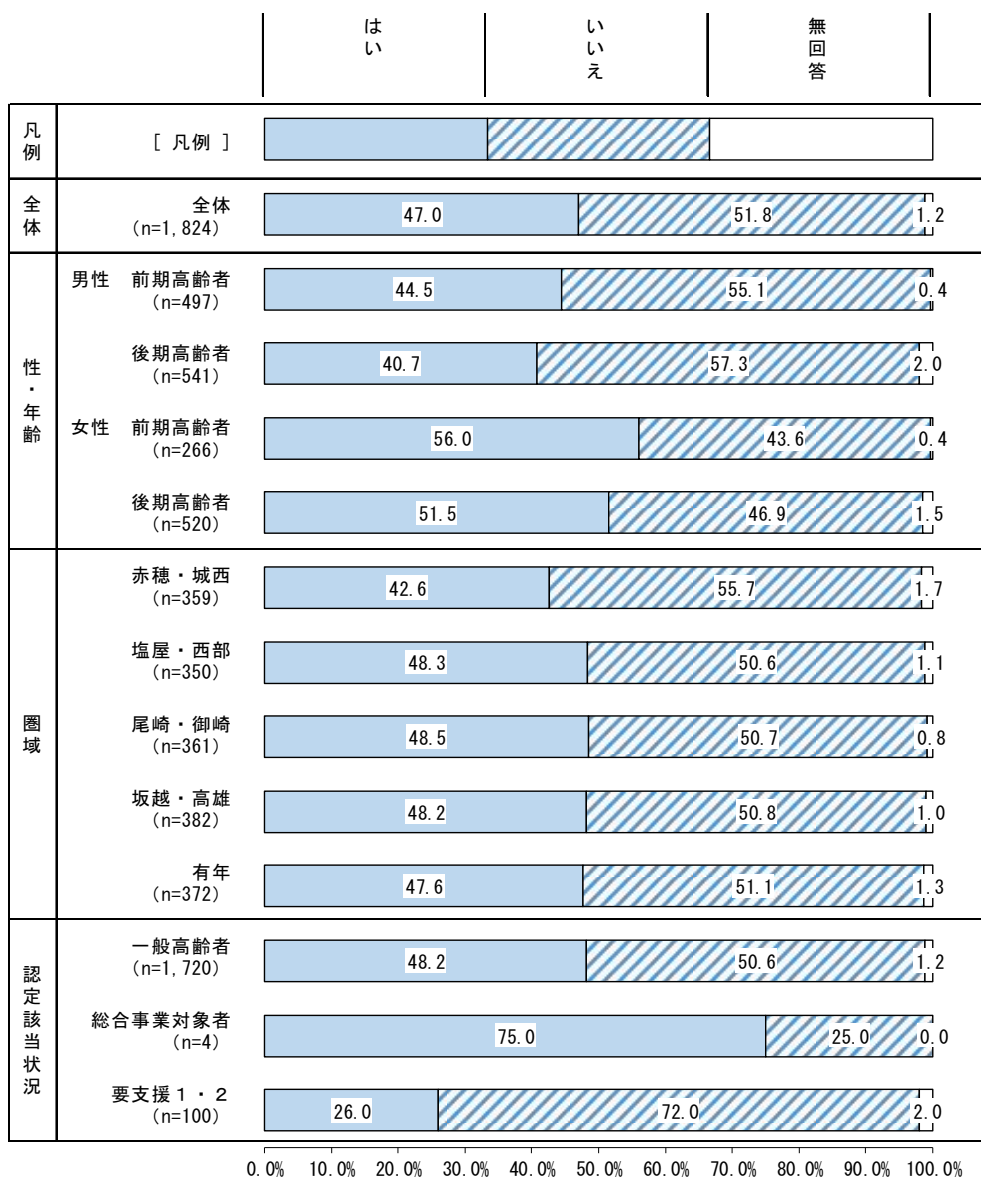
【健康についての記事や番組に関心があるか】



●問4-13 友人の家を訪ねていますか。(1つだけ)

- 【全体】**
○ 友人の家を訪ねているかについて、「はい」が 47.0%、「いいえ」が 51.8%となっています。
- 【性・年齢】**
○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。
- 【圏域】**
○ 赤穂・城西圏域では、「はい」が 42.6%と他の圏域に比べて少なくなっています。

【友人の家を訪ねているか】

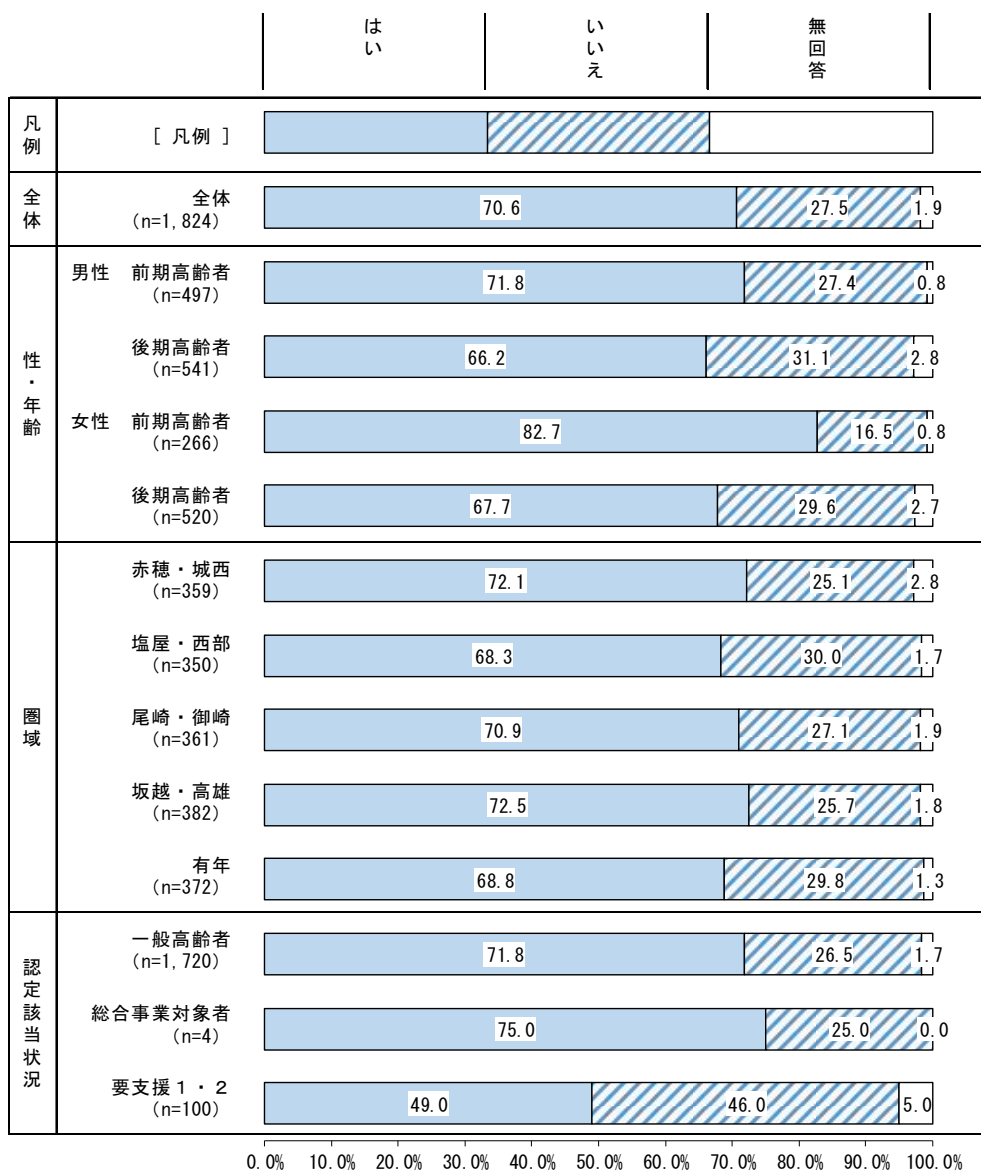


●問4-14 家族や友人の相談にのっていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が70.6%、「いいえ」が27.5%となっています。

【性・年齢】
 ○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。

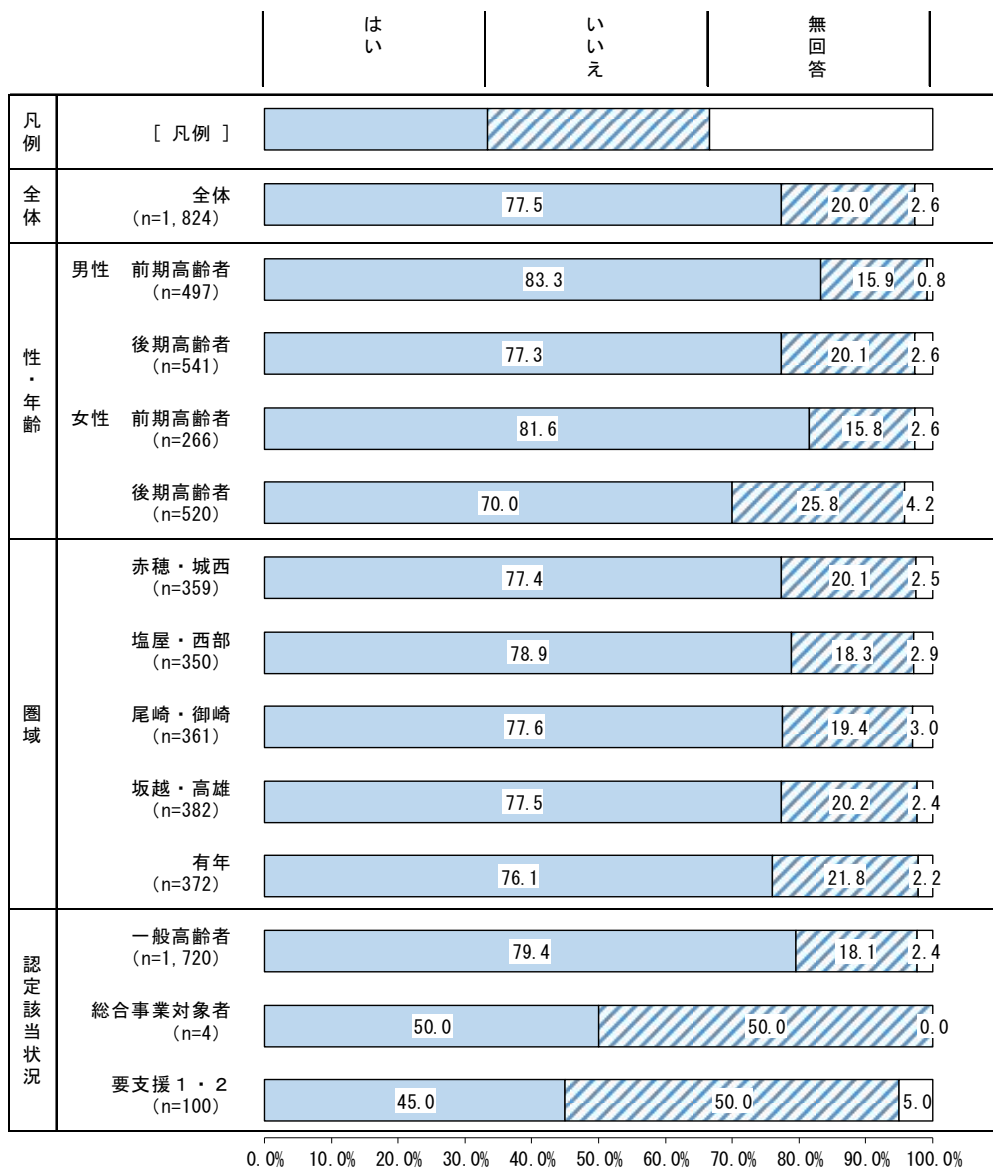
【家族や友人の相談にのっているか】



●問4-15 病人を見舞うことができますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 病人を見舞うことができるかについて、「はい」が77.5%、「いいえ」が20.0%となっています。
【性・年齢】
 ○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。

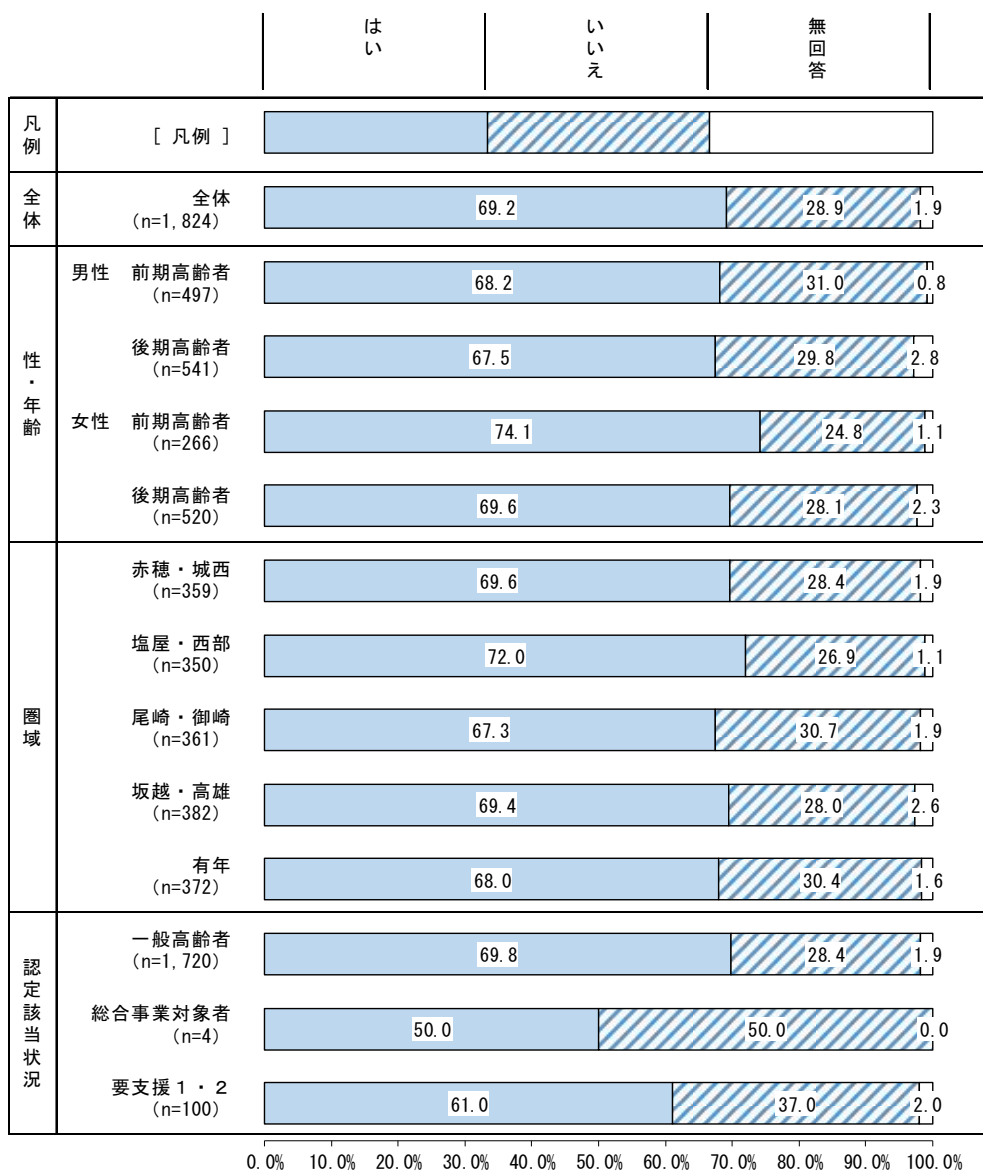
【病人を見舞うことができるか】



●問4-16 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい」が 69.2%、「いいえ」が 28.9%となっています。
【性・年齢】
 ○ 「はい」は女性 前期高齢者が 74.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【若い人に自分から話しかけることがあるか】



(4) 趣味・生きがい

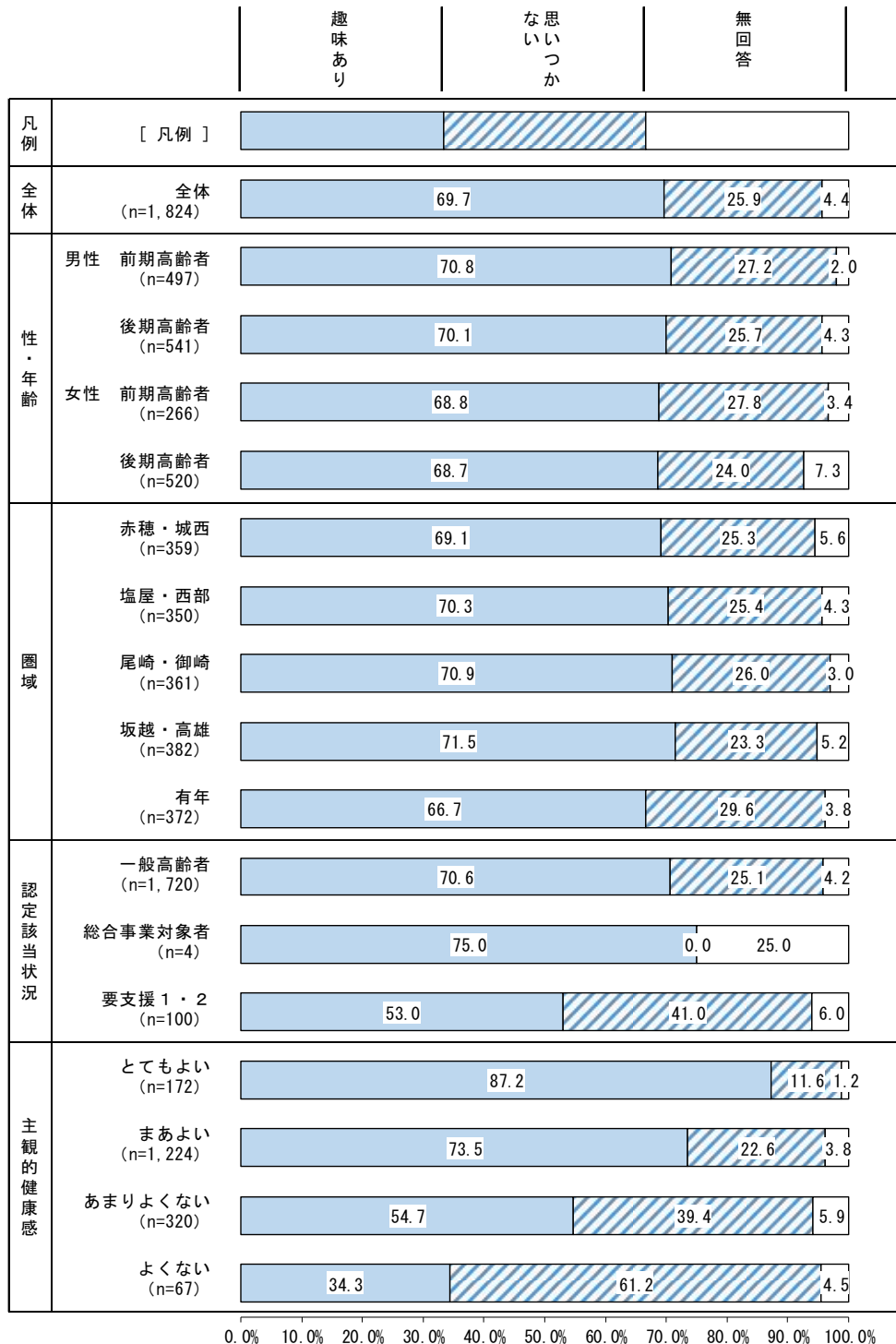
●問4-17 趣味はありますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 趣味の有無について、「趣味あり」が69.7%、「思いつかない」が25.9%となっています。

【圏域】
 ○ 有年圏域では、「思いつかない」が29.6%と他の圏域に比べて多くなっています。

【主観的健康感】
 ○ 健康感がよいほど「趣味あり」が多くなる傾向がみられます。

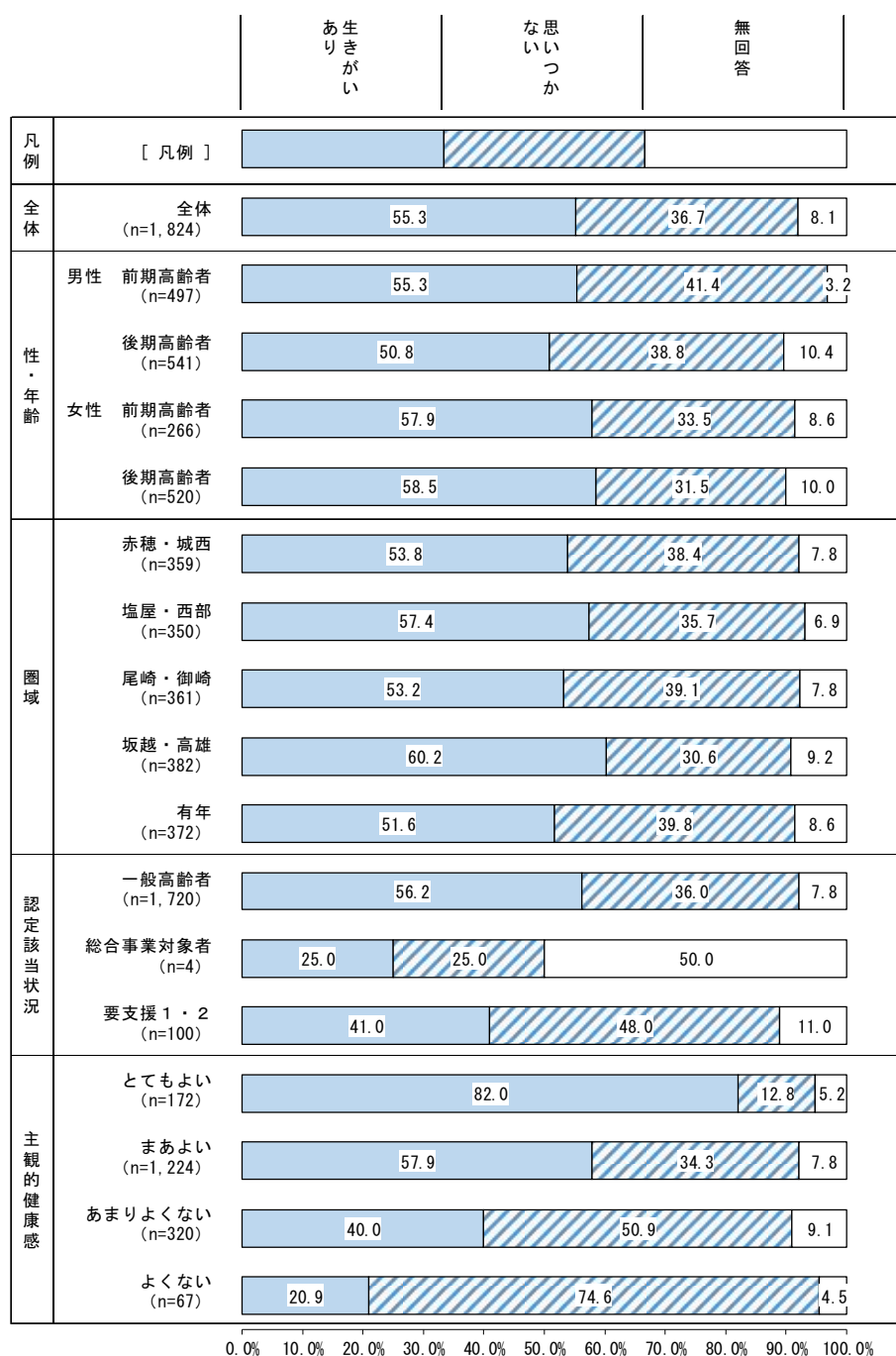
【趣味の有無】



●問4-18 生きがいがありますか。(1つだけ)

- 【全体】**
 ○ 生きがいの有無について、「生きがいあり」が 55.3%、「思いつかない」が 36.7%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 男性 後期高齢者では、「生きがいあり」が 50.8%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 【圏域】**
 ○ 塩屋・西部圏域、坂越・高雄圏域では他の圏域に比べて「生きがいあり」が多くなっています。
- 【主観的健康感】**
 ○ 健康感がよいほど「生きがいあり」が多くなる傾向がみられます。

【生きがいの有無】



5. 地域での活動について

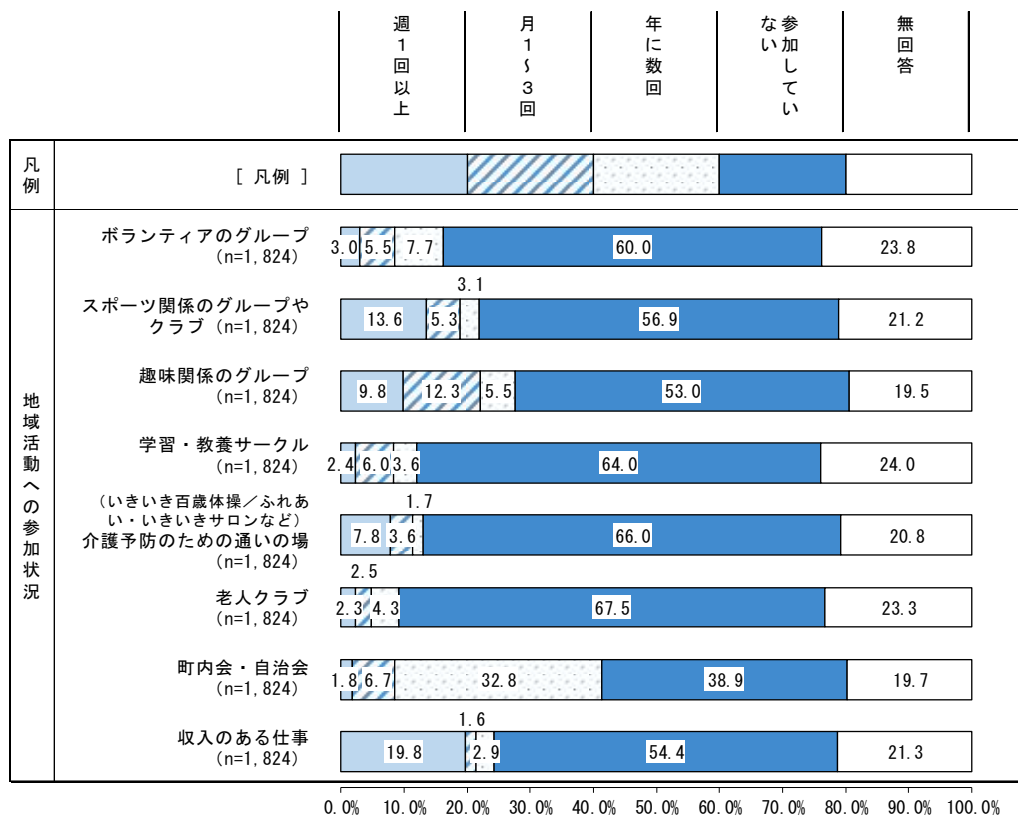
(1) 地域活動への参加状況

- 問5-1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(それぞれ1つだけ)

【全体】

- 地域活動への参加状況について、「週1回以上」は収入のある仕事に19.8%で最も多く、次いでスポーツ関係のグループやクラブが13.6%、趣味関係のグループが9.8%となっています。
- 町内会・自治会では、「参加していない」が38.9%と他の活動に比べて少なくなっています。

【地域活動への参加状況】

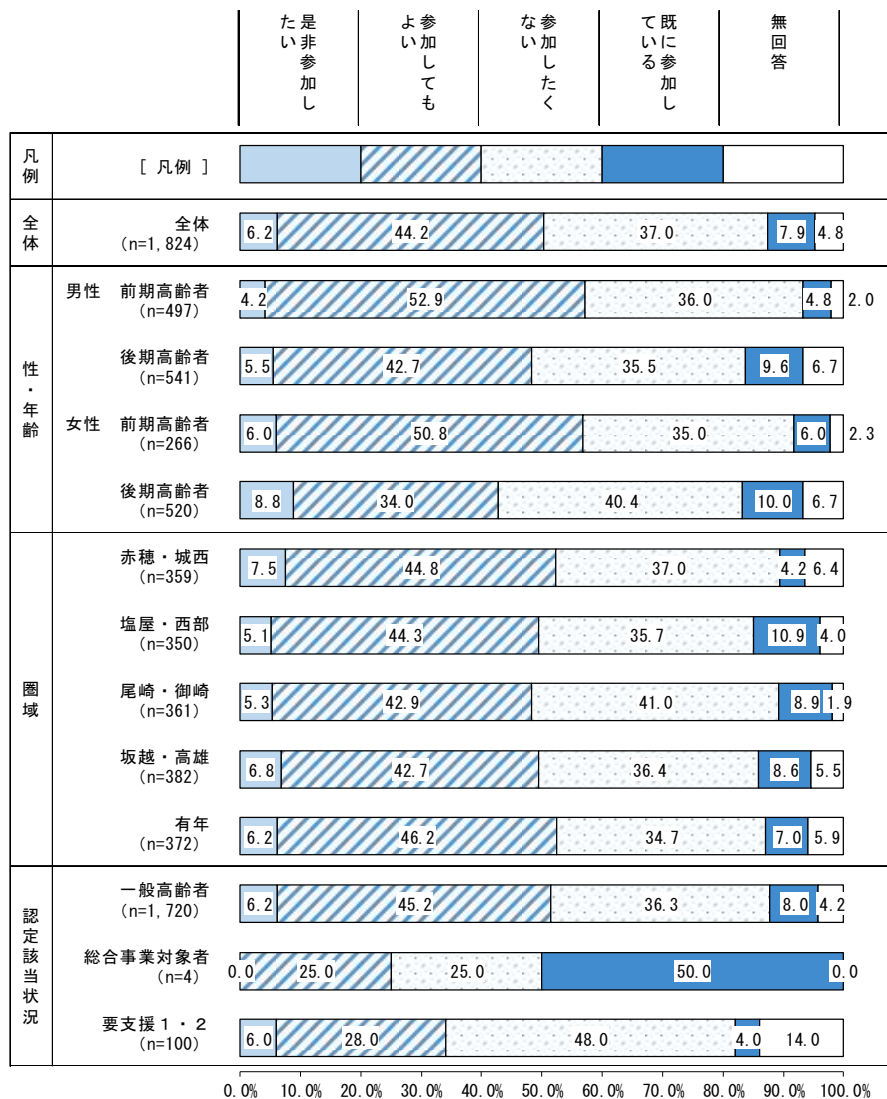


(2) 地域づくりへの参加意向

- 問5-2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ)

【全体】
○ 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が44.2%で最も多く、次いで「参加したくない」が37.0%、「既に参加している」が7.9%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向あり”は50.4%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて“参加意向あり”が多く、男性 前期高齢者で57.1%、女性 前期高齢者で56.8%となっています。
【圏域】
○ いずれの圏域でも、“参加意向あり”が約5割となっています。
【認定該当状況】
○ “参加意向あり”は、一般高齢者で51.4%、総合事業対象者で25.0%、要支援1・2で34.0%となっています。

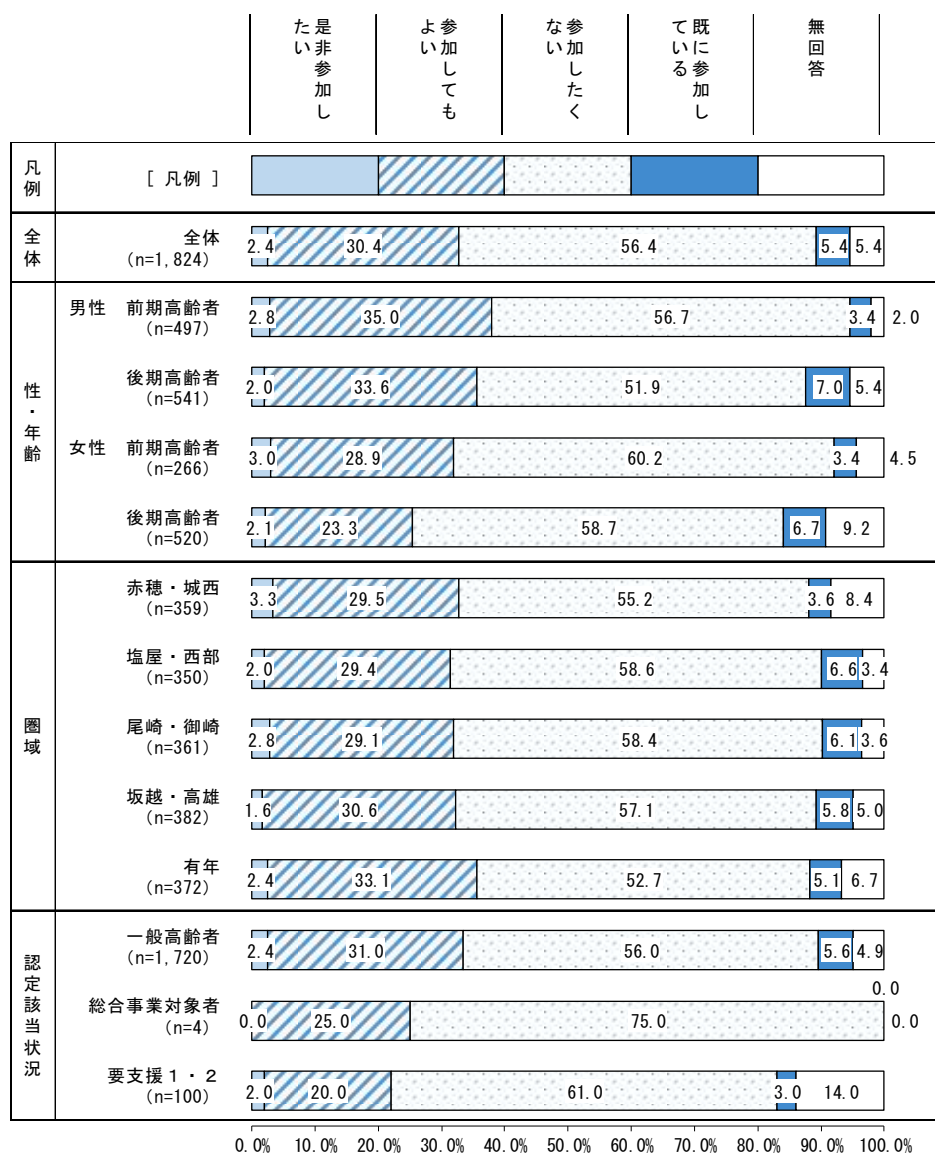
【地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】



- 問5-3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つだけ）

【全体】
○ 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が56.4%で最も多く、次いで「参加してもよい」が30.4%、「既に参加している」が5.4%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向あり”は32.8%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて“参加意向あり”が多く、男性 前期高齢者で37.8%、男性 後期高齢者で35.6%となっています。
【圏域】
○ いずれの圏域でも、“参加意向あり”は3割以上となっています。
【認定該当状況】
○ “参加意向あり”は、一般高齢者で33.4%、総合事業対象者で25.0%、要支援1・2で22.0%となっています。

【地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向】



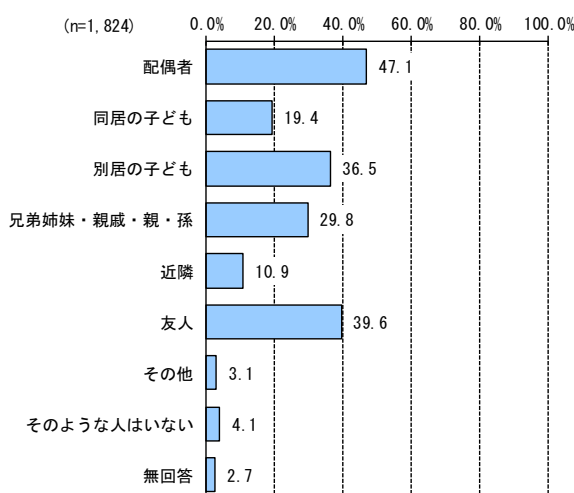
6. たすけあいについて

(1) 周囲との相互の関係

●問6-1 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。(いくつでも)

- 【全体】**
○ 心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が47.1%で最も多く、次いで「友人」が39.6%、「別居の子ども」が36.5%となっています。
- 【性・年齢】**
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者」が多く、他の項目が少なくなっています。一方で、女性では男性に比べて「配偶者」が少なく、身内以外にも「友人」が多くなっています。また、「そのような人はいない」は、男性 前期高齢者が4.8%、男性 後期高齢者が5.7%と女性に比べて多くなっています。
- 【家族構成】**
○ 1人暮らしでは、「そのような人はいない」が7.0%となっています。

【心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)】



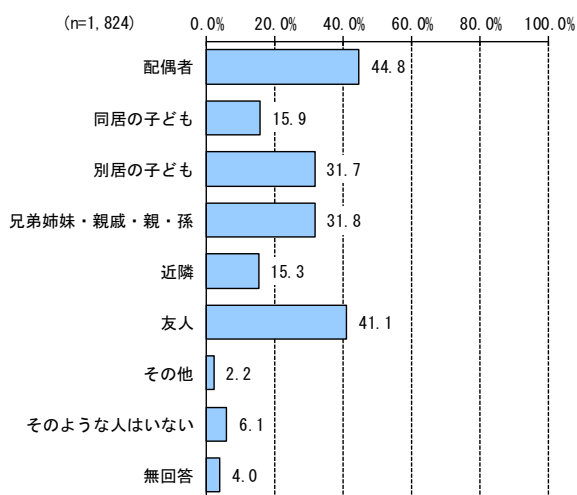
単位：%

	母数 (n)	心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	1,824	47.1	19.4	36.5	29.8	10.9	39.6	3.1	4.1	2.7	
性・年齢	男性 前期高齢者	497	74.0	14.7	24.1	22.1	6.0	34.2	1.8	4.8	1.2
	男性 後期高齢者	541	67.8	15.9	29.9	22.7	7.0	26.6	3.5	5.7	4.1
	女性 前期高齢者	266	21.4	22.2	52.3	46.2	18.8	63.5	3.0	1.9	1.1
	女性 後期高齢者	520	13.1	26.2	46.9	36.2	15.6	46.2	3.8	2.7	3.7
圏域	赤穂・城西	359	44.6	18.9	34.8	27.0	6.4	39.8	4.7	5.0	3.3
	塩屋・西部	350	49.4	18.0	39.4	32.0	14.9	39.1	2.3	3.4	2.0
	尾崎・御崎	361	49.0	18.8	37.4	28.3	8.6	43.2	2.5	5.8	1.9
	坂越・高雄	382	45.8	19.1	38.5	30.1	11.0	40.1	3.7	3.7	2.4
	有年	372	47.0	22.0	32.3	31.7	13.7	36.0	2.2	2.4	4.0
当認状況	1,720	48.4	19.5	35.7	30.1	10.5	40.0	3.1	4.0	2.5	
総合事業対象者	4	-	-	75.0	-	25.0	75.0	-	-	-	
要支援1・2	100	28.0	18.0	48.0	26.0	17.0	32.0	3.0	6.0	7.0	
家族構成	1人暮らし	460	1.3	0.9	51.1	43.0	17.8	52.4	2.6	7.0	2.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	616	83.0	3.2	39.4	23.5	8.9	34.9	3.1	2.8	1.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	80	88.8	7.5	23.8	17.5	3.8	22.5	2.5	2.5	2.5
	息子・娘との2世帯	319	41.4	54.2	25.7	26.3	7.8	39.5	3.1	2.8	3.4
	その他	292	40.1	47.3	25.3	32.2	9.6	36.0	3.4	3.4	3.1

●問6-2 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人。(いくつでも)

- 【全体】**
 ○ 心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が44.8%で最も多く、次いで「友人」が41.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が31.8%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では「配偶者」、女性では「友人」が最も多くなっています。また、男性では女性に比べて「近隣」が少なくなっています。
- 【家族構成】**
 ○ 1人暮らしでは、「そのような人はいない」が10.0%となっています。

【心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)】



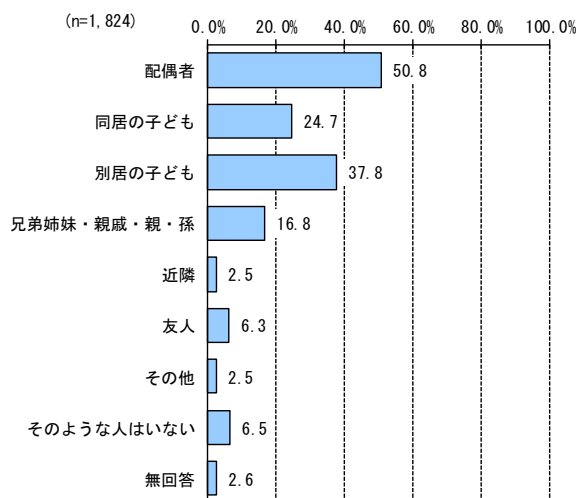
単位：%

	母数 (n)	心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	1,824	44.8	15.9	31.7	31.8	15.3	41.1	2.2	6.1	4.0	
性・年齢	男性 前期高齢者	497	73.4	15.5	26.8	26.4	10.3	35.6	2.2	5.2	1.6
	男性 後期高齢者	541	65.1	12.9	27.9	25.5	10.5	28.1	1.8	7.0	5.4
	女性 前期高齢者	266	18.4	17.7	44.4	48.1	23.7	61.7	1.1	3.4	1.9
	女性 後期高齢者	520	10.0	18.5	33.8	35.2	20.8	49.4	3.1	7.3	6.0
圏域	赤穂・城西	359	41.8	14.8	31.2	30.9	12.0	43.7	3.6	6.7	4.2
	塩屋・西部	350	47.1	12.6	33.4	33.7	18.3	40.9	2.0	6.6	2.6
	尾崎・御崎	361	47.1	17.5	31.6	34.1	10.8	43.2	1.9	5.5	3.9
	坂越・高雄	382	44.0	19.1	35.6	30.4	15.4	41.9	1.0	6.0	3.7
	有年	372	44.4	15.3	26.6	30.1	19.9	36.0	2.4	5.6	5.6
当認 状況	一般高齢者	1,720	46.3	16.3	31.3	32.3	15.1	41.2	2.2	5.8	3.5
	総合事業対象者	4	-	-	75.0	-	25.0	75.0	-	-	-
	要支援1・2	100	22.0	10.0	37.0	25.0	19.0	39.0	2.0	12.0	13.0
家族 構成	1人暮らし	460	0.7	0.7	40.0	41.3	23.5	55.4	2.2	10.0	3.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	616	77.4	2.9	37.5	27.8	11.9	35.6	1.9	4.4	3.4
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	80	87.5	3.8	23.8	22.5	7.5	26.3	1.3	3.8	3.8
	息子・娘との2世帯	319	38.9	42.3	21.0	30.7	12.9	39.5	1.9	5.0	6.0
	その他	292	39.7	40.4	21.9	31.8	14.0	38.4	3.1	6.5	2.7

●問6-3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(いくつでも)

- 【全体】**
 ○ 看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が50.8%で最も多く、次いで「別居の子ども」が37.8%、「同居の子ども」が24.7%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者」が多く、他の項目が少なくなっています。一方で、女性では男性に比べて「同居の子ども」「別居の子ども」が多くなっています。
- 【家族構成】**
 ○ 1人暮らしでは、「そのような人はいない」が18.7%となっています。

【看病や世話をしてくれる人(MA)】



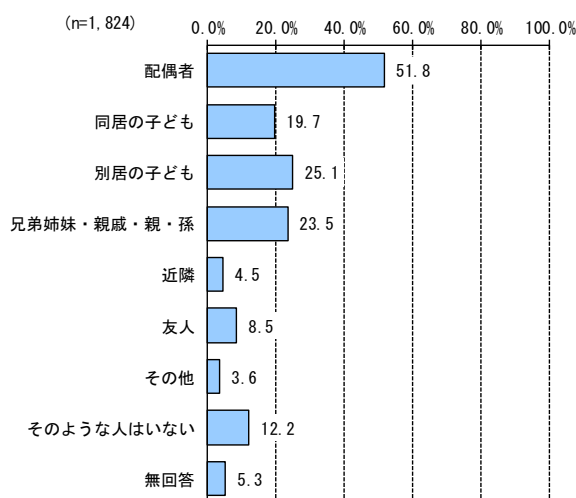
単位：%

		母数 (n)	看病や世話をしてくれる人(MA)								無回答
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	そのような人はいない	
全体		1,824	50.8	24.7	37.8	16.8	2.5	6.3	2.5	6.5	2.6
性・年齢	男性 前期高齢者	497	80.5	19.9	25.6	12.9	0.8	3.0	0.8	7.2	1.2
	男性 後期高齢者	541	74.9	19.4	34.2	14.6	0.9	2.2	1.8	3.7	3.7
	女性 前期高齢者	266	20.7	29.3	44.7	22.6	5.3	14.7	2.6	9.8	1.9
	女性 後期高齢者	520	12.7	32.5	49.8	19.8	4.2	9.4	4.6	7.1	3.1
圏域	赤穂・城西	359	47.9	24.2	35.9	14.2	1.1	7.2	1.7	8.4	3.1
	塩屋・西部	350	53.4	20.9	40.9	20.6	3.4	5.7	2.3	5.7	1.7
	尾崎・御崎	361	53.5	24.1	39.1	17.2	1.7	6.9	3.3	5.8	1.4
	坂越・高雄	382	49.0	26.2	41.1	16.8	3.7	6.0	3.1	6.0	2.6
	有年	372	50.3	28.0	32.3	15.3	2.4	5.6	1.9	6.7	4.0
当認状況	一般高齢者	1,720	52.0	24.7	37.3	16.8	2.3	6.2	2.3	6.5	2.3
	総合事業対象者	4	-	-	75.0	25.0	-	25.0	-	-	-
	要支援1・2	100	31.0	26.0	45.0	16.0	6.0	7.0	6.0	7.0	7.0
家族構成	1人暮らし	460	1.3	1.5	57.4	26.3	6.5	16.3	4.1	18.7	2.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	616	88.5	3.4	40.7	12.3	1.0	1.9	0.8	2.8	1.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	80	91.3	8.8	33.8	8.8	-	3.8	1.3	1.3	2.5
	息子・娘との2世帯	319	45.8	71.8	19.7	11.3	1.3	4.7	2.5	1.9	3.4
	その他	292	42.8	57.5	22.9	19.9	1.0	2.7	3.4	2.7	3.1

●問6-4 反対に、看病や世話をしあける人。(いくつでも)

- 【全体】**
 ○ 看病や世話をしあける人について、「配偶者」が51.8%で最も多く、次いで「別居の子ども」が25.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が23.5%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者」が多くなっています。
 ○ 女性 前期高齢者では他の区分に比べて「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」が多くなっています。
 ○ 女性 後期高齢者では他の区分に比べて「そのような人はいない」が多くなっています。
- 【家族構成】**
 ○ 1人暮らしでは、「そのような人はいない」が30.2%となっています。

【看病や世話をしあける人(MA)】



単位：%

		母数 (n)	看病や世話をしあける人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,824	51.8	19.7	25.1	23.5	4.5	8.5	3.6	12.2	5.3
性・年齢	男性 前期高齢者	497	78.5	19.1	22.5	23.1	2.2	4.4	1.4	8.7	2.6
	後期高齢者	541	71.9	15.3	17.6	16.8	1.8	5.2	1.8	9.6	5.2
	女性 前期高齢者	266	29.3	26.3	40.6	40.2	7.9	17.7	1.1	12.0	2.3
	後期高齢者	520	16.9	21.3	27.3	22.1	7.7	11.2	8.7	18.5	9.6
圏域	赤穂・城西	359	50.1	17.8	24.5	23.7	3.1	9.7	2.2	13.4	5.6
	塩屋・西部	350	52.9	17.7	27.7	26.3	4.9	7.7	3.4	10.6	5.4
	尾崎・御崎	361	52.6	19.7	26.3	23.5	3.6	8.0	3.3	11.6	5.3
	坂越・高雄	382	50.3	22.3	27.2	22.3	6.0	9.4	3.4	13.9	3.9
	有年	372	53.2	20.7	19.6	21.8	4.8	7.5	5.4	11.6	6.5
当認定状況	一般高齢者	1,720	53.1	20.3	25.6	24.1	4.1	8.7	3.1	11.8	4.8
	総合事業対象者	4	-	-	-	-	50.0	-	-	25.0	25.0
	要支援1・2	100	32.0	9.0	16.0	14.0	9.0	6.0	12.0	19.0	14.0
家族構成	1人暮らし	460	1.1	1.1	35.7	30.0	9.6	17.8	5.0	30.2	6.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	616	90.4	2.9	27.8	21.1	1.6	4.7	1.6	2.9	3.1
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	80	91.3	6.3	26.3	20.0	2.5	3.8	1.3	3.8	3.8
	息子・娘との2世帯	319	45.1	53.9	15.7	17.9	3.4	7.2	4.1	10.3	7.8
	その他	292	45.9	50.0	14.4	27.4	3.8	4.8	5.1	8.9	4.1

◆たすけあい合計点

●算出方法

4項目それぞれ下記に該当する場合を1点とし、4項目の合計を算出しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
6-1	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。	8. そのような人はいない 以外
6-2	反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人。	8. そのような人はいない 以外
6-3	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。	8. そのような人はいない 以外
6-4	反対に、看病や世話をしてあげる人。	8. そのような人はいない 以外

【全体】

- たすけあいの合計点について、「4点」が75.9%で最も多く、次いで「3点」が12.8%、「2点」が6.4%となっています。

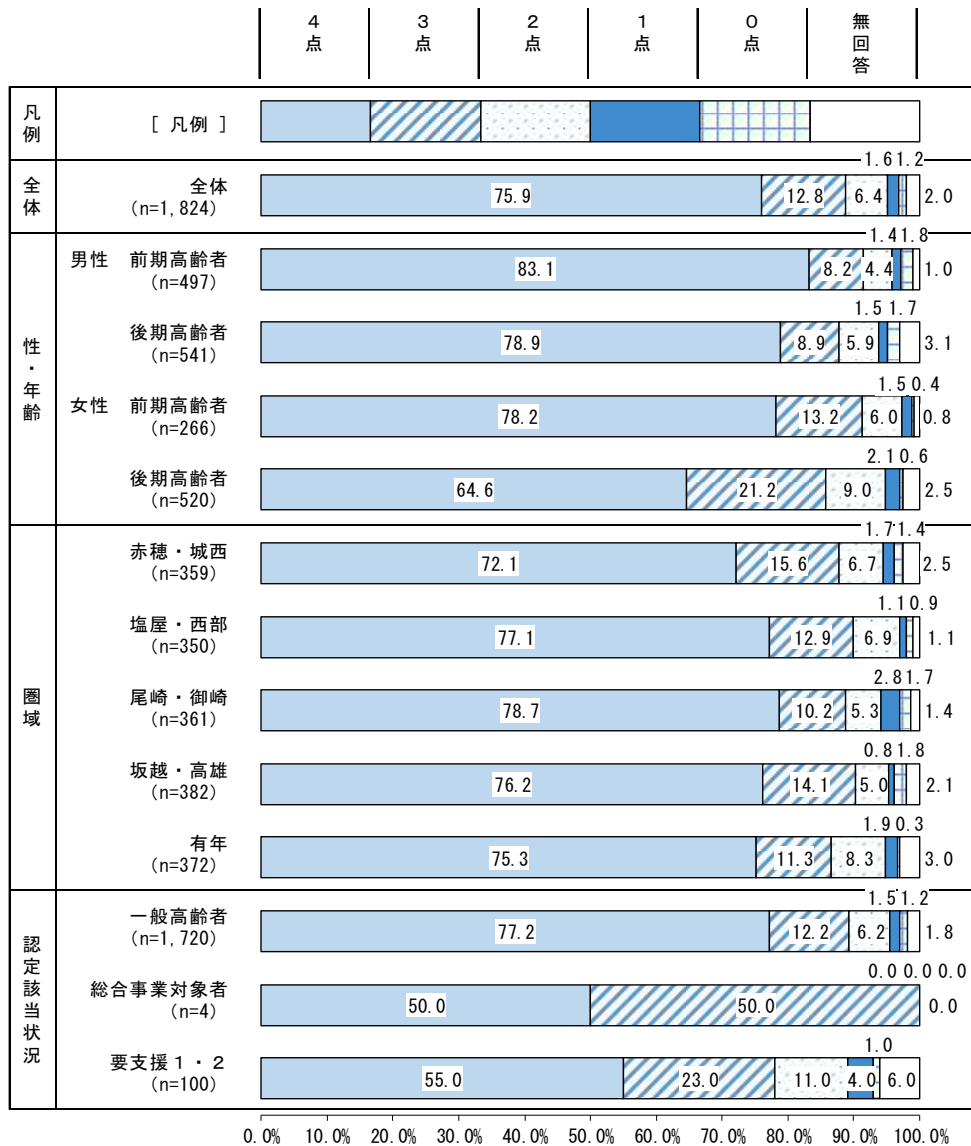
【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「4点」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「4点」が多くなっています。

【圏域】

- 赤穂・城西圏域では、「4点」が72.1%と他の圏域に比べて少なくなっています。

【たすけあいの合計点】

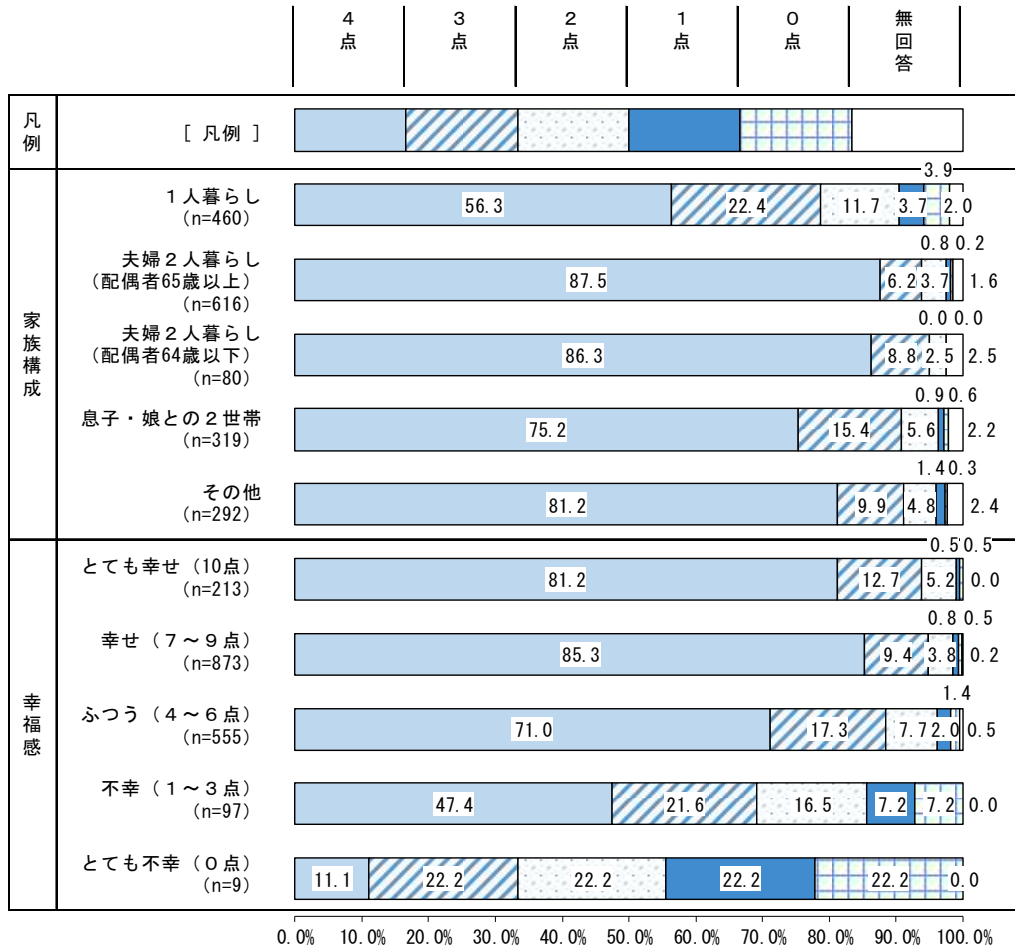


【家族構成】

○ 1人暮らしでは、「4点」が56.3%と他の区分に比べて少なくなっています。

【幸福感】

○ 幸福感が低いほど「4点」が少なくなる傾向がみられます。



(2) 家族や友人・知人以外の相談相手

- 問6-5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつかでも)

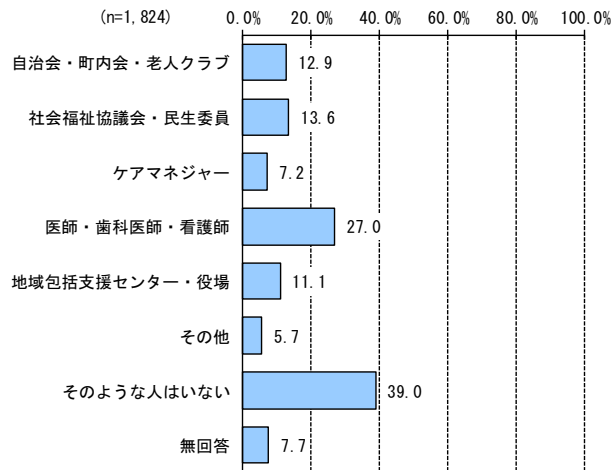
【全体】
 ○ 何かあったときの相談相手について、「そのような人はいない」が39.0%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が27.0%、「社会福祉協議会・民生委員」が13.6%となっています。

【性・年齢】
 ○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「そのような人はいない」が多くなっています。

【圏域】
 ○ 有年圏域では他の圏域に比べて「町内会・自治会・老人クラブ」が多くなっています。
 ○ 尾崎・御崎圏域では他の圏域に比べて「そのような人はいない」が多くなっています。

【家族構成】
 ○ 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では、「そのような人はいない」が他の区分に比べて多くなっています。

【何かあったときの相談相手(MA)】



単位：%

	母数 (n)	何かあったときの相談相手(MA)								
		自治会・老人クラブ・町内会	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役場	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	1,824	12.9	13.6	7.2	27.0	11.1	5.7	39.0	7.7	
性・年齢	男性 前期高齢者	497	14.1	7.6	3.6	25.2	9.7	6.2	49.1	3.4
	男性 後期高齢者	541	15.5	15.0	6.3	30.1	9.4	4.8	36.0	8.9
	女性 前期高齢者	266	9.8	9.8	7.5	25.9	13.9	6.8	46.6	4.9
	女性 後期高齢者	520	10.6	19.8	11.5	26.2	12.9	5.6	28.5	11.9
圏域	赤穂・城西	359	9.2	11.7	5.8	29.0	10.9	5.3	39.3	8.4
	塩屋・西部	350	12.3	16.0	6.9	30.3	12.6	6.0	36.0	7.4
	尾崎・御崎	361	7.5	13.0	8.6	27.4	10.8	4.7	45.4	6.1
	坂越・高雄	382	14.4	14.4	6.0	25.4	13.1	6.3	38.5	8.4
	有年	372	20.7	12.9	8.9	23.4	8.3	6.2	35.8	8.1
当認定状況	一般高齢者	1,720	13.2	13.0	5.2	26.9	10.9	5.8	40.8	7.2
	総合事業対象者	4	-	25.0	-	-	75.0	-	-	-
	要支援1・2	100	8.0	23.0	43.0	31.0	12.0	5.0	10.0	16.0
家族構成	1人暮らし	460	9.1	23.0	6.3	23.3	11.7	6.1	38.0	7.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	616	14.3	11.5	8.3	31.3	11.2	5.7	37.8	6.7
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	80	15.0	8.8	3.8	31.3	6.3	6.3	46.3	6.3
	息子・娘との2世帯	319	16.3	9.4	10.3	28.8	10.7	5.0	35.1	8.8
	その他	292	11.6	9.2	5.1	21.6	12.7	6.2	46.6	7.2

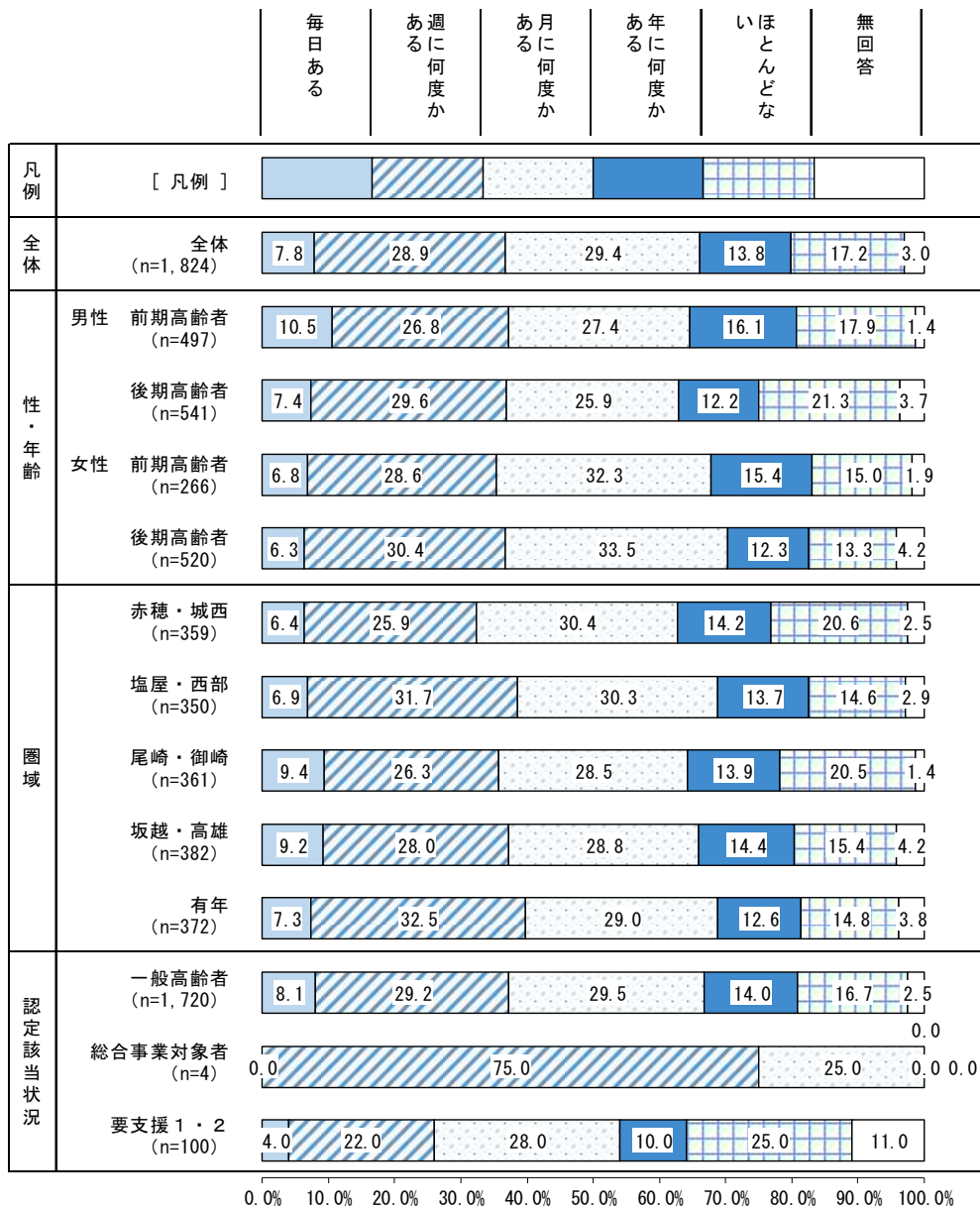
(3) 友人・知人との関係性

●問6-6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 友人・知人と会う頻度について、「月に何度かある」が29.4%で最も多く、次いで「週に何度かある」が28.9%、「ほとんどない」が17.2%となっています。

【性・年齢】
 ○ 男性 後期高齢者では、「ほとんどない」が21.3%と他の区分に比べて多くなっています。

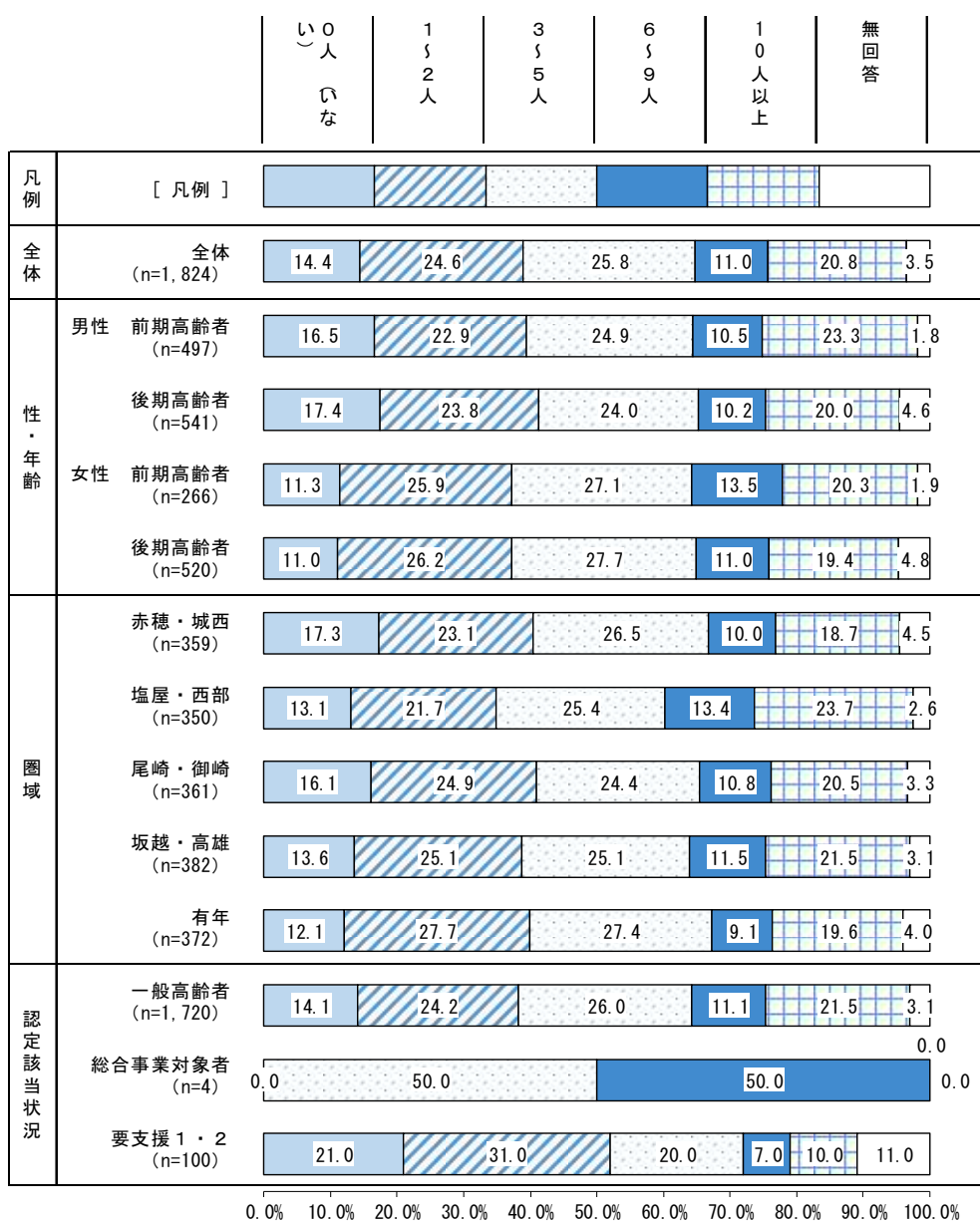
【友人・知人と会う頻度】



●問6-7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つだけ)

【全体】
 ○ この1か月間で会った友人・知人の数について、「3～5人」が25.8%で最も多く、次いで「1～2人」が24.6%、「10人以上」が20.8%となっています。
【性・年齢】
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「0人(いない)」が多くなっています。

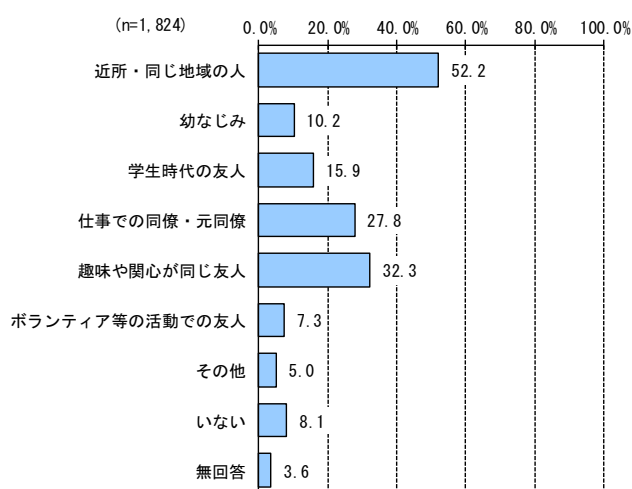
【この1か月間で会った友人・知人の数】



●問6-8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

- 【全体】**
 ○ よく会う友人・知人との関係について、「近所・同じ地域の人」が52.2%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が32.3%、「仕事での同僚・元同僚」が27.8%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「仕事での同僚・元同僚」が多くなっています。一方で、後期高齢者では「趣味や関心が同じ友人」が多くなっています。
 ○ 男性 前期高齢者では他の区分に比べて「近所・同じ地域の人」が少なくなっています。
- 【圏域】**
 ○ 坂越・高雄圏域、有年圏域では、「近所・同じ地域の人」がそれぞれ58.4%、62.6%と他の圏域に比べて多くなっています。

【よく会う友人・知人との関係(MA)】



単位：%

	母数 (n)	よく会う友人・知人との関係(MA)									
		の近 人 所 ・ 同 じ 地 域	幼 な じ み	学 生 時 代 の 友 人	元 仕 同 事 で の 同 僚 ・	じ 趣 味 や 関 心 が 同	の ボ ラ ン テ ィ ア 等 の 友 人 等	そ の 他	い な い	無 回 答	
全体	1,824	52.2	10.2	15.9	27.8	32.3	7.3	5.0	8.1	3.6	
性・ 年齢	男性 前期高齢者	497	42.3	13.3	18.9	40.2	31.6	9.1	4.4	9.1	1.6
	後期高齢者	541	51.8	7.9	14.0	20.9	34.4	6.1	3.9	9.4	4.6
	女性 前期高齢者	266	54.5	9.8	19.5	38.3	29.7	8.3	5.6	6.4	1.9
	後期高齢者	520	61.0	9.8	13.1	17.7	32.3	6.3	6.5	6.5	5.4
圏 域	赤穂・城西	359	43.2	10.9	19.5	30.4	35.7	5.8	5.6	7.8	4.5
	塩屋・西部	350	54.0	10.3	14.9	29.1	37.7	6.9	3.7	7.1	3.1
	尾崎・御崎	361	42.1	11.6	15.5	33.5	34.3	7.2	6.4	8.9	3.0
	坂越・高雄	382	58.4	7.1	15.4	25.1	29.6	7.1	4.5	8.4	3.4
	有年	372	62.6	11.3	14.2	21.2	25.0	9.4	5.1	8.1	4.0
当 認 状 定 該	一般高齢者	1,720	52.0	10.2	16.0	28.6	32.3	7.4	5.0	8.1	3.2
	総合事業対象者	4	50.0	-	-	25.0	75.0	-	-	-	-
	要支援1・2	100	55.0	10.0	14.0	14.0	31.0	5.0	6.0	8.0	11.0

7. 健康について

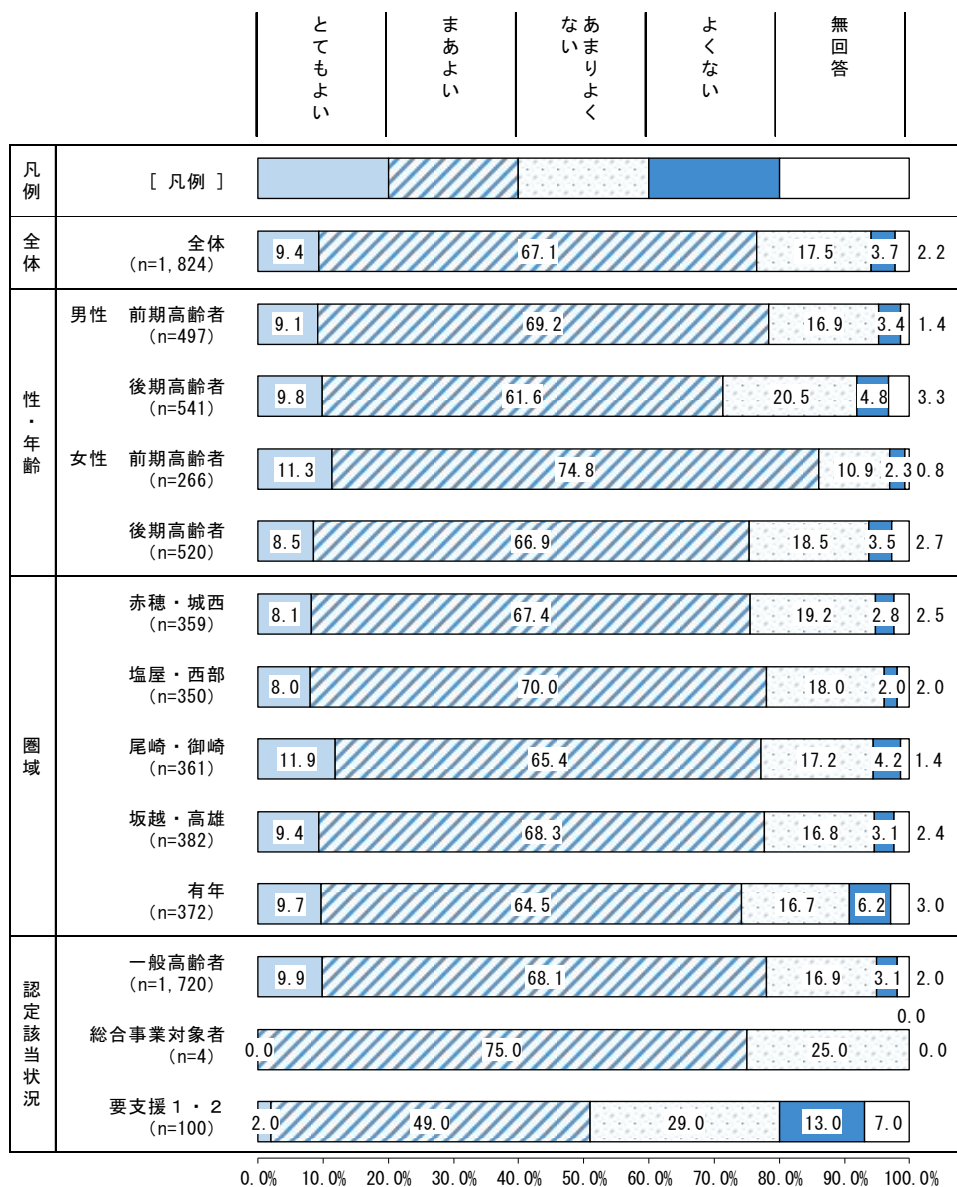
(1) 健康状態

① 主観的な健康感

●問7-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ)

【全体】
○ 主観的健康感について、「まあよい」が 67.1%で最も多く、次いで「あまりよくない」が 17.5%、「とてもよい」が 9.4%となっています。「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい”は 76.5%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて“よい”が多く、特に女性 前期高齢者では 86.1%となっています。
【認定該当状況】
○ “よい”は、一般高齢者では 78.0%、総合事業対象者では 75.0%であるのに対し、要支援 1・2 では 51.0%となっています。

【主観的健康感】

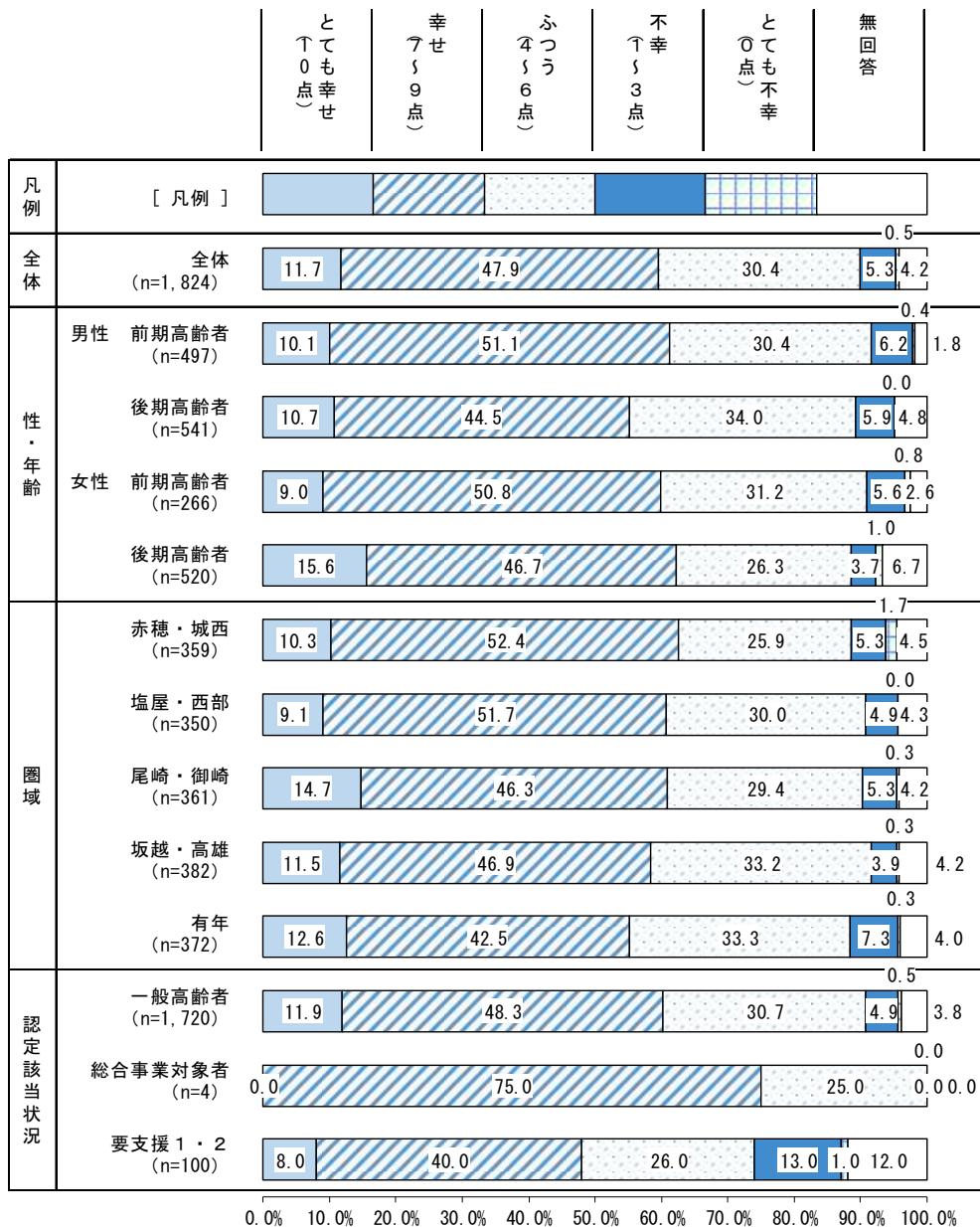


② こころの健康

●問7-2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ)

【全体】
○ 幸福感について、「幸せ（7～9点）」が47.9%で最も多く、次いで「ふつう（4～6点）」が30.4%、「とても幸せ（10点）」が11.7%となっています。「とても幸せ（10点）」「幸せ（7～9点）」を合わせた“幸せ”は59.6%となっています。「不幸（1～3点）」「とても不幸（0点）」を合わせた“不幸”は5.8%となっています。
【性・年齢】
○ 女性 後期高齢者では「とても幸せ（10点）」が15.6%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 男性 後期高齢者では“不幸”が39.9%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ “幸せ”は、一般高齢者では60.2%、総合事業対象者では75.0%であるのに対し、要支援1・2では48.0%となっています。

【幸福感】



【介護・介助の必要性】

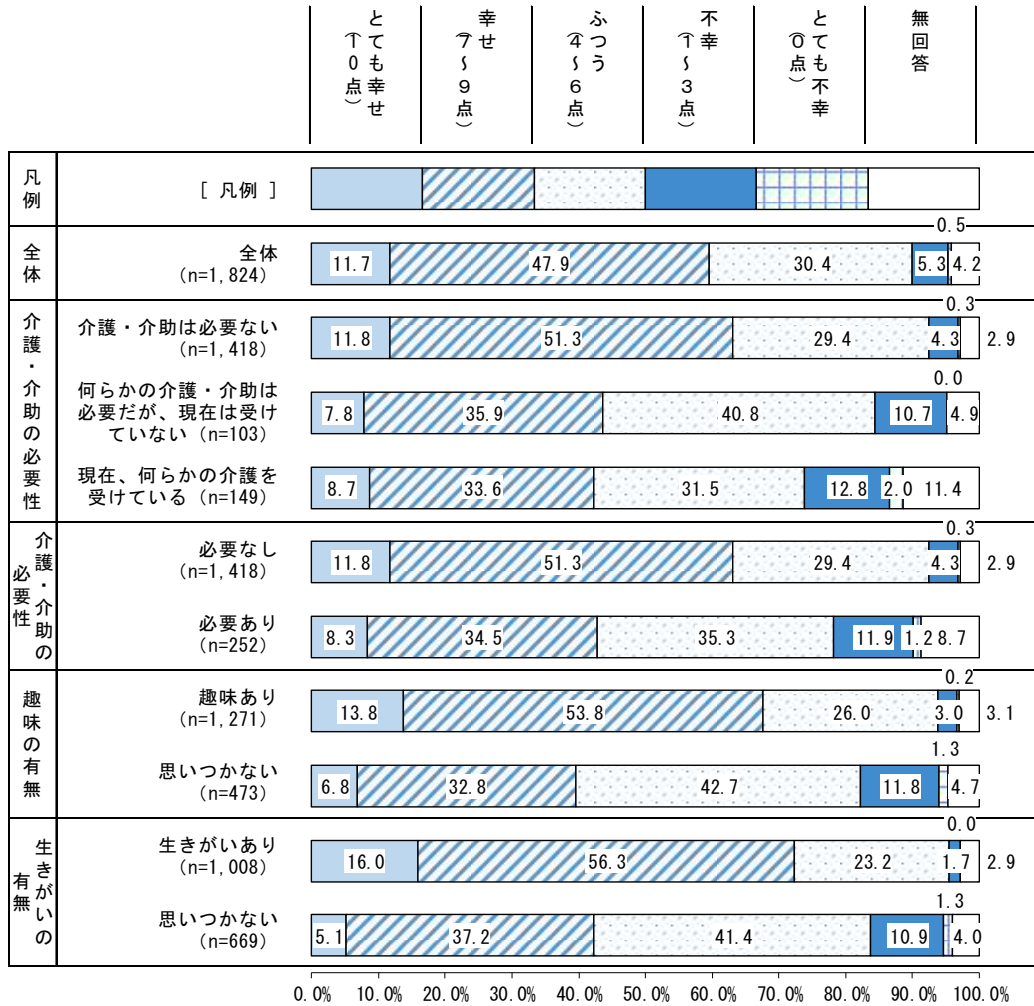
○ “幸せ”は、介護・介助は必要ない人では63.1%であるのに対し、何らかの介護・介助が必要な人では42.8%となっています。

【趣味の有無】

○ 趣味がある人では思いつかない人比べて“幸せ”が多くなっています。

【生きがいの有無】

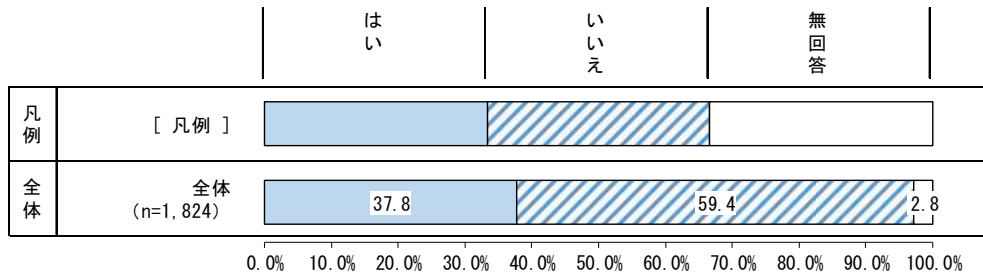
○ 生きがいがある人では思いつかない人比べて“幸せ”が多くなっています。



- 問7-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が37.8%、「いいえ」が59.4%となっています。

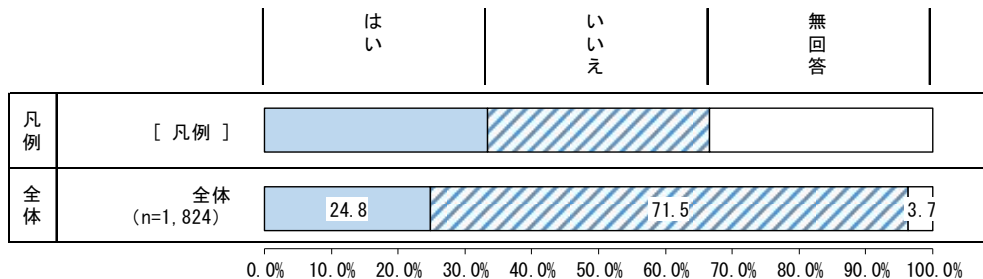
【気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか】



- 問7-4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ)

【全体】
 ○ どうしても物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が24.8%、「いいえ」が71.5%となっています。

【どうしても物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか】



◆うつ病のリスクの判定

●リスク判定方法

2項目のうち1項目に該当する場合、「うつ傾向にある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
7-3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
7-4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

【全体】

○ うつ病のリスクについて、「該当」が40.8%、「非該当」が59.2%となっています。

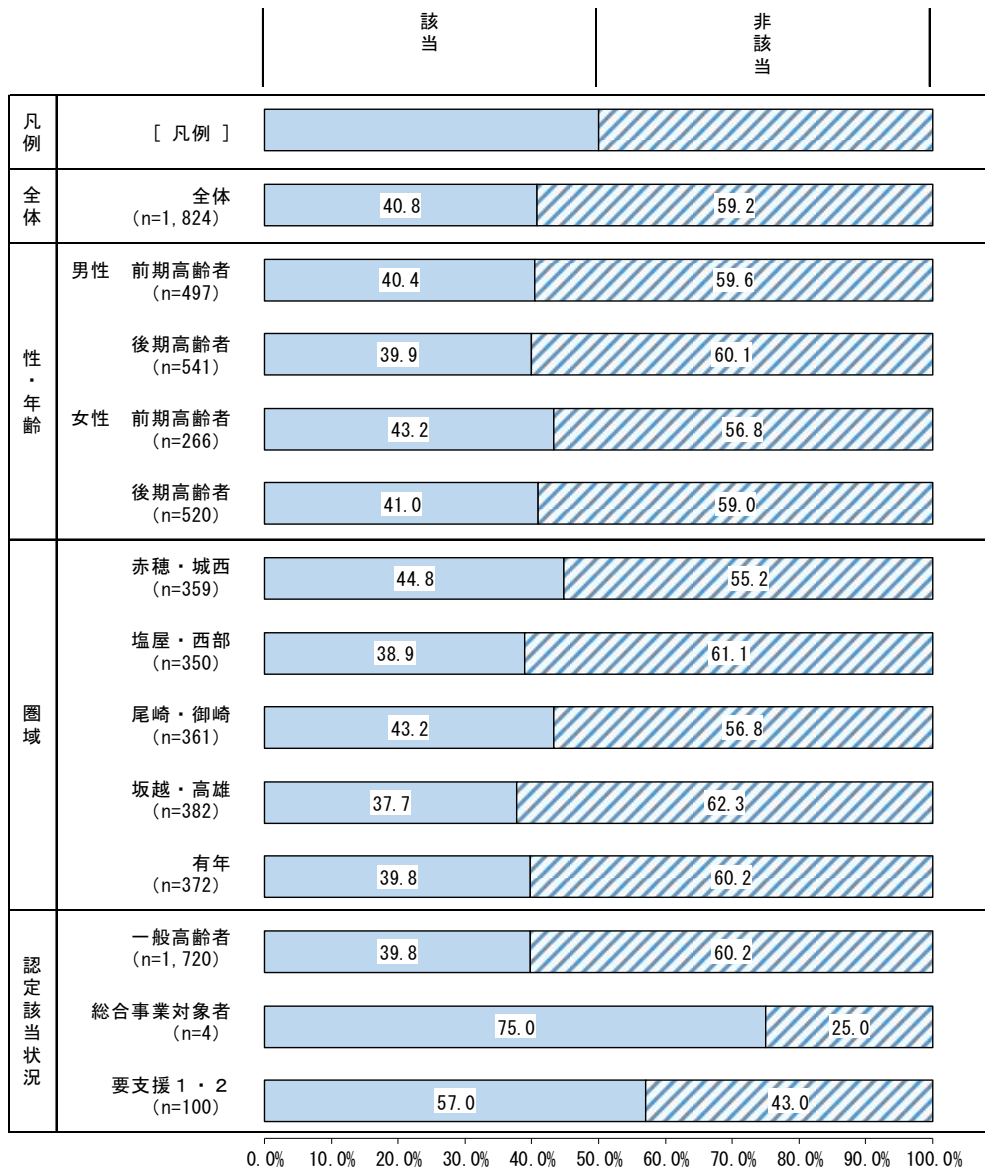
【圏域】

○ 赤穂・城西圏域、塩屋・西部圏域では他の圏域に比べて「該当」が多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「該当は、一般高齢者で39.8%であるのに対し、総合事業対象者で75.0%、要支援1・2で57.0%となっています。

【うつ病のリスク】



【介護・介助の必要性】

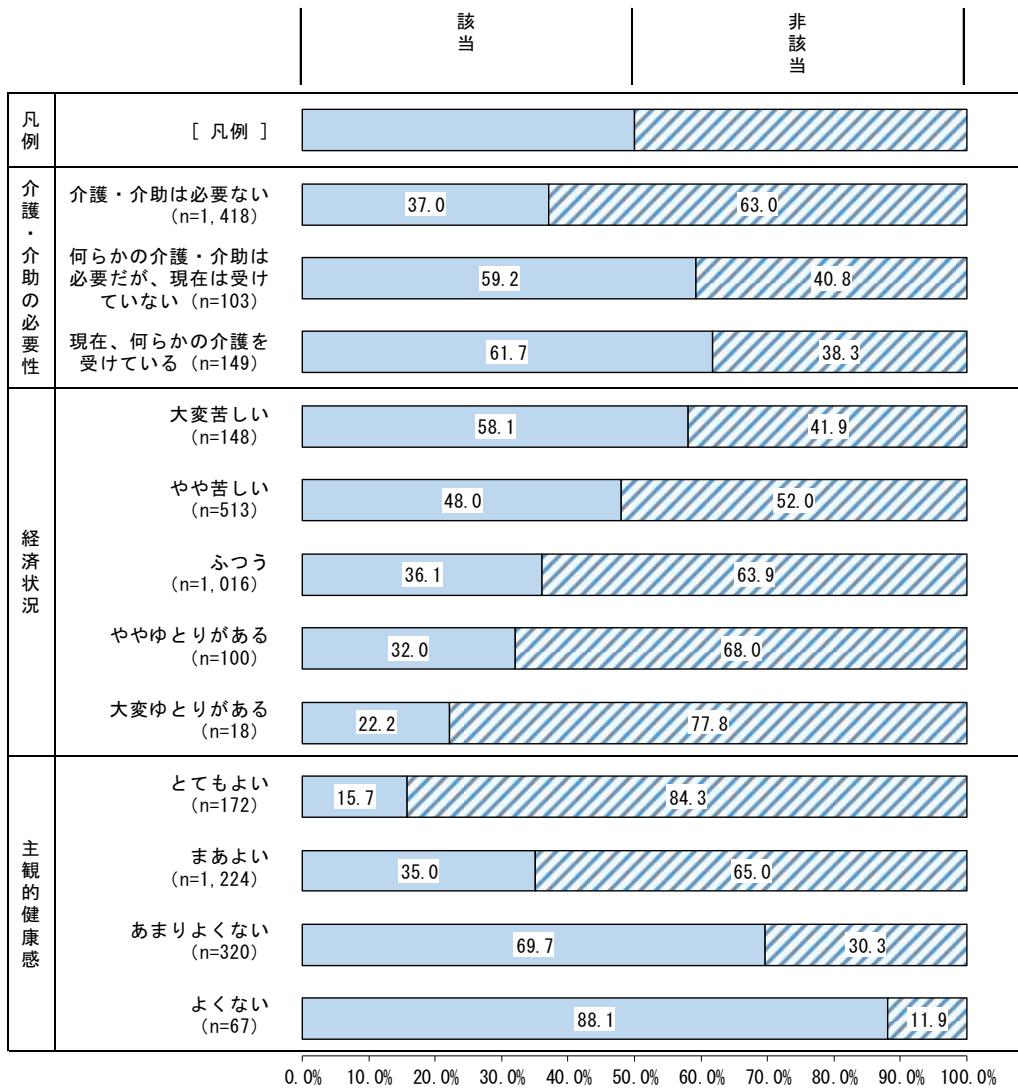
○ 「該当」は、介護・介助は必要ない人では 37.0%であるのに対し、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない人では 59.2%、現在、何らかの介護を受けている人では 61.7%となっています。

【経済状況】

○ 経済状況が苦しいほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【主観的健康感】

○ 健康感がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。



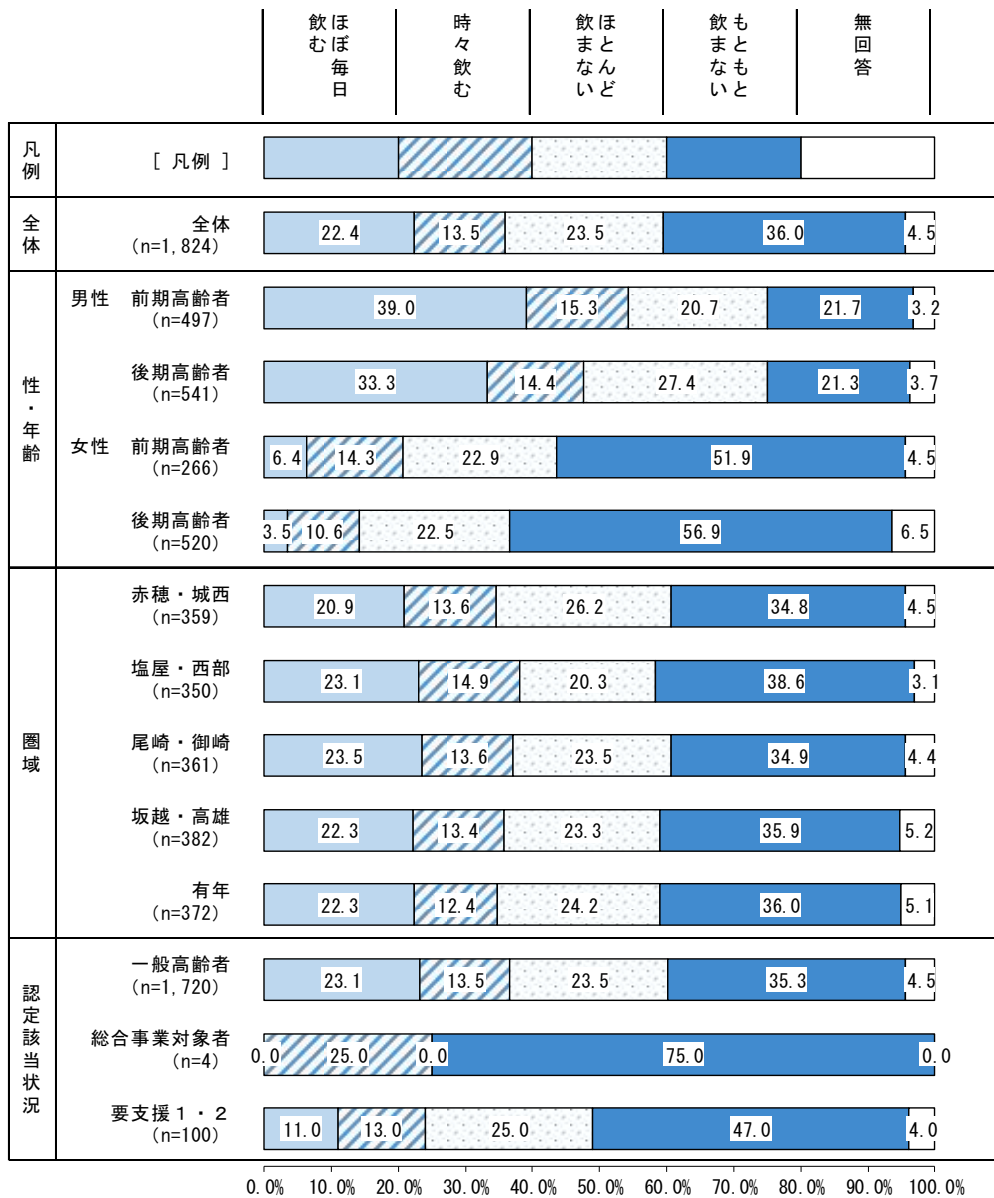
(2) 飲酒・喫煙

●問7-5 お酒は飲みますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 飲酒の状況について、「もともと飲まない」が36.0%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が23.5%、「ほぼ毎日飲む」が22.4%となっています。

【性・年齢】
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では「ほぼ毎日飲む」、女性では「もともと飲まない」が最も多くなっています。

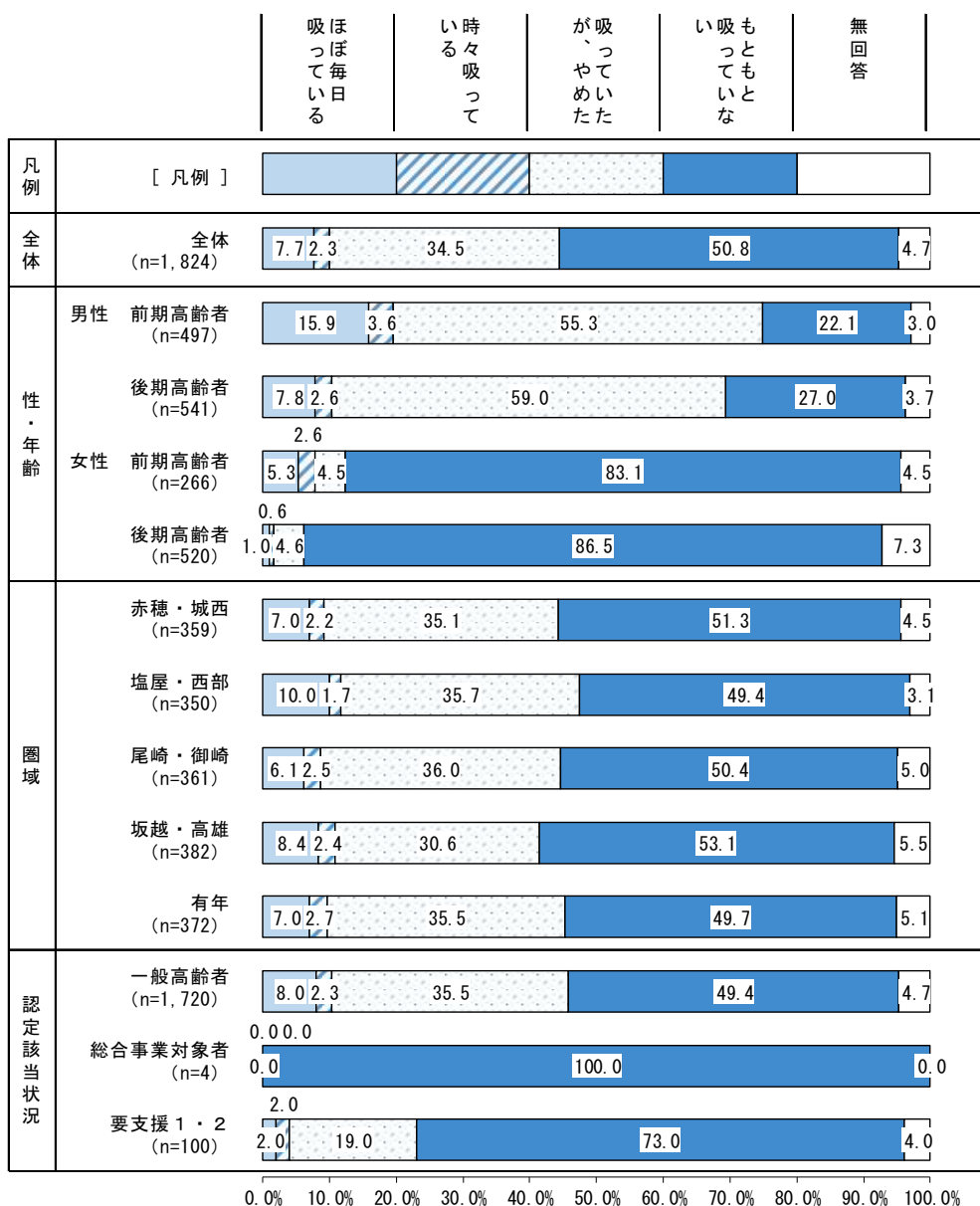
【飲酒の状況】



●問7-6 タバコは吸っていますか。(1つだけ)

- 【全体】**
 ○ 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が50.8%で最も多く、次いで「吸っていたが、やめた」が34.5%、「ほぼ毎日吸っている」が7.7%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「もともと吸っていない」が多くなっています。
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「ほぼ毎日吸っている」が少なくなっています。

【喫煙の状況】



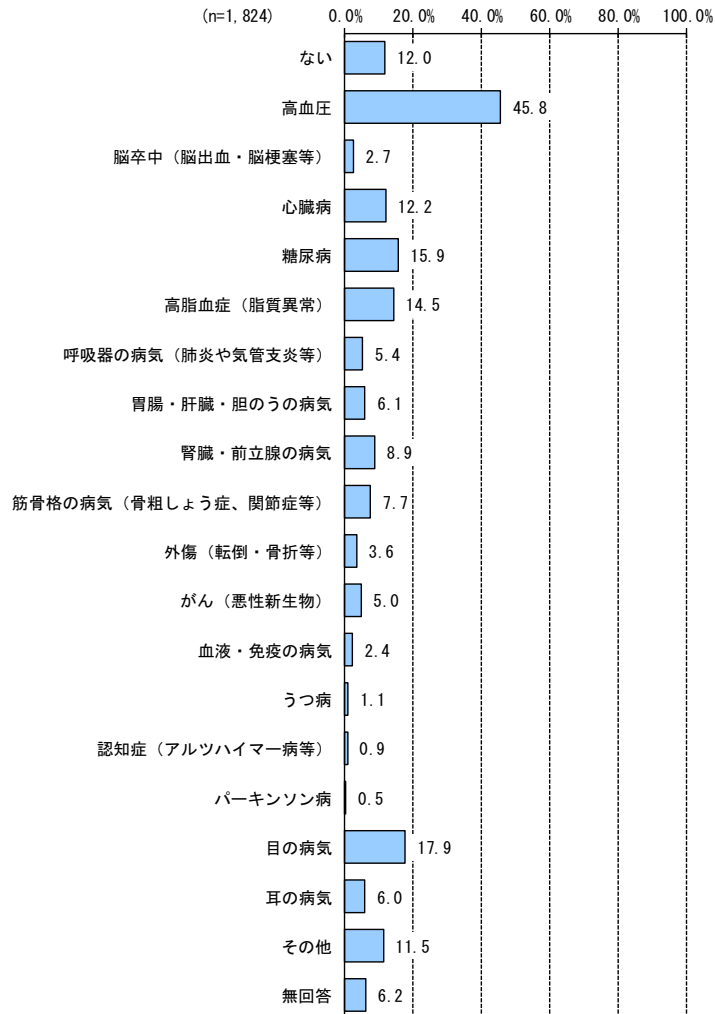
(3) 病気の状況

●問7-7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

【全体】

○ 現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が 45.8%で最も多く、次いで「目の病気」が 17.9%、「糖尿病」が 15.9%となっています。

【現在治療中、または後遺症のある病気(MA)】



【全体】

○ 現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が 45.8%で最も多く、次いで「目の病気」が 17.9%、「糖尿病」が 15.9%となっています。

【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに男性では、「高血圧」に次いで「糖尿病」が多くなっています。女性では、前期高齢者で「高脂血症（脂質異常）」、後期高齢者で「目の病気」が多くなっています。

○ 男性では女性に比べて「心臓病」が後期高齢者で多くなっています。一方で、女性では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が後期高齢者で多くなっています。

【認定該当状況】

○ 「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」は、一般高齢者で 6.7%であるのに対し、総合事業対象者、要支援 1・2 では 25.0%となっています。

単位：％

	母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)										
		ない	高血圧	脳・脳卒中 脳梗塞等	心臓病	糖尿病	異常高脂血症 脂質	肺炎等 呼吸器の病気 気管支	胃腸の病気 肝臓・胆	腎臓・前立腺の 病気	筋骨格の病気 （骨粗しょう症、 関節症等）	
全体	1,824	12.0	45.8	2.7	12.2	15.9	14.5	5.4	6.1	8.9	7.7	
性・年齢	男性 前期高齢者	497	16.3	41.2	2.8	9.5	17.9	14.1	3.2	6.2	11.7	2.6
	後期高齢者	541	10.0	48.1	3.7	19.4	19.6	8.1	9.1	6.3	17.6	3.7
	女性 前期高齢者	266	19.2	36.5	1.1	6.8	11.3	22.9	3.4	4.5	1.1	7.9
	後期高齢者	520	6.2	52.5	2.5	10.2	12.5	17.1	4.6	6.5	1.3	16.7
圏域	赤穂・城西	359	12.8	44.0	1.1	12.8	15.6	14.2	4.7	7.8	9.5	9.5
	塩屋・西部	350	10.3	46.9	0.6	15.1	14.3	18.0	4.6	6.6	9.4	8.0
	尾崎・御崎	361	11.4	47.1	4.4	11.6	15.2	13.0	7.2	7.5	9.1	6.6
	坂越・高雄	382	12.0	44.8	3.7	12.0	15.4	13.6	5.8	3.4	9.4	7.3
	有年	372	13.2	46.2	3.8	9.7	18.8	13.7	4.6	5.4	7.3	7.3
当認 状況 該	一般高齢者	1,720	12.6	45.1	2.6	12.0	15.9	14.8	5.1	5.9	9.0	6.7
	総合事業対象者	4	-	50.0	-	-	50.0	25.0	-	-	-	25.0
	要支援 1・2	100	1.0	58.0	6.0	16.0	15.0	8.0	11.0	9.0	9.0	25.0

単位：％

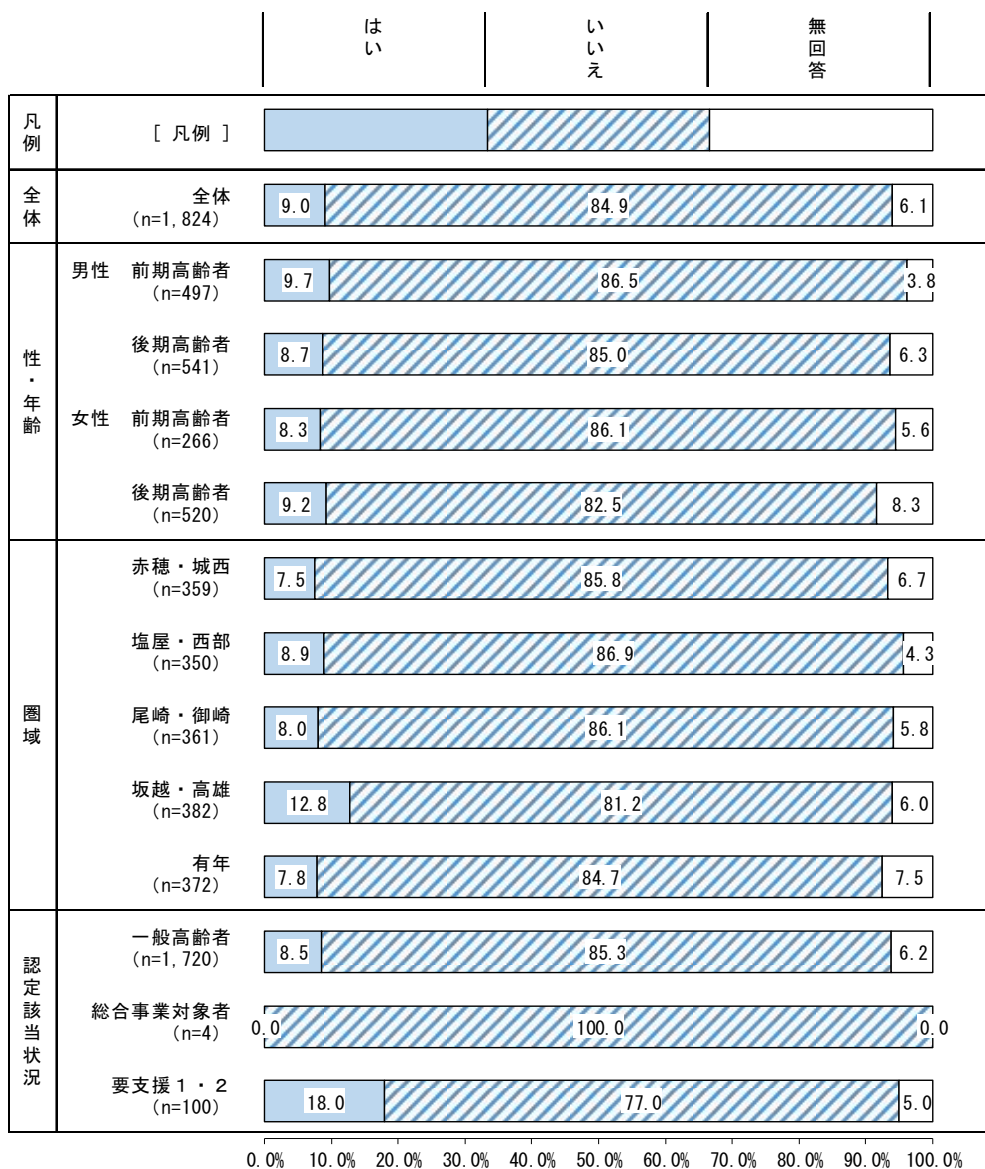
	母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)										
		折外傷 等	がん 悪性 新生	気血 液・ 免疫 の病	うつ 病	ハ 認 イ マ ー 病 等 アル ツ	パ ー キ ン ソ ン 病	目 の 病 気	耳 の 病 気	そ の 他	無 回 答	
全体	1,824	3.6	5.0	2.4	1.1	0.9	0.5	17.9	6.0	11.5	6.2	
性・年齢	男性 前期高齢者	497	2.0	7.4	1.2	1.0	0.4	0.2	12.7	3.6	10.7	5.2
	後期高齢者	541	2.8	6.8	4.4	0.6	0.9	0.6	18.1	7.4	9.8	4.8
	女性 前期高齢者	266	2.3	2.6	1.5	3.0	0.4	0.8	15.8	3.4	15.4	7.5
	後期高齢者	520	6.5	2.1	1.9	0.8	1.5	0.8	23.8	8.1	11.9	7.9
圏域	赤穂・城西	359	2.8	6.1	4.2	1.7	0.6	-	17.0	6.7	12.3	6.7
	塩屋・西部	350	3.4	4.3	2.0	1.4	0.6	17.7	4.9	8.3	4.9	
	尾崎・御崎	361	3.3	6.4	3.0	0.8	0.3	0.6	19.7	6.4	13.3	6.9
	坂越・高雄	382	3.9	4.2	1.8	0.8	1.3	1.6	17.8	5.8	12.6	6.5
	有年	372	4.3	4.3	1.1	0.8	0.8	-	17.5	6.2	10.8	5.9
当認 状況 該	一般高齢者	1,720	3.2	5.1	2.3	1.1	0.9	0.5	17.6	5.8	11.1	6.3
	総合事業対象者	4	-	-	-	-	-	25.0	25.0	-	25.0	-
	要支援 1・2	100	10.0	5.0	5.0	1.0	1.0	1.0	23.0	9.0	17.0	4.0

8. 認知症にかかる相談窓口の把握について

●問8-1 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ)

【全体】
○ 自身や家族の認知症の症状有無について、「はい」が9.0%、「いいえ」が84.9%となっています。
【圏域】
○ 坂越・高雄圏域では、「はい」が12.8%と他の圏域に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 要支援1・2では、「はい」が18.0%となっています。

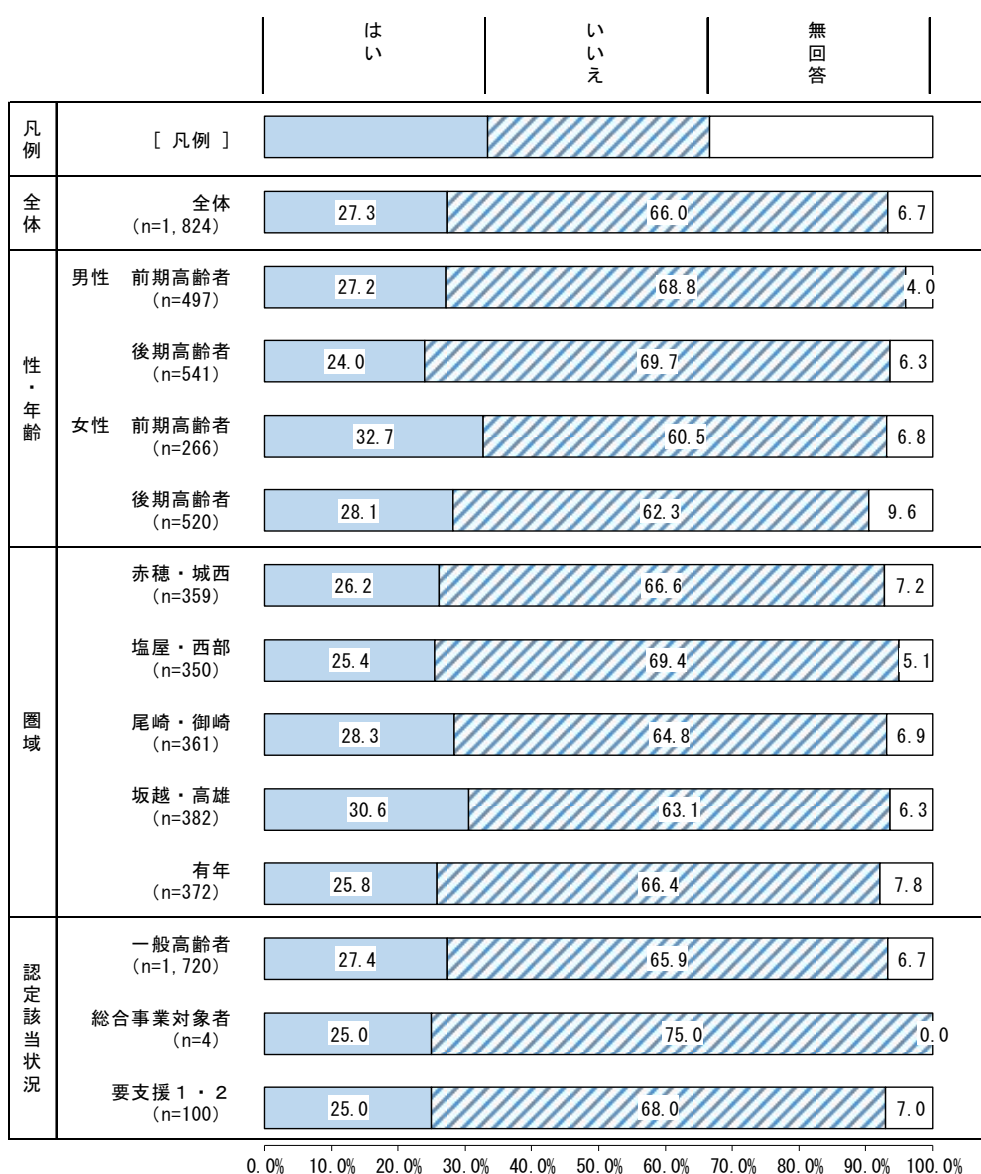
【自身や家族の認知症の症状有無】



●問8-2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ)

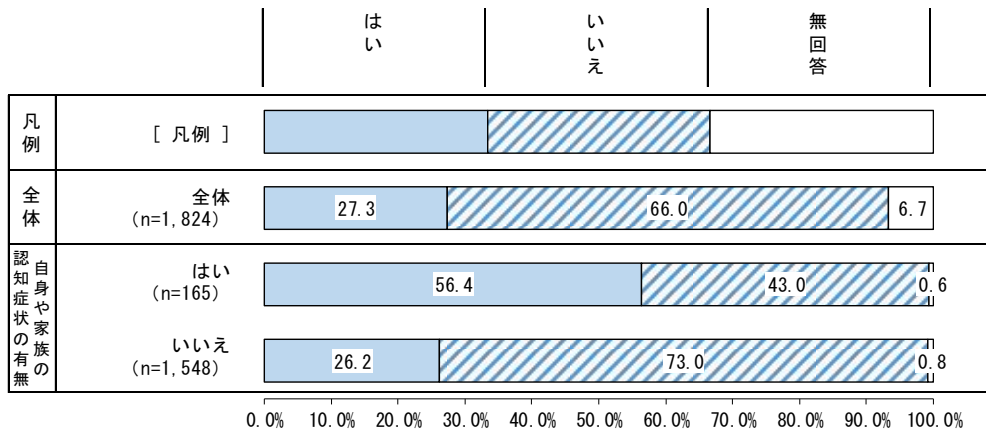
- 【全体】**
 ○ 認知症に関する相談窓口の周知状況について、「はい」が27.3%、「いいえ」が66.0%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。
- 【圏域】**
 ○ 尾崎・御崎圏域、坂越・高雄圏域では他の圏域に比べて「はい」が多くなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 要支援1・2では、「はい」が25.0%となっています。

【認知症に関する相談窓口の周知状況】



【自身や家族の認知症状の有無】

○ 自身や家族に認知症状がある人では、「はい」が 56.4%、「いいえ」が 43.0%となっています。



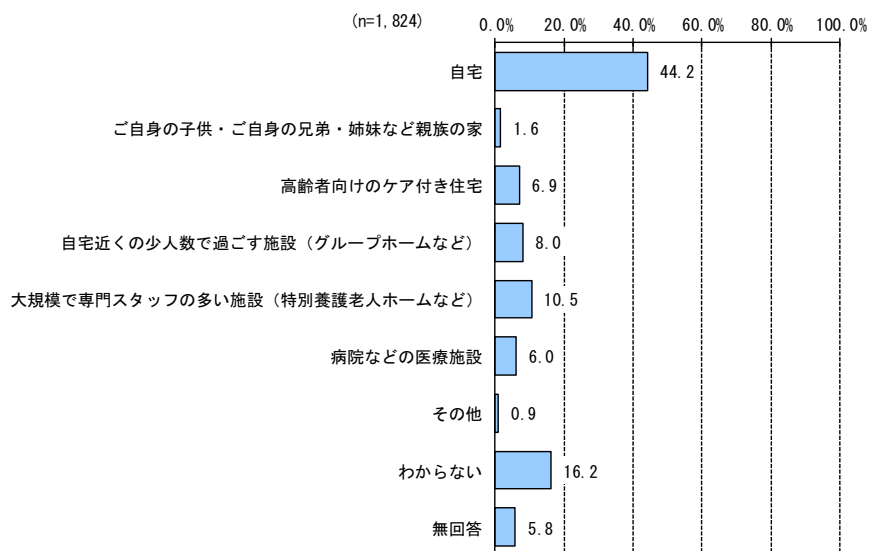
9. 相談先や希望する暮らしについて

(1) 介護を受けたい場所

●問9-1 介護を受ける場合、どのような場所で介護を受けたいと思いますか。(1つだけ)

- 【全体】**
 ○ 介護を受ける場所の希望について、「自宅」が44.2%で最も多く、次いで「わからない」が16.2%、「大規模で専門スタッフの多い施設（特別養護老人ホームなど）」が10.5%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「自宅」が多くなっています。
- 【圏域】**
 ○ 赤穂・城西圏域、塩屋・西部圏域では他の圏域に比べて「わからない」が多くなっています。
- 【家族構成】**
 ○ 1人暮らしでは他の区分に比べて「自宅」が少なく「わからない」が多くなっています。

【介護を受ける場所の希望】



単位：%

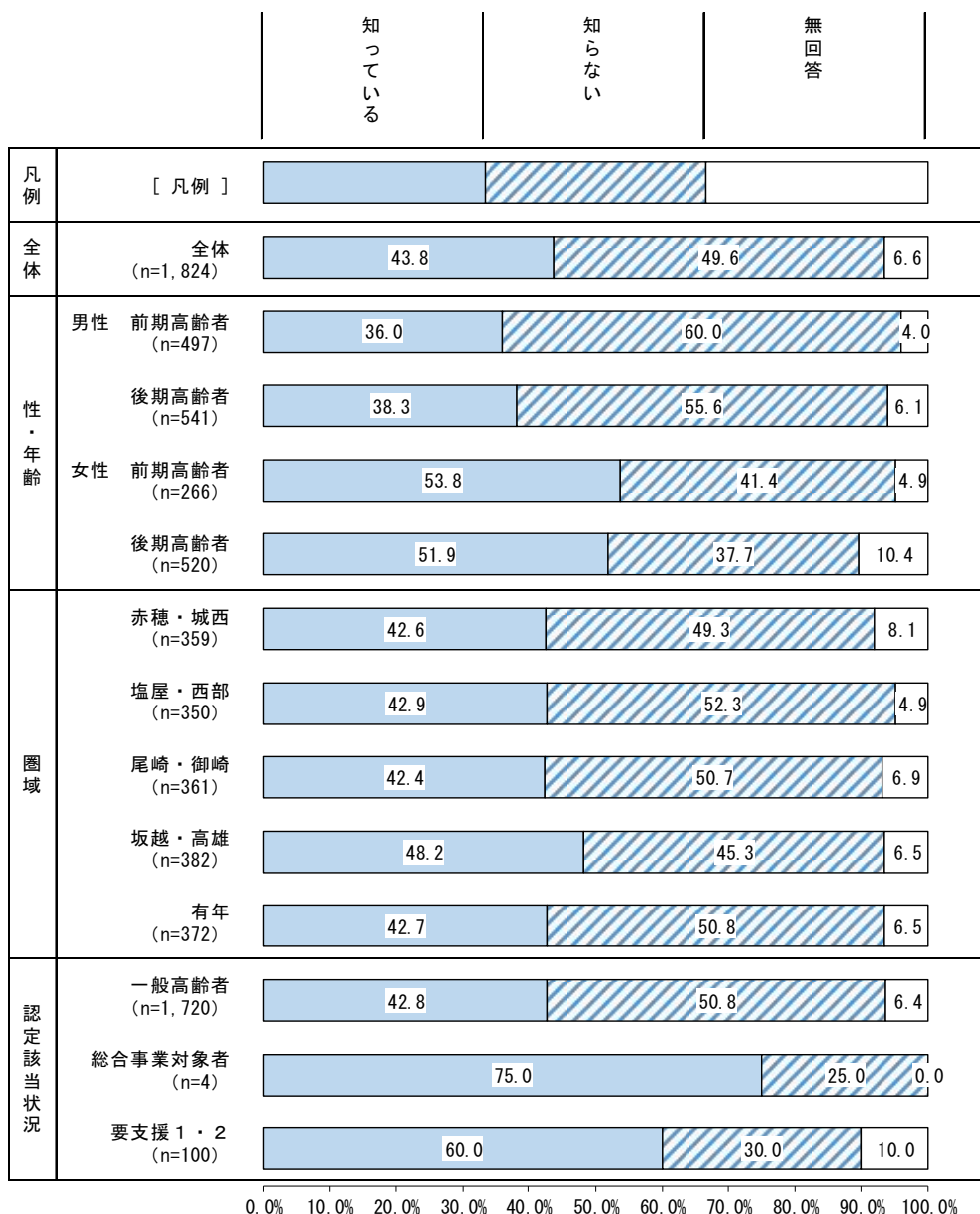
	母数 (n)	介護を受ける場所の希望									
		自宅	姉妹ご自身の親族の家	高齢者向けのケア付き住宅	大規模で専門スタッフの多い施設（特別養護老人ホームなど）	病院などの医療施設	その他	わからない	無回答		
全体	1,824	44.2	1.6	6.9	8.0	10.5	6.0	0.9	16.2	5.8	
性・年齢	男性 前期高齢者	497	44.3	0.8	6.8	7.8	14.9	4.4	-	17.1	3.8
	男性 後期高齢者	541	51.6	0.4	6.7	6.5	9.8	6.8	0.7	13.3	4.3
	女性 前期高齢者	266	38.3	2.6	9.4	10.9	7.5	3.8	0.8	20.7	6.0
	女性 後期高齢者	520	39.6	3.1	6.0	8.3	8.5	7.7	1.9	16.0	9.0
圏域	赤穂・城西	359	42.3	1.4	8.1	7.2	8.4	5.6	0.8	19.5	6.7
	塩屋・西部	350	39.7	2.0	6.9	6.6	12.0	7.1	1.1	20.3	4.3
	尾崎・御崎	361	44.9	1.9	8.0	8.6	10.2	5.3	0.8	14.1	6.1
	坂越・高雄	382	45.8	1.6	6.5	8.1	9.4	7.1	0.8	14.7	6.0
	有年	372	48.1	1.1	5.1	9.4	12.4	4.8	0.8	12.6	5.6
当認状況	一般高齢者	1,720	44.4	1.6	7.0	8.3	10.5	5.8	0.9	15.8	5.7
	総合事業対象者	4	25.0	-	-	-	-	-	-	75.0	-
	要支援1・2	100	43.0	2.0	6.0	3.0	10.0	9.0	-	20.0	7.0
家族構成	1人暮らし	460	36.1	2.4	9.1	8.5	10.2	5.0	1.5	20.2	7.0
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	616	49.4	0.3	6.3	6.2	11.9	6.3	0.8	15.1	3.7
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	80	50.0	-	5.0	8.8	12.5	7.5	-	12.5	3.8
	息子・娘との2世帯	319	44.5	2.8	6.0	10.7	7.5	7.8	0.9	13.8	6.0
	その他	292	43.8	2.4	7.2	8.6	10.3	4.8	0.3	18.2	4.5

(2) 地域包括支援センター

●問9-2 地域包括支援センターの認知状況（1つだけ）

【全体】
○ 地域包括支援センターの認知状況について、「知っている」が43.8%、「知らない」が49.6%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「知っている」が多くなっています。
【圏域】
○ 坂越・高雄圏域では、「知っている」が48.2%と他の圏域に比べて多くなっています。

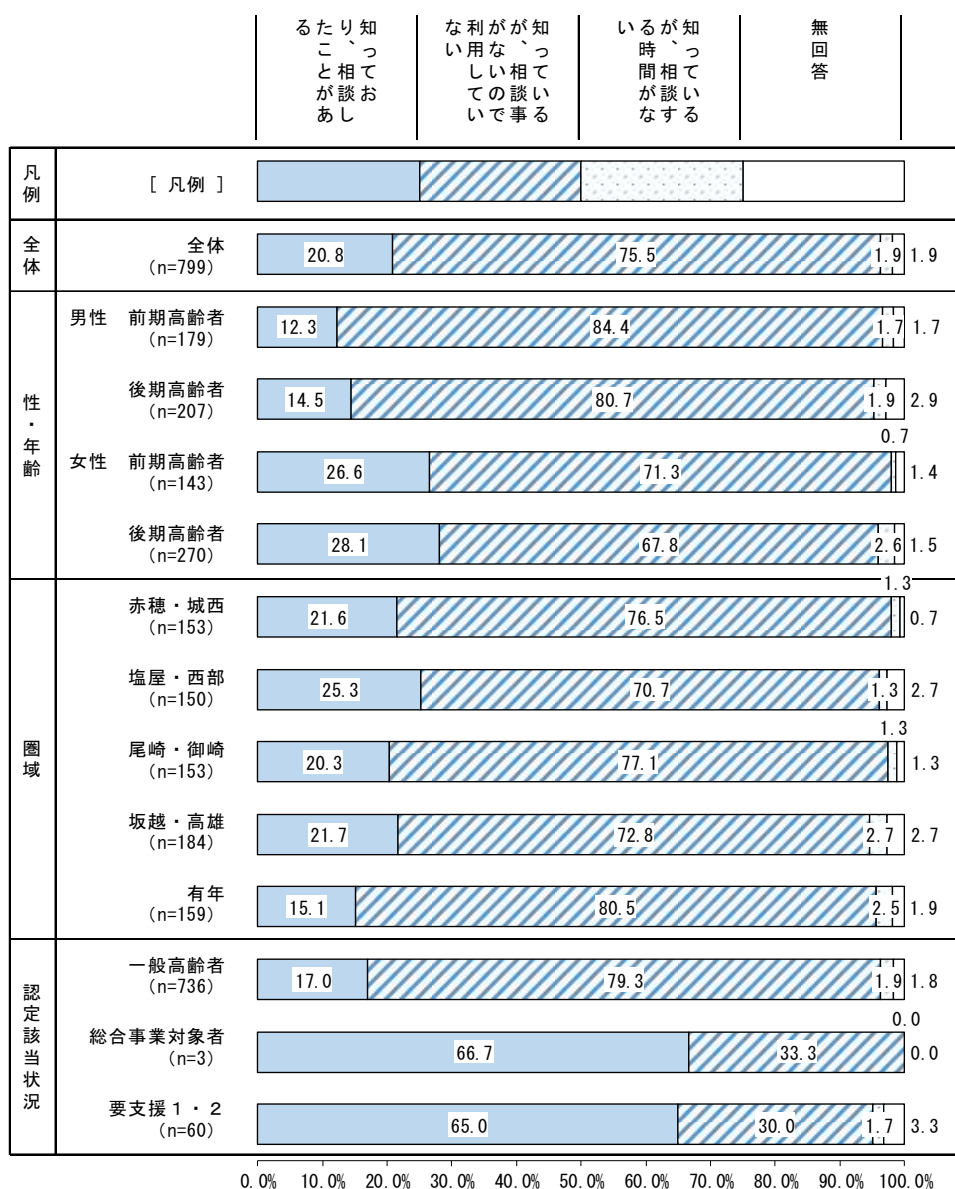
【地域包括支援センターの認知状況】



●問9-2-1 [知っている方のみ] 地域包括支援センターの認知状況 (1つだけ)

- 【全体】**
- 地域包括支援センターでの相談経験について、「知っているが、相談事がないので利用していない」が75.5%で最も多く、次いで「知っており、相談したことがある」が20.8%、「知っているが、相談する時間がない」が1.9%となっています。
- 【性・年齢】**
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「知っており、相談したことがある」が多く、男性では女性に比べて「知っているが、相談事がないので利用していない」が多くなっています。
 - 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「知っているが、相談事がないので利用していない」が多くなっています。
- 【圏域】**
- 塩屋・西部圏域では、「知っており、相談したことがある」が25.3%と他の圏域に比べて多くなっています。
 - 有年圏域では、「知っているが、相談事がないので利用していない」が80.5%と他の圏域に比べて多くなっています。

【地域包括支援センターでの相談経験】

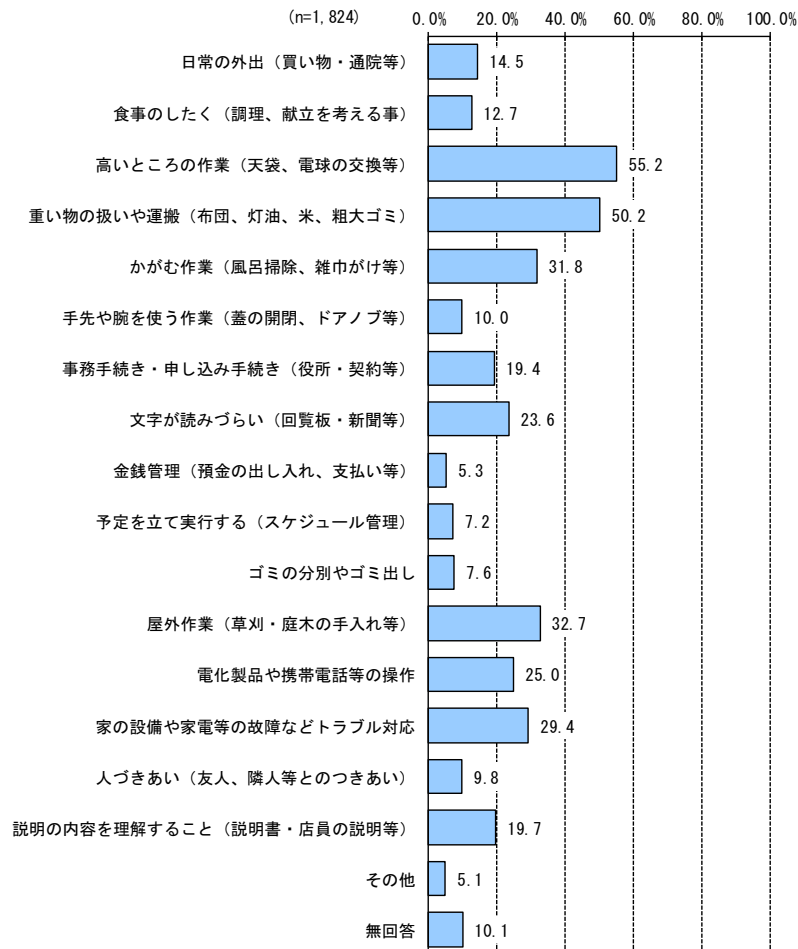


(3) 日常生活における支障

●問9-3 日常生活の中で、以前と比べてしづらくなってきたことは何ですか。(いくつでも)

【全体】
 ○ 日常生活の中で以前と比べてしづらくなってきたことについて、「高いところの作業（天袋、電球の交換等）」が 55.2%で最も多く、次いで「重い物の扱いや運搬（布団、灯油、米、粗大ゴミ）」が 50.2%、「屋外作業（草刈・庭木の手入れ等）」が 32.7%となっています。

【日常生活の中で以前と比べてしづらくなってきたこと(MA)】



【性・年齢】

- 男性 前期高齢者では、「文字が読みづらい（回覧板・新聞等）」が 32.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 女性 後期高齢者では、「高いところの作業（天袋、電球の交換等）」が 69.6%、「重い物の扱いや運搬（布団、灯油、米、粗大ゴミ）」が 61.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 「高いところの作業（天袋、電球の交換等）」「重い物の扱いや運搬（布団、灯油、米、粗大ゴミ）」に次いで、赤穂・城西圏域では「かがむ作業（風呂掃除、雑巾がけ等）」、塩屋・西部圏域、坂越・高雄圏域、有年圏域では「屋外作業（草刈・庭木の手入れ等）」、尾崎・御崎圏域では、「家の設備や家電等の故障などトラブル対応」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2では、「高いところの作業（天袋、電球の交換等）」「重い物の扱いや運搬（布団、灯油、米、粗大ゴミ）」が7割、「かがむ作業（風呂掃除、雑巾がけ等）」「屋外作業（草刈・庭木の手入れ等）」が6割、「家の設備や家電等の故障などトラブル対応」が5割以上と多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	日常生活の中で以前と比べてしづらくなってきたこと (MA)								
			物・日常の通院等) 買い	食事の献立を考える調	高いところの電球の交換	粗大ゴミの扱いや運搬	重い物の扱いや運搬	かがむ作業(風呂掃除)	手先や腕の閉を、作業ノ	約み事務手続き 役・申し契込	文字が読みづら(回覧板・新聞等)
全体		1,824	14.5	12.7	55.2	50.2	31.8	10.0	19.4	23.6	5.3
性・年齢	男性 前期高齢者	497	5.2	7.8	38.2	41.4	29.2	6.4	13.3	32.0	3.6
	後期高齢者	541	14.6	15.0	54.7	49.0	30.5	8.3	22.2	23.1	8.7
	女性 前期高齢者	266	6.8	7.1	59.4	48.1	23.3	11.3	10.9	16.2	1.1
	後期高齢者	520	27.1	17.9	69.6	61.0	40.0	14.4	26.7	20.0	5.6
圏域	赤穂・城西	359	15.6	12.5	53.2	49.3	35.7	10.6	17.3	21.4	2.5
	塩屋・西部	350	13.1	14.6	60.3	52.3	32.3	10.9	20.6	25.7	6.9
	尾崎・御崎	361	13.9	12.5	52.4	47.6	29.9	8.6	21.1	25.8	6.1
	坂越・高雄	382	14.4	12.0	56.8	51.6	31.7	11.5	18.1	24.1	5.5
	有年	372	15.3	12.1	53.2	50.3	29.6	8.3	20.2	21.2	5.6
当認 状定 況該	一般高齢者	1,720	12.6	11.0	54.0	48.8	29.9	8.6	18.6	23.7	4.6
	総合事業対象者	4	-	25.0	75.0	50.0	75.0	-	25.0	-	-
	要支援1・2	100	47.0	42.0	75.0	74.0	63.0	34.0	33.0	24.0	18.0

単位：%

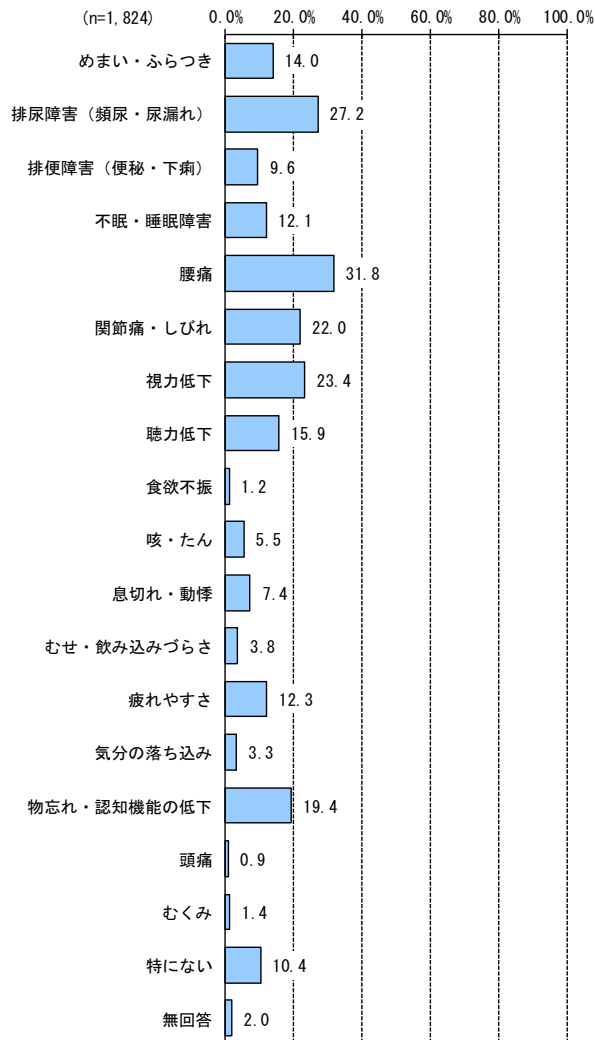
		母数 (n)	日常生活の中で以前と比べてしづらくなってきたこと (MA)								
			理) 予定を立てて実行する	ゴミの分別やゴミ出	木屋の外作業(草刈・庭)	等電の化製作品や携帯電話	応障の設備やトランプ等対	い隣人づきあいのつきあ、	員の説と内容(説明書・解	その他	無回答
全体		1,824	7.2	7.6	32.7	25.0	29.4	9.8	19.7	5.1	10.1
性・年齢	男性 前期高齢者	497	5.4	3.6	24.3	16.9	13.5	11.3	14.7	5.6	10.5
	後期高齢者	541	8.9	8.1	36.2	25.9	29.2	9.8	20.9	5.5	10.0
	女性 前期高齢者	266	3.4	3.0	27.8	20.3	30.5	6.0	14.3	5.3	9.8
	後期高齢者	520	9.2	13.1	39.6	34.2	44.2	10.4	26.2	4.0	10.2
圏域	赤穂・城西	359	5.3	7.0	30.6	24.5	31.8	9.2	19.5	7.2	9.2
	塩屋・西部	350	10.0	7.4	35.1	24.0	30.9	9.4	18.6	3.1	8.9
	尾崎・御崎	361	6.1	7.8	29.9	25.5	30.2	10.2	21.9	5.5	11.1
	坂越・高雄	382	7.1	8.9	32.5	24.3	25.7	10.2	18.3	3.7	12.0
	有年	372	7.8	6.7	35.5	26.6	28.8	9.9	20.4	5.9	9.4
当認 状定 況該	一般高齢者	1,720	6.7	6.4	31.0	24.1	27.8	9.4	19.0	5.1	10.3
	総合事業対象者	4	-	-	50.0	-	50.0	-	25.0	-	-
	要支援1・2	100	17.0	28.0	61.0	41.0	55.0	18.0	32.0	5.0	7.0

●問9-4 今後、あなたの日常生活に支障をきたす恐れのある症状は何ですか。(3つまで)

【全体】

○ 今後の日常生活に支障をきたす恐れのある症状について、「腰痛」が31.8%で最も多く、次いで「排尿障害（頻尿・尿漏れ）」が27.2%、「視力低下」が23.4%となっています。

【今後の日常生活に支障をきたす恐れのある症状(3LA)】



【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「排尿障害（頻尿・尿漏れ）」が多くなっています。
- 女性 後期高齢者では他の区分に比べて「めまい・ふらつき」が多くなっています。
- 女性 前期高齢者では他の区分に比べて「疲れやすさ」が多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	今後の日常生活に支障をきたす恐れのある症状(3LA)									
			きめまい・ふらつき	尿・排尿障害(頻尿・尿漏れ)	秘排便障害(便秘)	不眠・睡眠障害	腰痛	関節痛・しびれ	視力低下	聴力低下	食欲不振	咳・たん
全体		1,824	14.0	27.2	9.6	12.1	31.8	22.0	23.4	15.9	1.2	5.5
性・年齢	男性 前期高齢者	497	10.9	32.6	8.7	11.3	34.8	21.7	24.7	17.9	0.6	6.6
	後期高齢者	541	12.4	30.9	11.1	9.2	30.5	19.4	25.0	17.4	2.2	7.6
	女性 前期高齢者	266	12.4	14.7	5.3	12.8	28.9	24.8	24.1	9.4	0.8	3.0
	後期高齢者	520	19.6	24.6	11.2	15.6	31.7	23.7	20.0	15.8	1.0	3.5
圏域	赤穂・城西	359	13.1	27.6	9.2	13.9	32.9	22.3	22.3	17.8	1.4	3.9
	塩屋・西部	350	16.9	26.6	8.6	12.9	34.6	24.6	25.4	15.4	0.3	5.1
	尾崎・御崎	361	13.3	23.0	6.6	11.1	24.7	19.7	23.3	17.7	1.7	7.5
	坂越・高雄	382	12.8	28.5	10.2	11.3	33.8	25.1	23.3	13.6	1.0	6.0
	有年	372	14.2	30.1	13.2	11.6	33.1	18.5	22.6	15.1	1.6	4.8
当認状況該	一般高齢者	1,720	13.5	26.9	9.3	11.8	31.6	21.2	23.5	16.1	1.2	5.5
	総合事業対象者	4	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	-	-	-	-
	要支援1・2	100	21.0	33.0	14.0	17.0	36.0	36.0	21.0	13.0	1.0	6.0

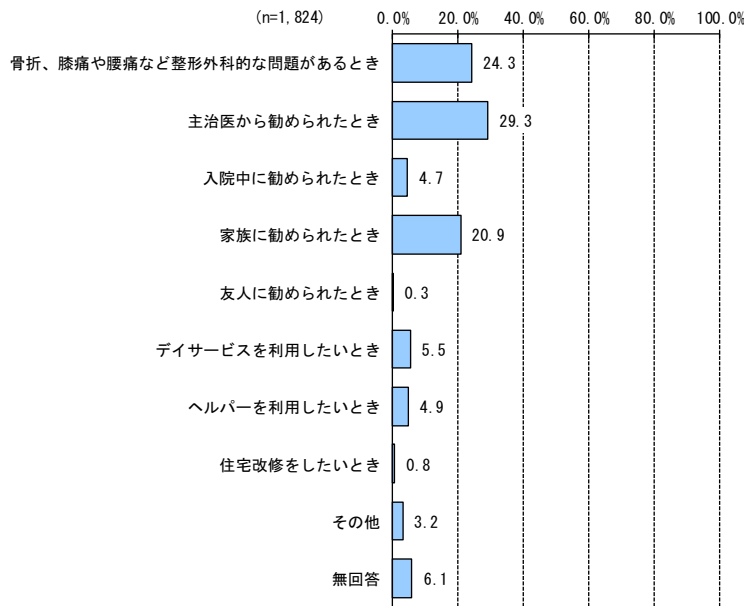
単位：％

		母数 (n)	今後の日常生活に支障をきたす恐れのある症状(3LA)								
			息切れ・動悸	むせ・飲み込み	疲れやすさ	気分の落ち込み	能物忘れ下・認知機能	頭痛	むくみ	特にない	無回答
全体		1,824	7.4	3.8	12.3	3.3	19.4	0.9	1.4	10.4	2.0
性・年齢	男性 前期高齢者	497	6.4	2.4	10.7	2.2	16.7	1.2	1.2	11.3	1.2
	後期高齢者	541	10.2	5.5	10.9	3.0	20.3	0.6	0.9	10.2	2.2
	女性 前期高齢者	266	5.6	3.4	19.2	4.1	16.9	1.1	2.3	15.4	1.9
	後期高齢者	520	6.3	3.7	11.7	4.2	22.3	1.0	1.7	7.3	2.5
圏域	赤穂・城西	359	6.1	2.8	11.1	5.3	20.1	1.4	2.5	9.5	1.9
	塩屋・西部	350	8.9	4.3	14.0	2.6	18.9	0.9	1.7	9.1	1.7
	尾崎・御崎	361	6.6	4.4	13.6	4.2	17.2	0.8	1.1	14.1	1.4
	坂越・高雄	382	9.2	2.1	12.0	1.0	20.2	1.0	1.3	8.9	2.1
	有年	372	6.2	5.6	10.8	3.5	20.7	0.5	0.5	10.5	2.7
当認状況該	一般高齢者	1,720	7.4	3.8	12.2	3.1	19.5	0.9	1.4	10.9	2.0
	総合事業対象者	4	-	-	-	-	75.0	-	-	-	-
	要支援1・2	100	8.0	5.0	15.0	6.0	15.0	2.0	2.0	3.0	2.0

- 問9-5 今後、どのような状況になったら要介護認定を申請しようと思いますか。(すでに申請したことがある方は、その時の状況をおこたえください) (1つだけ)

- 【全体】**
- 要介護認定を申請する動機となる状況について、「主治医から勧められたとき」が29.3%で最も多く、次いで「骨折、膝痛や腰痛など整形外科的な問題があるとき」が24.3%、「家族に勧められたとき」が20.9%となっています。
- 【性・年齢】**
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「家族に勧められたとき」が多く、特に男性 前期高齢者では31.4%となっています。一方で、女性では男性に比べて「骨折、膝痛や腰痛など整形外科的な問題があるとき」が多く、特に女性 後期高齢者では33.3%となっています。
 - 男性 後期高齢者では、「主治医から勧められたとき」が36.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 一般高齢者では、「主治医から勧められたとき」が30.2%で最も多くなっています。
 - 要支援1・2では、「骨折、膝痛や腰痛など整形外科的な問題があるとき」が35.0%で最も多くなっています。

【要介護認定を申請する動機となる状況】



単位：%

	母数 (n)	要介護認定を申請する動機となる状況										
		問な骨 題ど折、 れ主治 と医 から 勧めら れた とき	た と 院 中 に 勧めら れた とき	と 家 族 に 勧めら れた とき	と 友 人 に 勧めら れた とき	用 デ イ サ ー ビ ス を 利 用 し たい とき	た い と き ヘル パー を 利用 し たい とき	と 住 宅 改 修 を し たい とき	そ の 他	無 回 答		
全体	1,824	24.3	29.3	4.7	20.9	0.3	5.5	4.9	0.8	3.2	6.1	
性・年齢	男性 前期高齢者	497	18.9	29.6	5.6	31.4	0.2	5.2	3.2	0.2	2.4	3.2
	男性 後期高齢者	541	20.9	36.6	3.0	20.5	0.2	3.7	3.1	0.6	3.0	8.5
	女性 前期高齢者	266	24.1	24.4	9.8	15.8	-	8.3	9.8	1.5	2.3	4.1
	女性 後期高齢者	520	33.3	24.0	3.1	13.8	0.8	6.2	5.8	1.2	4.6	7.3
圏域	赤穂・城西	359	22.8	30.4	5.8	18.4	0.8	4.5	5.6	0.3	4.2	7.2
	塩屋・西部	350	26.6	31.4	5.4	16.3	-	6.9	5.1	1.1	2.6	4.6
	尾崎・御崎	361	21.1	32.7	5.3	25.2	0.3	3.0	3.9	0.6	1.4	6.6
	坂越・高雄	382	24.1	27.0	3.9	22.0	0.3	6.3	5.0	1.0	5.0	5.5
	有年	372	27.2	25.5	3.2	22.3	0.3	6.7	4.8	0.8	2.7	6.5
当該認定状況	一般高齢者	1,720	23.6	30.2	4.7	21.4	0.2	5.3	5.0	0.7	3.1	5.8
	総合事業対象者	4	75.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-
	要支援1・2	100	35.0	15.0	6.0	13.0	2.0	8.0	3.0	2.0	4.0	12.0

10. 総括

(1) 地域における見守りが必要と考えられる層

- 「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 33.8%、「一人暮らし」が 25.2%と、合わせると約 6 割が高齢者のみの世帯となっています。さらに、夫婦のみ世帯（配偶者 65 歳以上）では 12.5%、一人暮らしでは 13.9%が“介護・介助が必要”と回答しています。特に、女性では男性に比べて「一人暮らし」や“介護・介助が必要”な人が多くなっています。また、圏域別にみると、塩屋・西部圏域で高齢者のみの世帯が多くなっています。認定該当状況別にみると、要支援1・2の 34.0%が「一人暮らし」、28.0%が「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」となっています。これらの層は特に地域での見守りが必要であると考えられます。

(2) 日常生活における活動能力の維持

① 身体機能の維持

- 運動器の機能低下リスク該当者は、介護・介助は必要ない人では 9.9%であるのに対し、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない人では 50.5%、現在、何らかの介護を受けている人では 63.1%と大きな差がみられます。介護・介助が必要になった主な原因をみると、「高齢による衰弱」が 21.8%で最も多くなっています。運動器の機能低下も高齢による衰弱の一つと考えられますが、特に女性 後期高齢者では運動器の機能低下リスク該当者が 32.5%と約 4 人に 1 人が該当しています。さらに、女性 後期高齢者では、「足腰などの痛み」を理由に外出を控えている人が他の区分に比べて多いことから、運動器の機能低下が閉じこもりにつながっていることも考えられます。
- 転倒リスクの該当状況をみると、介護・介助は必要ない人でも 30.1%が該当しています。「骨折・転倒」は、介護・介助が必要になった主な原因として 2 番目に多く、転倒リスク軽減の重要性がうかがえます。特に、女性 後期高齢者では転倒リスクが 44.2%と多くなっています。
- 転倒骨折予防教室などにおいて、女性 後期高齢者を重点対象とする参加勧奨が必要と考えられます。

② 閉じこもり予防

- 外出する際の移動手段について、「自動車（自分で運転）」が 60.0%で最も多く、次いで「徒歩」が 43.6%、「自転車」が 35.5%となっています。調査実施時点ではコロナウイルスの感染対策のため外出を控えている人が多くみられますが、事態が収束し外出をしようと思うときや、免許を返納した後も、高齢者が自ら外出・移動して活発に行動するためには、徒歩や自転車での移動を可能にする運動器機能の維持・向上が重要です。
- 女性では男性に比べて前期高齢者と後期高齢者で「自動車（自分で運転）」の差が大きく、後期高齢者では「自動車（人に乗せてもらう）」が 42.7%で最も多いほか、「路線バス」「病院や施設のバス」「タクシー」等が他の区分に比べて多くなっています。また、要支援1・2でも「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」が多くなっています。これらの層は、移動支援のニーズが高いと考えられます。
- 圏域別にみると、赤穂・城西圏域、塩屋・西部圏域、尾崎・御崎圏域に比べて坂越・高雄圏域、有年圏域では「徒歩」「自転車」での移動が少なくなっています。外出を控えている理由をみると、尾崎・御崎圏域、坂越・高雄圏域、有年圏域では他の圏域に比べて「交通手段がない」

が多くなっています。高齢者の移動支援を検討する際は、地域の地理的な背景をあわせて把握することも重要です。

(3) 地域活動への参加促進

① 地域づくり活動

- 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向あり”は50.4%となっています。特に、男性 前期高齢者で57.1%、女性 前期高齢者で56.8%となっています。また、いずれの圏域でも、“参加意向あり”が約5割となっています。一方で、地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向あり”は32.8%となっています。男性では女性に比べて“参加意向あり”が多く、前期高齢者で37.8%、後期高齢者で35.6%となっています。圏域別にみると、いずれの圏域でも“参加意向あり”は3割以上となっています。
- 友人・知人との関係性をみると、男性 前期高齢者では他の区分に比べて「近所・同じ地域の人」が少なくなっています。また、男性 後期高齢者では、友人・知人と会うことは「ほとんどない」、「外での楽しみがない」ため外出を控えているとの回答が他の区分に比べて多くなっています。今後の人口減少社会においては地域のつながりのさらなる希薄化が懸念されます。これらの層も巻き込み地域でのつながりを作るきっかけとなるよう、いずれの圏域でも地域づくり活動を展開し、参加を呼びかける必要があります。

② 通いの場

- 要支援1・2の人の地域活動への参加状況を見ると、「介護予防のための通いの場」が24.0%で最も多くなっています。また、参加者としては34.0%、お世話役としては22.0%が地域づくり活動に“参加意向あり”と回答しています。通いの場について、年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、誰もが一緒に参加し、地域のニーズに応じた多様な機能を有する場としてさらに発展・拡充させていくことが求められます。また、介護予防の場としての質を高めるため、医療や介護の専門職の関与推進を検討することも重要です。

③ 地域の支え手

- 日常生活の中で以前と比べてしづらくなってきたことについて、「高いところの作業（天袋、電球の交換等）」「重い物の扱いや運搬（布団、灯油、米、粗大ゴミ）」に次いで、赤穂・城西圏域では「かがむ作業（風呂掃除、雑巾がけ等）」、塩屋・西部圏域、坂越・高雄圏域、有年圏域では「屋外作業（草刈・庭木の手入れ等）」、尾崎・御崎圏域では、「家の設備や家電等の故障などトラブル対応」が多くなっています。これらは地域の高齢者のニーズと捉えることができるため、地域で活動するボランティアにおいて支援を検討することが適当と考えられます。
- 「収入のある仕事」をしている人は、前期高齢者では男性で49.3%、女性で30.9%であるのに対し、後期高齢者では男性で15.5%、女性で6.2%と年齢による大きな差がみられます。今後、少子高齢化・人口減少時代を迎えるにあたり全世代型社会保障を構築していく中で、高齢者が社会の中で役割を持ち、また本人も生きがいを持って活躍できる社会を目指すことが必要となります。後期高齢者のうち現状で介護・介助は必要ないと回答している人は男性で77.6%、女

性で 65.6%であることを踏まえ、年齢や性別にかかわらず誰もが安心して希望通り働くことができるよう環境を整えていくことが必要です。

(4) 相談支援

- 何かあったときの相談相手について、「そのような人はいない」が 39.0%で最も多くなっています。特に、前期高齢者では後期高齢者に比べて「そのような人はいない」が多くなっています。また、圏域別にみると尾崎・御崎圏域、家族構成別にみると夫婦 2 人暮らし（配偶者 64 歳以下）で多くなっています。
- 地域包括支援センターは各圏域に設置されている身近な相談窓口ですが、その認知度は 43.8% となっています。最も認知度が高い圏域は坂越・高雄圏域で 48.2% となっています。また、地域包括支援センターを「知っているが、相談事がないので利用していない」が 75.5% となっています。また、自身や家族に認知症状がある人の 43.0% が認知症に関する相談窓口を知らないと回答しています。
- 何かあったときに家族・親族以外に頼れる相談相手として、地域包括支援センターの認知度をさらに高めていくとともに、地域包括支援センターが対応している相談内容についても周知していく必要があると考えられます。

(5) 心身の健康の維持

① 主観的健康感と幸福感の向上

- 主観的健康感について、「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい”は 76.5% となっています。男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて“よい”が多く、特に女性 前期高齢者では 86.1% となっています。
- 健康感がよくないほど各種リスクの該当者が多くなる傾向がみられ、心身の状況と主観的健康感に関連し合っていると考えられます。
- 幸福感について、「とても幸せ（10点）」「幸せ（7～9点）」を合わせた“幸せ”は 59.6% となっています。後期高齢者をみると、女性では「とても幸せ（10点）」が 15.6% と他の区分に比べて多いのに対し、男性では“不幸”が 39.9% と他の区分に比べて多くなっています。また、“幸せ”は、介護・介助は必要ない人では 63.1% であるのに対し、何らかの介護・介助が必要な人では 42.8% となっています。
- 趣味や生きがいの有無をみると、健康感がよいほど「趣味あり」「生きがいあり」が多くなる傾向がみられます。また、趣味がある人、生きがいがある人では思いつかない人に比べて“幸せ”が多くなっています。趣味や生きがいを持つことで、主観的健康感や幸福感が高まる可能性があります。
- うつのリスクをみると、経済状況が苦しいほど「該当」が多くなる傾向がみられます。経済的困難の背景は様々であり、複合的な課題を抱えていることも考えられます。様々な手段・機会を活用し社会的孤立状態に陥らないよう見守り支援する必要があります。

② 疾病予防

- 現在治療中の病気をみると、男性では「高血圧」「糖尿病」が多くなっています。
- 男性の介護・介助が必要になった原因をみると、前期高齢者では「脳卒中（脳出血・脳梗塞

等)」「心臓病」、後期高齢者では「糖尿病」が多くなっています。

- 男性では女性に比べて飲酒、喫煙習慣がある人が多いことから、生活習慣の改善が介護予防につながる考えられます。また、介護と医療のニーズを併せ持つ高齢者やその家族が地域で安心して暮らすことができるよう、かかりつけ医の機能が十分に発揮できる地域医療提供体制の構築や最適なケアを届けるための介護・医療データの利活用、住民に対する情報提供も必要と考えられます。

(6) 将来の暮らし

- 介護を受ける場所の希望について、「自宅」が 44.2%で最も多くなっています。介護が必要になっても在宅生活を継続できるよう、ケアマネジメントの質の向上や人材の確保、新たな技術の活用など在宅サービス基盤の強化が求められます。
- 一方で、どこで介護を受けたいか「わからない」との回答が2番目に多くなっています。圏域をみると赤穂・城西圏域、塩屋・西部圏域で、家族構成をみると1人暮らしで他の圏域・区分に比べて多くなっています。地域にどのような資源（施設・サービスなど）があるかを周知するとともに、介護が必要になったときの暮らしについて考える機会を提供することも必要です。